

カラー

《2022年天皇杯全日本選手権》
無敵の白星街道！須崎優衣が天皇杯を受賞 3
乙黒拓斗、文田健一郎も王者へ返り咲く、元木咲良は殊勲の優勝

《2022年明治杯全日本選抜選手権》
アジア女王・尾崎野乃香がオリンピック女王を破る 8
須崎優衣、志土地真優も連勝して世界選手権の出場権を獲得

《2022年世界選手権》
女子は5階級制覇、出場全選手がメダル獲得 12
男子フリースタイルは43年ぶりの金2個、55年ぶりに団体3強入り

モノクロ(2022年大会成績)

風間杯全国高校選抜大会 22 (3月27～29日／新潟・新潟東総合スポーツセンター)	全国社会人オープン選手権 53 (10月29～30日／埼玉・富士見市立市民総合体育館)
JOC杯ジュニアクイーンズカップ 24 (4月9～10日／東京・駒沢体育館)	内閣総理大臣杯全日本大学選手権 54 (11月19～20日／大阪・堺市金岡公園体育館)
JOCジュニアオリンピックカップ 26 (4月23～24日／神奈川・横浜武道館)	東京都知事杯全国中学選抜U15選手権 55 (11月26～27日／東京・駒沢体育館)
東日本学生リーグ戦 28 (5月18～20日／東京・駒沢体育館)	東日本学生選手権(秋季) 56 (11月28～30日／東京・駒沢体育館)
西日本学生春季リーグ戦 30 (5月14～15日／大阪・堺市金岡公園体育館)	デリシャスマイル杯東日本女子大学リーグ戦BIG8 57 (11月6日／東京・国学院高第一記念館)
沼尻直杯全国中学生選手権 31 (6月11～12日／茨城・アダストリアみとアリーナ)	天皇杯全日本選手権 58 (12月22～25日／東京・駒沢体育館)
明治杯全日本選抜選手権 32 (6月16～19日／東京・駒沢体育館)	西日本学生秋季リーグ戦 60 (12月10～11日／大阪・堺市金岡公園体育館)
東日本学生選手権(春季) 34 (6月29日～7月1日／東京・駒沢体育館)	2022年 傘下連盟選出 年間最優秀選手ほか 61
全日本社会人選手権 36 (7月2～3日／埼玉・富士見市立総合体育館)	シニア・アジア選手権 62 (4月19～24日／モンゴル・ウランバートル)
西日本学生新人選手権 38 (6月25～26日／大阪・堺市金岡公園体育館)	U17アジア選手権 64 (6月19～22日／キルギス・ビシュケク)
ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権 39 (8月11日／茨城・大洗サンビーチ)	U20アジア選手権 66 (7月5～10日／バーレーン・マナマ)
全国少年少女選手権 40 (7月30～31日／東京・代々木競技場第1体育館)	U15アジア選手権 68 (7月2～4日／バーレーン・マナマ)
全国高校総体(インターハイ) 42 (8月1～4日／高知・高知県立県民体育館)	ピトラシンスキ国際大会 69 (7月23～24日／ポーランド・ワルシャワ)
全国高校生グレコローマン選手権 44 (8月17～19日／大阪・堺市金岡公園体育館)	U17世界選手権 70 (7月25～31日／イタリア・ローマ)
西日本学生選手権 45 (10月13～16日／大阪・J.COM末広体育館)	U20世界選手権 72 (8月15～21日／ブルガリア・ソフィア)
文部科学大臣杯UNIVAS CUP全日本学生選手権 46 (8月15～18日／東京・駒沢体育館)	シニア・世界選手権 74 (9月10～18日／セルビア・ベオグラード)
いちご一会とちぎ国体 48 (10月2～5日／栃木・FUKAI SQUARE GARDEN 足利)	U23世界選手権 76 (10月17～23日／スペイン・ポンテベドラ)
フォーデイズ杯全日本女子オープン選手権 50 (10月15～16日／静岡・焼津市総合体育館)	ワールドカップ(女子・男子フリースタイル) 78 (12月10～11日／米国・アイオワ州コーラルビル)
文部科学大臣杯全日本大学グレコローマン選手権 51 (10月19～20日／東京・駒沢体育館)	世界グラップリング選手権 79 (10月14～15日／スペイン・ポンテベドラ)
ドン・キホーテ杯全日本ビーチ沖縄大会 52 (10月23日／沖縄・豊見城市美らSUNビーチ)	2022年 訃報 80

風間杯全国高校選抜大会

期日 2022年3月27日～29日

場所 新潟・新潟東総合スポーツセンター

■日体大柏(千葉)が王座奪還、バトバヤル・ナムバルダグワ(千葉・日体大柏)が2連覇

昨年ベスト8だった日体大柏(千葉)が勝ち抜き、決勝はいなべ総合学園(三重)を5-2で撃破。2年ぶり5度目の優勝を遂げた。

日体大柏は、2年連続決勝進出のいなべ総合学園と対戦し、51kg級を落としたものの、55kg級で昨年の51kg級インターハイ王者・松村祥太郎が競り勝って流れを変え、そのあと3連勝でチームの勝利を決めた。初戦(2回戦)からの5試合、すべてで5-2以上の内容だった。

個人戦では、125kg級のバトバヤル・ナムバルダグワ(千葉・日体大柏)がテクニカルフォール勝ち4試合を含めて5試合を無失点で勝ち上がり、昨年に続く優勝を遂げた。

同じく2連覇を目指した51kg級の白川剣斗(佐賀・鳥栖工)と60kg級の西内悠人(高知・高知南=昨年は55kg級優勝)は優勝ならなかった。白川は体調不良で棄権し、この階級は2018年全国中学選抜選手権45kg級優勝の菊地優太(静岡・飛龍)が勝って進学後の初タイトルを獲得。西内は準々決勝で須田宝(佐賀・鳥栖工)に敗れ、須田がこの階級を制した。鳥栖工からは92kg級で甫木元起も優勝。自由ヶ丘学園(東京)も、55kg級の金澤孝羽と71kg級の山口叶太の2選手が制した。

65kg級は細川周(京都・丹後緑風)が優勝。統合で「網野」から校名が変わって初の王者へ。80kg級は昨年2位の神谷龍之介(三重・いなべ総合学園)が勝った。



▲密を避けるため1回戦出場チームのみで行われた開会式



▲学校対抗戦で王座奪還の千葉・日体大柏

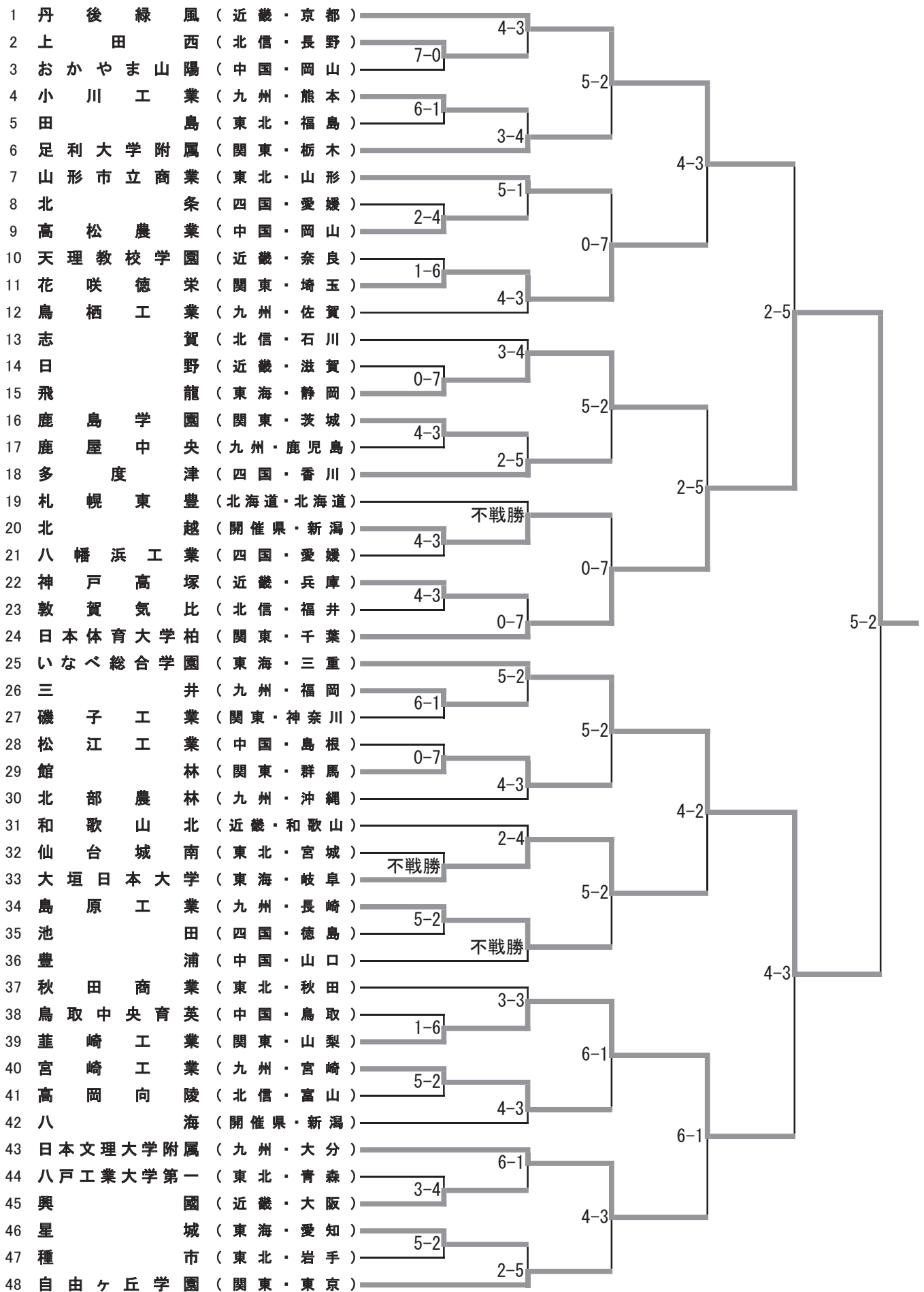
【学校対抗戦】(3月27～28日)

優勝	2位	3位	5位				
日体大柏 (千葉)	いなべ総合学園 (三重)	丹後緑風 (京都)	葦崎工 (山梨)	花咲徳栄 (埼玉)	飛龍 (静岡)	大垣日大 (岐阜)	日本文理大附 (大分)

【個人戦】(3月28～29日)

階級	優勝	2位	3位	5位				
51kg	菊地優太 (静岡・飛龍)	片岡大河 (千葉・日体大柏)	大垣内蓮斗 (石川・志賀)	森下大輔 (和歌山・和歌山北)	石山竜成 (宮崎・都城西)	由井廉太郎 (京都・京都八幡)	伊藤久遠 (三重・いなべ総合学園)	小川礼寿 (静岡・飛龍)
55kg	金澤孝羽 (東京・自由ヶ丘学園)	松村祥太郎 (千葉・日体大柏)	伊藤洋行 (秋田・秋田商)	佐藤琢磨 (静岡・飛龍)	高田 勇 (三重・いなべ総合学園)	徳原誠馬 (高知・高知東)	河野兼多朗 (佐賀・鳥栖工)	高野航成 (長野・上田西)
60kg	須田 宝 (佐賀・鳥栖工)	小岩皆人 (千葉・日体大柏)	平岡大河 (神奈川・磯子工)	秋山大和 (静岡・焼津水産)	西内悠人 (高知・高知南)	碓井晴登 (岐阜・大垣日大)	吉田汰洋 (鹿児島・鹿屋中央)	荻野大河 (埼玉・埼玉栄)
65kg	細川 周 (京都・丹後緑風)	平井友真 (山梨・甲府城西)	金子晴翔 (茨城・霞ヶ浦)	石原弘幸 (熊本・玉名工)	岡部利毅 (北海道・帯広北)	宮崎楓大 (石川・志賀)	上村律心 (高知・高知南)	岩網剣勝 (三重・いなべ総合学園)
71kg	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園)	角出直生 (石川・志賀)	高橋侑臣 (高知・高知南)	本原晴来 (千葉・日体大柏)	浅野稜悟 (静岡・飛龍)	長谷川虎次郎 (山梨・葦崎工)	安藤慎悟 (大阪・興國)	上村朋也 (群馬・館林)
80kg	神谷龍之介 (三重・いなべ総合学園)	掛川零恩 (山口・豊浦)	伊藤大輝 (京都・丹後緑風)	浅野 心 (岡山・高松農)	島袋希理瑠 (山梨・葦崎工)	渡邊虎汰郎 (新潟・八海)	谷崎工之助 (岐阜・岐南工)	千川元暉 (和歌山・和歌山北)
92kg	甫木元起 (佐賀・鳥栖工)	植木優斗 (栃木・足利大附)	菊地 和 (北海道・帯広北)	菊地一瑛 (埼玉・埼玉栄)	甲斐武蔵 (山梨・葦崎工)	曾我部凜太郎 (愛媛・今治西)	金澤空大 (千葉・日体大柏)	伏部内皓太 (岩手・種市)
125kg	バトバヤル・ ナムバルダグワ (千葉・日体大柏)	能瀬龍樹 (石川・志賀)	川松雷葵 (大阪・大体大浪商)	織山昭成 (秋田・秋田商)	大藪颯太 (岐阜・岐阜工)	中本勝幸 (広島・賀茂)	片岡拓海 (長崎・島原工)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西)

【学校対抗戦トーナメント表】



JOC杯ジュニアクイーンズカップ

期 日 2022年4月9日～10日

場 所 東京・駒沢体育館

■アジア選手権代表の藤波朱理(日体大)と尾崎野乃香(慶大)が2年連続優勝

U20(旧ジュニア)の部は、前年の全日本チャンピオンの53kg級の藤波朱理(日体大)、62kg級の尾崎野乃香(慶大)、72kg級の新倉すみれ(神奈川大)が2年連続優勝を達成した。50kg級の伊藤海(早大)、59kg級の元木咲良(育英大)、65kg級の石井亜海(育英大)も昨年に続く優勝。

55kg級は2019年世界カデット選手権49kg級優勝の清岡もえ(育英大)、57kg級は同57kg級優勝の岩網瑠夏(至学館大)が制し、76kg級は2017～19年に全国中学生選手権3連覇の茂呂綾乃(東京・安部学院高)が、昨年のこの大会のカデット73kg級に続いて優勝。65kg級は昨年62kg級2位の吉武まひろ(日体大)が勝った。

【U20(旧ジュニア)】(4月10日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位			
50kg	25	伊藤 海 (早大)	坂本由宇 (神奈川大)	森川晴凪 (愛知・至学館高)	眞柄美和 (愛知・至学館高)	櫻井はなの (育英大)	岡田愛生 (東洋大)	米原実穂 (至学館大)	原田 渚 (兵庫・芦屋学園高)
53kg	14	藤波朱理 (日体大)	木村彩夏 (法大)	服部里桜 (法大)	平戸紅葉 (南九州大)	菊原心粋 (長野・佐久平総合技術高)	磯江はるか (福岡大)	姫野笑琉 (愛知・至学館高)	中川夏希 (同志社大)
55kg	10	清岡もえ (育英大)	大野真子 (日体大)	丸未永海 (愛知・至学館高)	袴田ちはや (静岡・沼津城北高)	品田果琉 (大分・日本文理高)	伊藤乃愛 (至学館大)	志貴南栄 (岐阜・中京高)	西田紗織 (東洋大)
57kg	11	岩網瑠夏 (至学館大)	水瀧琉奈 (神奈川大)	山口夏月 (至学館大)	黒木美帆 (福岡大)	藤山いろは (日体大)	池内灯李 (鳥取・倉吉総合産業高)	田島星里 (兵庫・芦屋学園高)	新井一花 (愛知・至学館高)
59kg	11	元木咲良 (育英大)	中村成実 (法大)	長谷川姫花 (大阪・堺リベラル高)	岡田純奈 (日体大)	田垣天楓 (岐阜・岐南工高)	浅井紅吏 (法大)	加藤綺華 (栃木・宇都宮商高)	中西美結 (至学館大)
62kg	9	尾崎野乃香 (慶大)	池畑菜々 (兵庫・芦屋学園高)	惣崎優音 (日体大)	高橋衣織 (福岡・ふたば未来学園高)	元木日陽里 (埼玉・埼玉栄高)	内田奈佑 (至学館大)	内野杏美 (大分・日本文理大附高)	神田美和子 (静岡・藤枝北高)
65kg	11	吉武まひろ (日体大)	伊藤 渚 (三重・いなべ総合学園高)	寺本 鈴 (山梨学院大)	山田優亜香 (国際武道大)	平井かえで (育英大)	鈴木未結 (国士館大)	松山 楓 (東京・日本工大駒場高)	吉川かりん (福岡大)
68kg	2	石井亜海 (育英大)	小林久美 (福岡大)	---	---	---	---	---	---
72kg	3	新倉すみれ (神奈川大)	藤倉優花 (育英大)	高田ここな (日体大)	---	---	---	---	---
76kg	4	茂呂綾乃 (東京・安部学院高)	山本和佳 (至学館大)	高巢菜々葉 (大阪・堺リベラル高)	前田鈴華 (福岡大)	---	---	---	---

【U17(旧カデット)】(4月10日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位			
40kg	1	江坂萌那 (刈谷クラブ)	---	---	---	---	---	---	---
43kg	1	惣崎希夏 (長泉ファイティング)	---	---	---	---	---	---	---
46kg	13	松田幸々 (京都・丹後緑風高)	川村百花 (三重・四日市四郷高)	岡田夢生 (石川・志賀高)	鈴木彩加 (東京・安部学院高)	吉田七名海 (三重・久居高)	山口菜々子 (焼津リトルファイトース)	関戸香梨奈 (TEAM BISON'S)	嘉納ひらり (鹿児島・樟南高)
49kg	21	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢高)	升田夏実 (京都・海洋高)	小川凜佳 (岐阜・中京高)	山田聖麗 (東京・安部学院高)	唐谷里緒 (東京・安部学院高)	矢野楓奈 (兵庫・芦屋学園高)	上岡七翠 (奈良・大和広陵高)	坂根海琉子 (京都・丹後緑風高)
53kg	16	尾西 桜 (埼玉・埼玉栄高)	湊 莉菜 (北海道・帯広北高)	西岡 吟 (京都・キョウトカイトウ)	阿久津ひなた (福岡・ふたば未来学園高)	仙波仁那 (宮崎・宮崎日大高)	原口真優 (群馬・太田高)	横尾瑠衣 (群馬・西邑楽高)	藤本成海 (徳島・つるぎ高)
57kg	16	内田颯夏 (JOCエリートアカデミー)	太田早也香 (埼玉・埼玉栄高)	本原理紗 (千葉・日体大柏高)	松本千奈都 (兵庫・芦屋学園高)	増山天南 (東京・日本工大駒場高)	佐藤宝瑠 (茨城・鹿島学園高)	柴田あおい (三重・いなべ総合学園高)	光谷真都 (兵庫・芦屋学園)
61kg	10	佐々木すず (東京・安部学院高)	諸星菜夏 (埼玉・埼玉栄高)	菱沼綾南 (東京・安部学院高)	蛭名純嘉 (岡山・おかやま山陽高)	坂井 桜 (岐阜・岐阜工高)	藤本夏妃 (千葉・日体大柏高)	杉本友香 (静岡・藤枝北高)	大堀楓華 (茨城・鹿島高)
65kg	5	佐藤杏樹 (秋田・秋田商高)	東 佐和 (福岡・三井高)	北出桃子 (愛知・至学館高)	齊藤由楽 (鳥取・隠岐島前高)	早瀬和暖 (宮崎・宮崎農高)	---	---	---
69kg	3	吉田千沙都 (愛知・至学館高)	小原春佳 (茨城・鹿島学園高)	坂井 愛 (岐阜・岐阜工高)	---	---	---	---	---
73kg	2	駒田真琴 (静岡・沼津城北高)	石田真子 (奈良県協会)	---	---	---	---	---	---

【U15の部】(4月9日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位			
33kg	4	中西 杏 (桑名クラブ)	中園和奏 (下野サンダーキッズ)	神戸絢音 (常滑市教室)	野手里穂菜 (帯広クラブ)	---	---	---	---
36kg	4	内田菜楓 (舞鶴クラブ)	梅川紅果 (至学館クラブ)	榊原真貴 (松阪クラブ)	入江友惟 (北九州クラブ)	---	---	---	---
39kg	9	小原心花 (FIRE BOYS)	永谷梨愛 (シカマテジュニア)	山田仁菜 (京都海洋教室)	東 海良 (フェニックス)	阿久津こはる (福島・ふたば未来学園中)	入江剛心 (北九州クラブ)	西島綾乃 (刈谷クラブ)	松本千柚稀 (兵庫・芦屋学園中)
42kg	17	勝目結羽 (NEXUS YOKOSUKA)	竹内菜々子 (横須賀ジュニア)	片岡 優 (チームリバーサル)	角本明日香 (東京・日本工大駒場中)	加藤あん (FIRE BOYS)	荒木優花 (札幌クラブ)	寶嶋菜那 (NEXUS YOKOSUKA)	棚田紗雪 (兵庫・芦屋学園中)
46kg	18	小塚菜々 (INABEAアカデミー)	渡邊ひさき (HAKOBEE TOKYO)	加藤 空 (千葉・野田一中)	恒久青花 (3RINGS)	青木優香 (PALAISTRA)	安藤愛莉 (沼津クラブ)	三谷心乃 (チームリバーサル)	池畑笑菜 (兵庫・芦屋学園中)
50kg	23	下田結月 (高知クラブ)	小川璃苑 (中津川ジュニア)	保坂樹奈 (福島・ふたば未来学園中)	佐藤瑚々美 (HAKOBEE FUKUI)	岸上聖奈 (栗東クラブ)	今井七緒 (マيسポーツ)	山内悠妃 (FIRE BOYS)	長谷川咲和 (羽島市連盟)
54kg	16	木下 凜 (NEXUS YOKOSUKA)	小川 舞 (TEAM BISON'S)	森脇花乃 (舞鶴クラブ)	坂井 椿 (羽島市連盟)	石山叶歩 (日野クラブ)	湊 瑠菜 (ジュニア士別)	永富琉衣 (兵庫・芦屋学園中)	諸星日菜 (埼玉・埼玉栄中)
58kg	14	野口紗英 (帯広クラブ)	吉川華奈 (JOCエリートアカデミー)	木村美海 (チームリバーサル)	箕湖乃葉 (HAKOBEE FUKUI)	相磯ひなた (沼津学園ジュニア)	柳生実咲 (ジョイフル)	直井詩空 (マيسポーツ)	谷川緋菜 (今エクラブ)
62kg	9	小柴ゆり (鳥栖クラブ)	熊澤夏生 (帯広クラブ)	田中凜香 (鹿児島クラブ)	松山 桜 (東京・日本工大駒場中)	雪本 慈 (大阪・堺リベラル中)	駒田つかさ (沼津クラブ)	村田悠芽夏 (邑楽ジュニア)	西岡 奏 (京都海洋教室)
66kg	4	本多結里菜 (フィギュアフォークラブ)	大豆生田麗 (ひたちなかクラブ)	高山海優 (NEXUS YOKOSUKA)	伊藤愛里 (至学館クラブ)	---	---	---	---
73kg	5	藤田真妃琉 (チームリバーサル)	小沼彩優 (下野サンダーキッズ)	吉村琴姫 (TEAM☆SATSUMA)	坂本早音 (GOKITA GYM)	---	---	---	---

【小学校5・6年の部】(4月9日)

階級	優勝	2位	3位	
28kg	小原優乃 (FIRE BOYS)	志田向夏花 (羽島市連盟)	大門明日香 (志賀町ジュニア教室)	岩橋心菜 (和北クラブジュニア)
30kg	佐々木なつみ (小玉ジュニア)	古市せら (野田クラブ)	伊東詩心 (茨木市教室)	小山実久 (猪名川クラブ)
33kg	牧野心咲 (日南市スポーツクラブ)	長谷部なあさ (旭川クラブ)	杉林羅夢 (吹田市民教室)	鷗野咲幸 (エンジョイクラブ)
36kg	岡本悠里 (WRESTLE-WIN)	東 海里 (フェニックスクラブ)	及川美優 (東海ジュニア)	小倉緋彩 (ジュニア士別)
40kg	友清里依咲 (3RINGS)	堤芽衣子 (マيسポーツ)	平田萌々美 (吹田市民教室)	丹羽冴月 (吹田市民教室)
45kg	入江 楓 (IKUEI CLUB)	柴田さくらこ (FIVE☆STAR Elite Academy)	田島璃子 (京都八幡ジュニア)	中田琉愛 (TEAM☆SATSUMA)
55kg	鈴木琳媛 (KURIMORI FILM)	辻 潤奈 (猪名川クラブ)	長野 楓 (ESKアカデミー)	花井小梅 (下野サンダーキッズ)
+55kg	飯田 奏 (NEXUS YOKOSUKA)	林美琉子 (網野町少年教室)	白砂萌珂 (全日本プロレスジュニア)	水上琥珀 (HAKOBEE SPORTS TOKYO)

《個人賞》

【U20の部】▼JOCジュニアオリンピックカップ賞 藤波朱理(53kg級=日体大)、▼オリンピックゴールドメダル賞 尾崎野乃香(62kg級=慶大)

【U17の部】▼クイーンズカップ賞 内田颯夏(57kg級=JOCエリートアカデミー)、▼オリンピックゴールドメダル賞 竹内美保子(49kg級=神奈川・日大藤沢高)

【U15の部】▼最優秀選手賞 野口紗英(58kg級=帯広クラブ)、▼優秀選手賞 勝目結羽(42kg級=NEXUS YOKOSUKA)

【小学5・6年の部】▼最優秀選手賞 友清里依咲(40kg級=3RINGS)、▼優秀選手賞 入江楓(IKUEI WRESTLING CLUB)

JOCジュニアオリンピックカップ

期日 2022年4月23日~24日

場所 神奈川・横浜武道館

■青柳善の輔(山梨学院大)がJOC杯、グレコローマンは9大学が優勝

U20(旧ジュニア)は、男子フリースタイル65kg級で3年前のカデット(現U17)で優勝した青柳善の輔(山梨学院大)が優勝。JOCジュニアオリンピックカップ賞に選ばれた。同61kg級で西内悠人(高知・高知南高)が優勝。高校生では74kg級の神谷龍之介(三重・いなべ総合学園高)も優勝した。8大学・高校で優勝を分けた。

男子グレコローマンは9大学で優勝を分けた。2階級優勝は日体大で、63kg級の丸山千恵蔵と77kg級の堀北一咲望が勝った。

【U20・男子フリースタイル】(4月23日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
57kg	71	弓矢健人 (日体大)	山口太一 (早大)	我満大記 (国士館大)	芹沢雄生 (中大)	高田 勇 (三重・いなべ総合学園)	高橋瑠希弥 (近大)	古瀬 稜 (専大)	葛城巻星 (明大)	
61kg	51	西内悠人 (高知・高知南高)	佐藤大夢 (中大)	有田蒼生 (日体大)	森田魁人 (山梨学院大)	杉本誠道 (日体大)	時田一生 (大東大)	深澤颯太 (山梨学院大)	尾形光駿 (東洋大)	
65kg	53	青柳善の輔 (山梨学院大)	細川 周 (京都・丹後緑風高)	加賀田柊生 (明大)	荻野海志 (山梨学院大)	岩切徳丸 (中大)	上村律心 (高知・高知南高)	金子晴翔 (茨城・霞ヶ浦高)	太田匠海 (明大)	
70kg	42	高橋海大 (日体大)	鈴木大樹 (山梨学院大)	計良涼介 (早大)	内山椋太 (国士館大)	有馬鉄太 (拓大)	小林風斗 (関大)	工藤大知 (国士館大)	山路太心 (中大)	
74kg	28	神谷龍之介 (三重・いなべ総合学園高)	碓屋亮太郎 (日大)	小川統己 (東洋大)	山路健心 (早大)	太田晃輝 (専大)	田村拓斗 (明大)	保坂典樹 (国士館大)	上村朋也 (群馬・館林高)	
79kg	27	清水大輔 (明大)	高原崇陽 (専大)	伊藤大輝 (京都・丹後緑風高)	出田 匠 (専大)	今野駿輔 (専大)	深谷海斗 (東洋大)	小林大輝 (神奈川大)	藤田 豪 (日大)	
86kg	15	五十嵐文彌 (山梨学院大)	権田 龍 (周南公立大)	吉田奨健 (帝塚山大)	佐藤大斗 (専大)	木村友也 (石川・志賀高)	三井正信 (日大)	世古竜規 (日本文理大)	(該当選手なし)	
92kg	14	三浦哲史 (拓大)	菊地一瑛 (埼玉・埼玉栄高)	米田侑太 (国士館大)	植木優斗 (栃木・足利大附高)	立岡拓馬 (岐阜・岐阜工高)	草川将吾 (和歌山・和歌山東高)	長友大生 (中京学院大)	坂井孝太郎 (明大)	
97kg	10	濱田豊喜 (中大)	佐々木優太 (育英大)	大谷 丈 (群馬・前橋西高)	能瀬龍樹 (石川・志賀高)	丸山政陽 (静岡・沼津城北高)	村上智紀 (九州共立大)	千葉大輝 (近大)	中里優斗 (中大)	
125kg	13	藤田龍星 (日大)	品田陽平 (法大)	江口凧海 (神奈川・磯子工高)	新井裕太 (国士館大)	永野颯太 (専大)	中本勝幸 (広島・賀茂高)	對比地旭陽 (山梨学院大)	(該当選手なし)	

【U20・男子グレコローマン】(4月23日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
55kg	19	尾西大河 (早大)	山際航平 (日体大)	増田杜兼 (育英大)	大楠健太 (日体大)	都留暢人 (神奈川大)	船越陽晴 (周南公立大)	坂本大悟 (立大)	杉本陸斗 (日大)	
60kg	18	五味虹登 (育英大)	森 靖仁 (日体大)	宮崎 駆 (専大)	伊藤翔哉 (専大)	松本 陸 (大東大)	佐々木暢久 (九州共立大)	山縣 力 (日体大)	吉永光輝 (近大)	
63kg	12	丸山千恵蔵 (日体大)	澤田幸明 (拓大)	及川太一 (日大)	徳比嘉未仁 (日体大)	渡部泰世 (専大)	岩田昇也 (育英大)	池端珠理 (専大)	山下丈翔 (東洋大)	
67kg	21	豊田峻真 (拓大)	小川琉生 (日体大)	長野壮志 (九州共立大)	石原三四郎 (中大)	村上史拓 (日体大)	倉田康生 (育英大)	東川 翼 (大東大)	今中賀也 (大東大)	
72kg	15	西田衛人 (専大)	菊田 創 (埼玉・埼玉栄高)	友寄汰志 (日体大)	本名一晟 (育英大)	小野健作 (日体大)	鹿糠鉄斗 (育英大)	坂上拓瑠 (日体大)	千田淳貴 (日体大)	
77kg	11	堀北一咲望 (日体大)	茂野史玖 (国士館大)	林 拳進 (中大)	青柳裕樹 (神奈川大)	仲松天希 (九州共立大)	島本 翔 (滋賀・八幡工高)	山口翔生 (天理大)	(該当選手なし)	
82kg	17	山口蓮汰 (神奈川大)	掛川零恩 (山口・豊浦高)	豊田哲平 (青山学院大)	大桃遥望 (神奈川大)	島袋希理瑠 (山梨・重崎工高)	石橋 将 (法大)	山下武蔵 (南九州大)	桃園拓武 (山形・山形南)	
87kg	9	岩井知史 (明大)	稲本喬弘 (関大)	吉澤 英 (育英大)	磯江大成 (日体大)	磯谷 輝 (滋賀・八幡工高)	関 優太 (日体大)	濱田浩暉 (中京学院大)	(該当選手なし)	
97kg	10	中原 陸 (大東大)	北脇 香 (早大)	菊地 和 (北海道・帯広北高)	西川大智 (青山学院大)	佐藤 宗 (日本ウエルネススポーツ大)	栗城和弥 (日体大)	谷内田皇佑 (中京学院大)	奥田歩希 (九州共立大)	
130kg	13	山田康瑛 (山梨学院大)	宮内勇真 (神奈川大)	佐々岡諒仁 (中京学院大)	岩澤 歩 (日体大)	竹田 廉 (東洋大)	向江 拓 (大東大)	山中望礼 (高知・高知東)	(該当選手なし)	

【U17・男子フリースタイル】(4月24日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
45kg	7	荻田大雅 (兵庫・芦屋学園中)	重光啓達 (和歌山・和歌山工高)	松實海斗 (和歌山・新宮ジュニア)	深澤遼弥 (山梨・山梨ジュニア)	水濁雄吾 (石川・志賀高)	林 宝來 (群馬・館林商工高)	麦沢 陸 (岩手・種市高)	---
48kg	16	吉田アリヤ (JOCエリートアカデミー)	赤木烈王 (兵庫・猪名川高)	菅原大志 (磯エペアーズ)	松本勇莉 (石川・志賀高)	野崎生隠 (兵庫・一心館神戸高塚高)	渡部仁和 (岩手・種市高)	山鹿辰士 (秋田・秋田商高)	鈴木大翔 (神奈川・磯子工高)
51kg	29	片岡大河 (千葉・日体大柏高)	貴船武人 (東京・自由ヶ丘学園高)	小川大和 (長崎・島原高)	石山竜成 (宮崎・都城西高)	小川礼寿 (静岡・飛龍高)	古市大翔 (千葉・野田一中)	由井廉太郎 (京都・京都八幡高)	山下祈願 (大分・日本文理大附高)
55kg	28	大脊戸逞斗 (埼玉・花咲徳栄高)	伊藤洋行 (秋田・秋田商高)	安渡 翔 (山口・豊浦高)	里中飛雅 (千葉・日体大柏高)	尾浦悠斗 (三重・いなべ総合学園高)	中西純大 (香川・多度津高)	山口想成 (群馬・館林高)	佐藤琢磨 (静岡・飛龍高)
60kg	43	荻野大河 (埼玉・埼玉栄高)	小岩皆人 (千葉・日体大柏高)	曾野亮晟 (三重・いなべ総合学園高)	佐藤秀磨 (静岡・飛龍高)	前原晟人 (宮崎・都城西高)	吉田 煌 (埼玉・花咲徳栄高)	中野瑞己 (大阪・興國高)	川路悠介 (東京・日本工大駒場高)
65kg	31	菅野煌大 (JOCエリートアカデミー)	瀧澤勇仁 (神奈川・慶應義塾高)	岡田卓己 (静岡・飛龍高)	岡 大和 (香川・多度津高)	小川 滉 (東京・自由ヶ丘学園高)	佐藤玲音 (福島・ふたば未来学園高)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄高)	開高聖人 (福井・福井農林高)
71kg	34	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園高)	安藤慎悟 (大阪・興國高)	神谷樹生 (三重・いなべ総合学園高)	古市一翔 (千葉・日体大柏高)	吉野飛来 (埼玉・埼玉栄高)	中村響希 (佐賀・鳥栖工高)	北井涼都 (山梨・韭崎工高)	堤 大智 (岐阜・マيسポーツ)
80kg	36	浅野 心 (岡山・高松農高)	岡澤ナツラ (神奈川・慶應義塾高)	石坂陽典 (千葉・日体大柏高)	水崎竣介 (京都・丹後緑風高)	加藤遥空 (群馬・市立太田高)	美齊津楓雅 (長野・小諸商高)	千川元暉 (和歌山・和歌山北高)	赤坂和哉 (石川・志賀高)
92kg	24	南木元起 (佐賀・鳥栖工高)	金澤空大 (千葉・日体大柏高)	伏部内皓太 (岩手・種市高)	リポウィッツ和青 (第六機動隊少年)	財満偉牙 (熊本・小川工高)	上東魁人 (富山・高岡向陵高)	西山修人 (長崎・諫早高)	伊藤知大 (大分・日本文理大附高)
110kg	19	宇都宮快斗 (埼玉・埼玉栄高)	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄高)	岩崎和志 (神奈川・磯子工高)	福島煌天 (栃木・足利大附高)	小畑輝榮 (奈良・天理校教学園高)	平田健人 (鹿児島・鹿屋中央高)	長谷川大和 (大阪・大体大浪商中)	織山昭成 (秋田・秋田商高)

【U17・男子グレコローマン】(4月24日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
45kg	5	坂本 広 (東京・AACC)	岸田大雅 (山口・豊浦高)	松實陸斗 (和歌山・新宮ジュニア)	坂田謙心 (静岡・焼津水産高)	五島海翔 (岐阜・岐阜工高)	---	---	---
48kg	12	竹本 優 (静岡・藤枝北高)	坪田諭依 (滋賀・八幡工高)	清水仁人 (三重・四日市中央工高)	錦戸蓮太 (熊本・小川工高)	近藤龍成 (愛知・名古屋工高)	福田直央 (宮崎・宮崎日大高)	(該当選手なし)	(該当選手なし)
51kg	9	中村真翔 (山梨・韭崎工高)	森下大輔 (和歌山・和歌山北高)	高橋遥瑠大 (愛知・星城高)	妹尾優篤 (北海道・帯広北高)	沖田光晴 (山口・柳井学園高)	佐々木陽琉 (栃木・足利大附高)	杉本 蓮 (奈良・大和広陵高)	(該当選手なし)
55kg	12	金澤孝羽 (東京・自由ヶ丘学園高)	稲岡心空 (富山・高岡向陵高)	浜田 宙 (愛媛・八幡浜工高)	大谷哉斗 (茨城・霞ヶ浦高)	中平晴人 (徳島・池田高)	大西琉偉 (岩手・種市高)	後藤瑠希 (岐阜・中津商高)	(該当選手なし)
60kg	12	榑 颯太 (山梨・韭崎工高)	八隅士和 (東京・自由ヶ丘学園高)	直井夢希 (岐阜・高山西高)	森本陽太 (兵庫・神戸高塚高)	坂下太一 (愛媛・北条高)	南 登陽 (滋賀・八幡工高)	下川碧琉 (徳島・つるぎ高)	井上 零 (神奈川・修徳館高)
65kg	21	鈴木飛来 (山梨・韭崎工高)	坂上翔琉 (群馬・館林高)	請川鳳大良 (和歌山・和歌山北高)	松澤 快 (茨城・土浦日大高)	小林直生 (新潟・北越高)	酒生貴彰 (鹿児島・鹿屋中央高)	谷口達人 (兵庫・神戸高塚高)	岡部利毅 (北海道・帯広北高)
71kg	18	高橋侑臣 (高知・高知南高)	角出直生 (石川・志賀高)	小川凜太郎 (愛媛・八幡浜工高)	内田凌都 (茨城・鹿島学園高)	生亀 奏 (福島・田島高)	和湯瑛希 (鳥取・鳥取中央育英高)	眞塩 悠 (群馬・前橋西高)	仲 如由 (山口・豊浦高)
80kg	11	吉田泰造 (香川・高松北高)	渡邊汰太郎 (新潟・八海高)	橋本大輝 (三重・朝明高)	矢野安章 (愛媛・今エクラブ)	高橋惺哉 (山口・山口鴻城高)	小川煌晟 (栃木・宇都宮商高)	野田涼一 (岐阜・中津商高)	(該当選手なし)
92kg	12	鬼塚一心 (福岡・三井高)	近藤大朗 (愛知・名古屋高)	甲斐武蔵 (山梨・韭崎工高)	松崎繕弘 (岡山・備前緑陽高)	春風飛翼 (兵庫・神戸高塚高)	亀山颯汰 (神奈川・永谷高)	苔米地勘太 (群馬・館林高)	加藤章馬 (茨城・茨城東高)
110kg	14	大藪颯太 (岐阜・岐阜工高)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西高)	岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工高)	宮崎祐貴彦 (新潟・八海高)	遠藤大翔 (静岡・飛龍高)	田中礼文 (群馬・前橋西高)	若林 武 (長野・上田西高)	中島武蔵 (福井・敦賀気比高)

《個人賞》

【JOCジュニアオリンピックカップ】青柳善の輔(男子フリースタイル65kg級=山梨学院大)

【オリンピックゴールドメダリスト賞】

▼U20 五味虹登(男子グレコローマン60kg級=育英大)、▼U17 山口叶太(男子フリースタイル71kg級=東京・自由ヶ丘学園高)

東日本学生リーグ戦

期 日 ▶ 2022年5月18日～20日

場 所 ▶ 東京・駒沢体育館

■日体大が2大会連続28度目の優勝、立大が61年ぶりの一部昇格を決める

一部リーグの1～4位リーグで3戦全勝。2019年の前回大会から2度の中止をはさみ、2大会連続28度目の優勝を遂げた。

日体大は1～4位のグループ2回戦で、王座奪還を目指す山梨学院大を4-3で撃破して優勝へ大きく前進。チームスコア3-3のあと、65kg級の清岡幸太郎が勝ち、日体大に勝利を引き寄せた。最終戦は、負傷で2階級を欠場した拓大に5-2で勝った。

総当たりで行われた二部リーグは、立大が5戦全勝で優勝。慶大との入れ替え戦も4-3で勝ち、一部リーグ昇格を決めた。立大が一部リーグに在籍したのは1962年大会(当時は一部8大学)までさかのぼり、2023年は61年ぶりに一部リーグで闘う。

新ルールによって出場した東北学院大と国際武道大による学連選抜チームは、4勝1敗で2位の好成績を残した。

◎一部決勝リーグ

【1～4位グループ】

大学名	日体大	拓大	山梨学院大	早大	勝敗	順位
日体大		○5-2	○4-3	○7-0	3勝	1
拓大	●2-5		●1-6	○4-3	1勝2敗	3
山梨学院大	●3-4	○6-1		○4-3	2勝1敗	2
早大	●0-7	●3-4	●3-4		3敗	4

【5～8位グループ】(カッコ内は勝ち数)

大学名	中大	専大	日大	国士館大	勝敗	順位
中大		○6-1	○4-3	●1-6	2勝1敗(11)	6
専大	●1-6		○4-3	●3-4	1勝2敗(8)	8
日大	●3-4	●3-4		○5-2	1勝2敗(11)	7
国士館大	○6-1	○4-3	●2-5		2勝1敗(12)	5

【9～12位グループ】

大学名	育英大	東洋大	青山学院大	神奈川大	勝敗	順位
育英大		○4-3	●3-4	○4-3	2勝1敗(11)	9
東洋大	●3-4		○4-3	●3-4	1勝2敗(10)	11
青山学院大	○4-3	●3-4		●3-4	1勝2敗(10)	12
神奈川大	●3-4	○4-3	○4-3		2勝1敗(11)	10

※順位は勝ち点合計による。育英大47点／神奈川大42点、東洋大43点／青山学院大38点

【13～16位グループ】

大学名	明大	慶大	大東大	法大	勝敗	順位
明大		○6-1	○6-1	○6-1	3勝	13
慶大	●1-6		●1-6	●1-6	3敗	16
大東大	●1-6	○6-1		●2-5	1勝2敗	15
法大	●1-6	○6-1	○5-2		2勝1敗	14

《個人賞》

【一部リーグ・最優秀選手賞】伊藤飛未来(日体大)、【一部リーグ・敢闘賞】後藤玲空(山梨学院大)、

【二部リーグ・最優秀選手賞】河村歩(立大)、【二部リーグ・敢闘賞】鈴木海斗(学連選抜＝国際武道大)、

【最優秀監督賞】松本慎吾(日体大)、【ゴールデンホイッスル賞】大河原蔵之介(日体大)

◎一部予選リーグ

【Aグループ】

大学名	日体大	明大	中大	育英大	勝敗	順位
日体大		○7-0	○7-0	○7-0	3勝	1
明大	●0-7		●0-7	●2-5	3敗	4
中大	●0-7	○7-0		○5-2	2勝1敗	2
育英大	●0-7	○5-2	●2-5		1勝2敗	3

【Bグループ】

大学名	拓大	専大	東洋大	慶大	勝敗	順位
拓大		○4-3	○7-0	○7-0	3勝	1
専大	●3-4		○5-2	○6-1	2勝1敗	2
東洋大	●0-7	●2-5		○5-2	1勝2敗	3
慶大	●0-7	●1-6	●2-5		3敗	4

【Cグループ】

大学名	山梨学院大	日大	青山学院大	大東大	勝敗	順位
山梨学院大		○5-2	○7-0	○7-0	3勝	1
日大	●2-5		○6-1	○5-2	2勝1敗	2
青山学院大	●0-7	●1-6		○6-1	1勝2敗	3
大東大	●0-7	●2-5	●1-6		3敗	4

【Dグループ】

大学名	早大	国士館大	神奈川大	法大	勝敗	順位
早大		○6-1	○6-1	○7-0	3勝	1
国士館大	●1-6		○7-0	○7-0	2勝1敗	2
神奈川大	●1-6	●0-7		○5-2	1勝2敗	3
法大	●0-7	●0-7	●2-5		3敗	4

◎二部リーグ

大学名	防大	立大	東海大	日本ウ大	東大	学連選抜	勝敗	順位
防衛大学校		●1-6	●2-5	●3-4	○7-0	●3-4	1勝4敗	5
立大	○6-1		○7-0	○5-2	○7-0	○7-0	5勝	1
東海大	○5-2	●0-7		●3-4	○7-0	●2-5	2勝3敗	4
日本ウェルネススポーツ大	○4-3	●2-5	○4-3		○4-3	●2-5	3勝2敗	3
東大	●0-7	●0-7	●0-7	●3-4		●1-5	5敗	6
学生連盟選抜	○4-3	●0-7	○5-2	○5-2	○5-1		4勝1敗	2

※学生連盟選抜＝東北学院大・国際武道大



▲2大会連続優勝の日体大



▲二部リーグで優勝、61年ぶりの一部リーグ昇格を決めた立大(中央)

西日本学生春季リーグ戦

期日 2022年5月14日～15日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

■周南公立大(旧徳山大)が2季連続20度目の優勝

徳山大から大学名が変更され公立大として生まれ変わった周南公立大が近大との優勝決定戦に4-3で勝利。大学名が変わってから初、通算で2季連続20度目の優勝を達成した。公立大の優勝は、東西のリーグ戦を通じて初めて。

予選A組の周南公立大は、予選リーグで大体大、中京学院大、立命館大を連破し、B組1位の近大との優勝決定戦に臨んだ。チームスコア3-1から3-3に追いつかれたものの、最後の70kg級で昨年の全日本学生選手権2位の永松麗主将が勝利。チームを支えるべき選手の貴重な勝利で連覇を達成した。近大は2017年春季以来の優勝決定戦進出を果たし、前季の覇者を追い詰めたものの、わずかに及ばず、1997年春季以来の優勝はならなかった。3位は日本文理大。

二部リーグは関大が4戦全勝で優勝。来季は中京学院大と入れ替わって一部リーグで闘う。2位は帝塚山大、3位は天理大。



▲校名変更後初、通算20度目の優勝の周南公立大



▲決勝戦、3勝3敗のあと、勝負を決めた70kg級の永松麗主将。

◎一部リーグ

【Aグループ】

大学名	周南公立大	立命館大	中京学院大	大体大	勝敗	順位
周南公立大		○4-3	○7-0	○6-1	3勝	1
立命館大	●3-4		○4-3	○4-3	2勝1敗	2
中京学院大	●0-7	●3-4		●3-4	3敗	4
大体大	●1-6	●3-4	○4-3		1勝2敗	3

【Bグループ】(カッコ内の数字は勝ち星)

大学名	九州共立大	日本文理大	近大	福岡大	勝敗	順位
九州共立大		●2-5	●1-6	○5-2	1勝2敗(8)	3
日本文理大	○5-2		●2-5	●3-4	1勝2敗(10)	2
近大	○6-1	○5-2		○6-1	3勝	1
福岡大	●2-5	○4-3	●1-6		1勝2敗(7)	4

【ファイナル】

《決勝》

周南公立大
○[4-3] ●近大

《3位決定戦》

日本文理大
○[6-1] ●立命館大

《5・6位決定戦》

大体大
○[4-3] ●九州共立大

《7・8位決定戦》

福岡大
○[4-3] ●中京学院大

◎二部リーグ

大学名	同志社大	関大	天理大	帝塚山大	関学大	勝敗	順位
同志社大		●2-5	●3-4	●3-4	○4-3	1勝3敗	4
関大	○5-2		○5-2	○6-1	○5-2	4勝	1
天理大	○4-3	●2-5		●3-4	○6-1	2勝2敗	3
帝塚山大	○4-3	●1-6	○4-3		○5-2	3勝1敗	2
関学大	●3-4	●2-5	●1-6	●2-5		4敗	5

【八田杯(一部最優秀選手)】永松麗(周南公立大)、【松井杯(一部敢闘賞)】小林雄泰(近大)、
【小田原杯(二部最優秀選手)】岸田宝来(関大)、【井川杯(二部敢闘賞)】松岡大誠(帝塚山大)

沼尻直杯全国中学生選手権

期日 2022年6月11日～12日

場所 茨城・アダストリアみとアリーナ

■辻田陽咲(大阪・吹田市民教室)と野口紗英(北海道・帯広クラブ)がMVP

【男子】(「数」はエントリー数。所属末尾の数字は学年)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
38kg	44	前田悠樹 (東京・グロリアクラブ2)	桑原廷佳 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	稲葉広人 (福島・ふたば未来学園中1)	山口寛汰 (静岡・焼津リトル2)	宮脇直也 (京都・京都八幡ジュニア2)	井黒寛太郎 (宮崎・しまぐりーんホース1)	江間大登 (東京・LOTUS世田谷1)	久保祐乃 (青森・十和田スポーツ少年団3)	
41kg	37	坂本 広 (東京・AACC3)	山本海星 (和歌山・和歌山クラブ3)	松浦充希 (愛知・刈谷クラブ2)	松實陸斗 (和歌山・新宮ジュニア3)	西川 陽 (東京・LOTUS世田谷1)	西村翔偉 (静岡・焼津ジュニア2)	花盛陽色 (兵庫・猪名川クラブ2)	鈴木陸王 (千葉・野田一中3)	
44kg	46	大井喜一 (東京・グロリアクラブ3)	古澤優真 (京都・栗田3)	薬野柑太 (東京・LOTUS世田谷1)	松實陸斗 (和歌山・新宮ジュニア3)	日浦璃毘 (福井・敦賀気比高附中1)	中田暁之進 (千葉・松戸ジュニア3)	横田大和 (東京・NEXUS YOKOSUKA2)	三浦琉生 (茨城・ひたちなかクラブ1)	
48kg	74	椎名遥玖 (千葉・チームリバーサル3)	久保音晴 (東京・MTX GOLDKIDS2)	檜山惇也 (福島・大子ジュニア2)	藤原尚大 (高知・高知クラブ1)	小此木仁之祐 (神奈川・WRESTLE-WIN2)	大門陸翔 (石川・志賀町ジュニア2)	森野遼太 (静岡・沼津学園ジュニア2)	榊原 諒 (三重・四日市ジュニア2)	
52kg	93	本多正虎 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA3)	北村春斗 (兵庫・猪名川クラブ3)	古市大翔 (千葉・野田一中3)	菅原大志 (神奈川・磯工ペアーズ3)	中納京介 (埼玉・グロリア2)	岩崎航大 (東京・ドン・キホーテ3)	鶴野大河 (大阪・京都八幡ジュニア2)	庵野琥士朗 (奈良・坂ジュニア3)	
57kg	82	安威永太郎 (東京・MTX GOLDKIDS3)	前原大輝 (宮崎・Wellness Kids都城2)	長沼一汰 (東京・WRESTLE-WIN2)	内藤暖次朗 (東京・BRAVE2)	北出幸也 (大阪・堺ジュニア3)	戸邊昇輝 (千葉・野田一中3)	日原煌大 (山梨・重崎工業ジュニア2)	松井礼士 (群馬・おたふスポーツ学校3)	
62kg	60	辻田陽咲 (大阪・吹田市民教室3)	江口 翼 (東京・AACC3)	丸田龍平 (埼玉・埼玉栄中3)	水橋 毅 (東京・小岩三中1)	大門大翔 (石川・志賀町ジュニア3)	福井橙空 (静岡・焼津ジュニア3)	山下蒼太 (香川・高松北中3)	大森優多郎 (和歌山・和歌山クラブ2)	
68kg	36	堤 大智 (岐阜・ミススポーツハウス3)	福井大翔 (埼玉・埼玉栄中3)	秋保大地 (東京・MTX GOLDKIDS3)	弓矢翔太 (三重・INABEアカデミー3)	田中 陸 (東京・WRESTLE-WIN3)	中田 廉 (鹿児島・TEAM☆SATSUMA3)	花盛奏太 (兵庫・猪名川クラブ3)	道上陽翔 (滋賀・日野クラブ3)	
75kg	23	小林賢弥 (大阪・大体大浪商中2)	後藤正太郎 (愛知・ナゴヤアカデミー3)	寺村壮太 (大阪・四條畷クラブ2)	吉田悠耶 (長崎・OMURA TOP TEAM3)	石原楽大 (香川・高松北中1)	金澤永和 (千葉・柏クラブ1)	濱田大喜 (東京・日本工大駒場中2)	松嶋 攻 (和歌山・和歌山クラブ3)	
85kg	20	相原大河 (愛媛・松山クラブ3)	村本紳一郎 (岡山・総社西中3)	矢口瞳真 (茨城・霞ヶ浦クラブ3)	根岸祥嗣 (埼玉・BRAVE2)	木崎太賀 (千葉・柏クラブ2)	田中初樹 (福岡・北九州クラブ2)	中沢友貴 (山梨・山梨ジュニア2)	浅野祐志 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA3)	
110kg	7	リポウィッツ和青 (東京・第六機動隊少年部3)	長谷川大和 (大阪・大体大浪商中3)	竹澤 光 (埼玉・HANASAKI Jr.2)	新田健人 (大阪・井高野中3)	江上海翔 (東京・ESKアカデミー2)	水田謙壮 (千葉・チームリバーサル2)	里見 健 (東京・東美ジュニア2)	---	

【女子】(「数」はエントリー数。所属末尾の数字は学年)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
33kg	3	中西 杏 (三重・桑名クラブ2)	野手里穂菜 (北海道・帯広クラブ1)	---	---	---	---	---	---	---
36kg	13	佐々木未桜 (青森・八戸クラブ1)	榊原真貴 (三重・松阪クラブ2)	千田愛穂 (岩手・Uovadro盛岡クラブ2)	入江俐心 (福岡・北九州クラブ1)	田中希実 (青森・八戸クラブ1)	本名奏天 (新潟・巻っすクラブ1)	佐々木ひまり (石川・金沢ジュニア2)	中園和奏 (埼玉・下野サンダーキッズ1)	
39kg	16	荒川笑舞 (北海道・帯広クラブ2)	江坂萌那 (愛知・刈谷クラブ2)	寶嶋菜那 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA1)	小原心花 (神奈川・FIRE BOYS2)	内田菜楓 (京都・舞鶴クラブ1)	小島怜紗 (大阪・吹田市民教室1)	松本千柚稀 (兵庫・芦屋学園中2)	東 海良 (埼玉・フェニックスクラブ1)	
42kg	20	勝目結羽 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	角本明日香 (千葉・日本工大駒場中2)	日向玲奈 (千葉・松戸ジュニア2)	竹内菜々子 (神奈川・FIRE BOYS1)	加藤あん (神奈川・FIRE BOYS1)	堂田一葉 (京都・舞鶴クラブ1)	国重 心 (山口・徳山チビッツ1)	足立莉子 (愛知・一宮クラブ2)	
46kg	26	小塚菜々 (三重・INABEアカデミー2)	渡邊ひさき (神奈川・HAKOBEE TOKYO3)	大矢華乃 (神奈川・横須賀ジュニア2)	由井詠葉 (京都・京都八幡ジュニア2)	金山來実 (三重・四日市港中2)	棚田紗雪 (兵庫・芦屋学園中3)	成田莉菜 (青森・青森ジュニア1)	関戸香梨奈 (神奈川・TEAMBISON'S3)	
50kg	32	下田結月 (高知・高知クラブ2)	筒井 双 (埼玉・日体大桜華中3)	小川璃苑 (岐阜・中津川ジュニア2)	中島倜紗 (鹿児島・鹿児島クラブ2)	田中 結 (東京・JOCエリートアカデミー1)	加藤百々花 (岐阜・羽島市連盟1)	長谷川咲和 (岐阜・羽島市連盟2)	山内悠妃 (神奈川・FIRE BOYS3)	
54kg	21	森脇花乃 (京都・舞鶴クラブ2)	諸星日菜 (埼玉・埼玉栄中3)	永谷優来 (石川・志賀町ジュニア3)	坂井 椿 (岐阜・羽島市連盟2)	安見 心 (京都・京都八幡ジュニア1)	佐藤 優 (千葉・八千代松陰中3)	永富琉衣 (兵庫・芦屋学園中3)	石山叶歩 (滋賀・日野クラブ3)	
58kg	18	野口紗英 (北海道・帯広クラブ3)	中山木の実 (福井・HAKOBEE FUKUI3)	三明日香 (北海道・早来中2)	飯田 響 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	柳生実咲 (徳島・ジョイフルクラブ3)	西岡 麦 (京都・立橋立中2)	太田結月 (静岡・長泉ファイティング2)	直井詩空 (岐阜・ミススポーツ2)	
62kg	11	岩崎美優 (埼玉・日体大桜華中3)	小柴ゆり (佐賀・鳥栖クラブ3)	内田柊花 (京都・舞鶴クラブ3)	村田悠芽夏 (群馬・邑楽ジュニア3)	熊澤夏生 (北海道・帯広クラブ1)	雪本 慈 (大阪・堺リベラル中2)	真島好花 (埼玉・日体大桜華中1)	横倉凛々花 (茨城・水戸四中2)	
66kg	5	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー2)	松山 桜 (神奈川・日本工大駒場中3)	高山海優 (神奈川・NEXUS YOKOSUKA2)	伊藤愛里 (愛知・至学館クラブ3)	大豆生田麗 (茨城・ひたちなかクラブ2)	---	---	---	
73kg	7	木村允希愛 (香川・高松北中3)	小沼彩倭 (千葉・下野サンダーキッズ2)	吉村琴姫 (鹿児島・TEAM☆SATSUMA2)	内山陽詩 (茨城・霞ヶ浦クラブ3)	館下莓采 (岩手・山田3)	藤田真妃琉 (千葉・チームリバーサル2)	川下あい (三重・松阪クラブ2)	---	

《個人賞》

【最優秀選手(沼尻直杯)】辻田陽咲(男子62kg級=大阪・吹田市民教室3)

【最優秀選手(茨城県知事賞)】野口紗英(女子58kg級=北海道・帯広クラブ3)

【優秀選手(水戸市長賞)】木村允希愛(女子73kg級=香川・高松北中3)

【優秀選手(大会会長賞)】リポウィッツ和青(男子110kg級=東京・第六機動隊少年部3)

【優秀選手(茨城県協会会長賞)】安威永太郎(男子57kg級=東京・MTX GOLDKIDS3)

明治杯全日本選抜選手権

関連記事=カラー8~9ページ

期 日 ▶ 2022年6月16日~19日 場 所 ▶ 東京・駒沢体育館

■須崎優衣(キッツ)が勝って明治杯を受賞、プレーオフも勝つ

【明治杯(最優秀選手)】須崎優衣(女子50kg級=キッツ)

【優秀選手】▼女子 志土地真優(55kg級=ジェイテクト)、▼男子グレコローマン 文田健一郎(ミキハウス)、

▼男子フリースタイル 長谷川敏裕(三恵海運)

【男子フリースタイル】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	7位	8位
57kg	12	長谷川敏裕 (三恵海運)	阿部敏弥 (国士館大職)	藤田雄大 (自衛隊)	新井陸人 (自衛隊)	山口太一 (早大)	竹下雄登 (日体大)	田南部魁星 (日体大)
61kg	12	樋口 黎 (ミキハウス)	小川航大 (自衛隊)	森川海舟 (拓大)	藤田 颯 (早大)	中村勇士 (日体大)	深水小鉄 (東洋大)	島谷 侃 (早大)
65kg	9	山口海輝 (日体大助手)	安楽龍馬 (nobitel)	清岡幸大郎 (日体大)	諏訪間新之亮 (国士館大)	青柳善の輔 (山梨学院大)	徳力貫太 (専大)	上野裕次郎 (栃木県スポーツ協会)
70kg	11	高橋喬大 (日体大)	大野恵太郎 (日体大)	成國大志 (MTX GOLDKIDS)	畔上浩輝 (近大)	永松 麗 (周南公立大)	佐長拓未 (同志社大)	坂野秀亮 (神奈川・日大藤沢高職)
74kg	10	高谷大地 (自衛隊)	木下貴輪 (クリナップ)	深田雄智 (早大)	小柴伊織 (日体大)	金子将大 (トラス)	志賀晃次郎 (警視庁福生警察署)	礪屋亮太郎 (日大)
79kg	12	高橋夢大 (日体大)	山崎弥十朗 (サイゼン)	村山貴裕 (自衛隊)	内田貴斗 (専大)	阿部侑太 (秋田刑務所)	奥井真吉 (国士館大)	阿部宏隆 (KAWAMASU)
86kg	7	奥井真生 (自衛隊)	白井勝太 (クインテット)	白井達也 (日体大)	松雪泰成 (レスターホールディングス)	市川アンディ (神奈川大)	(6位) 五十嵐文彌 (山梨学院大)	権田 龍 (周南公立大)
92kg	9	高谷惣亮 (ALSOK)	阿部 光 (中大)	三浦哲史 (拓大)	山中良一 (愛知・名古屋工高教)	坂井孝太郎 (明大)	小尾優弥 (九州共立大)	竹内亮亘 (ALSOK)
97kg	7	石黒峻士 (新日本プロレス職)	伊藤飛未来 (日体大)	園田 平 (自衛隊)	伊藤慧亮 (明大)	品田陽平 (法大)	(6位) 奥田歩希 (九州共立大)	---
125kg	7	山本泰輝 (自衛隊)	二ノ宮寛斗 (不二精機)	福井裕士 (天理大コーチ)	對比地旭陽 (山梨学院大)	出頭 海 (中大)	(6位) 田場尚幸 (南九州大)	藤田龍星 (日大)

【男子グレコローマン】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	7位	8位
55kg	10	松井 謙 (日体大)	塩谷 優 (拓大)	塩崎泰隆 (日体大)	尾西大河 (早大)	二宮健斗 (日本文理大)	荒木瑞生 (九州共立大)	山際航平 (日体大)
60kg	11	文田健一郎 (ミキハウス)	鈴木絢大 (レスターホールディングス)	稲葉海人 (日体大大学院)	河名真偉斗 (自衛隊)	堤 孔一 (青山学院大)	曾根敬次郎 (専大)	大河原蔵之介 (日体大)
63kg	12	池田龍斗 (日体クラブ)	丸山千恵蔵 (日体大)	小柴亮太 (佐賀中部農林事務所)	吉永光輝 (近大)	三井 潤 (明大)	長澤勇人 (和歌山県協会)	矢部和希 (栃木県スポーツ協会)
67kg	12	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	曾我部京太郎 (日体大)	清水賢亮 (自衛隊)	伊藤由信 (専大)	井ノ口崇之 (自衛隊)	二俣友明 (島根・隠岐島前高教)	吉永信太郎 (自衛隊)
72kg	11	井上智裕 (FUJIOH)	堀江耐志 (自衛隊)	小林大悟 (拓大)	矢部晴翔 (日体大)	稲葉洋人 (青山学院大)	春日井湧雅 (日体大)	寺田靖也 (明大クラブ)
77kg	10	屋比久翔平 (ALSOK)	前田明都 (レスターホールディングス)	日下 尚 (日体大)	水口竣介 (拓大)	小堀雄大 (東洋大)	山田 脩 (日体大)	堀北一咲望 (日体大)
82kg	11	岡嶋勇也 (警視庁)	田中真男 (奈良・天理教校高コーチ)	藤井達哉 (後藤回漕店)	山口蓮汰 (神奈川大)	川村洋史 (自衛隊)	玉岡颯斗 (早大)	高原崇陽 (専大)
87kg	10	角 雅人 (自衛隊)	阪部 創 (自衛隊)	塩川貫太 (長野県協会)	向井識起 (自衛隊)	岩井知史 (明大)	宮本海渡 (日体大)	林 秀悟 (日体大)
97kg	11	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	鶴田峻大 (自衛隊)	奈良勇太 (警視庁)	天野雅之 (中大職)	丸山純樹 (静岡県協会)	加藤大翔 (国士館大)	中原 陸 (大東大)
130kg	8	園田 新 (ALSOK)	西村麻凜 (国士館大)	小畑詩音 (日体大)	宮内勇真 (神奈川大)	山田康瑛 (山梨学院大)	(6位) 河野隆太 (あづまフーズ)	佐々岡誇仁 (中京学院大)

【女子】(「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	7位	8位	
50kg	10	須崎優衣 (キッツ)	吉元玲美那 (至学館大)	中村未優 (Sports Design Lab)	櫻井はなの (育英大)	森川晴凧 (愛知・至学館高)	伊藤海 (早大)	坂本由宇 (神奈川大)	眞柄美和 (愛知・至学館高)
53kg	10	藤波朱理 (日体大)	奥野春菜 (自衛隊)	入江ななみ (ミキハウス)	片岡梨乃 (早大)	佐々木花恋 (日大)	服部里桜 (法大)	木村彩夏 (法大)	中川夏希 (同志社大)
55kg	11	志土地真優 (ジェイテクト)	清岡もえ (育英大)	田村生吹 (日体大)	大野真子 (日体大)	吉柴未彩輝 (大東大)	今井佑海 (日大)	高山凜子 (至学館大)	太田若那 (東洋大)
57kg	9	櫻井つぐみ (育英大)	南條早映 (東新住建)	永本聖奈 (至学館大)	岩網瑠夏 (至学館大)	中村成実 (法大)	山内奏美 (神奈川大)	山口夏月 (至学館大)	新井一花 (愛知・至学館高)
59kg	10	元木咲良 (育英大)	岩網さら (至学館大)	徳原姫花 (自衛隊)	田南部夢叶 (レスターホールディングス)	今佑海 (リバーサルジム新宿MeWe)	岡田純奈 (日体大)	大橋海寛 (至学館大)	丸未永海 (愛知・至学館高)
62kg	7	尾崎野乃香 (慶大)	川井友香子 (サントリービバレッジ)	稲垣柚香 (至学館大)	坂野結衣 (警視庁)	類家直美 (至学館大)	^(6位) 惣崎優音 (日体大)	---	---
65kg	7	森川美和 (ALSOK)	今井海優 (自衛隊)	源平彩南 (アイシン)	寺本鈴 (山梨学院大)	平井かえで (育英大)	^(6位) 吉川かりん (福岡大)	---	---
68kg	4	石井亜海 (育英大)	松雪成葉 (ジェイテクト)	宮道りん (日体大)	小林久美 (福岡大)	---	---	---	---
72kg	8	古市雅子 (自衛隊)	新倉すみれ (神奈川大)	藤倉優花 (育英大)	水島京香 (日体大)	高田ここな (日体大)	和地美咲 (日体大)	小林奏音 (専大)	中村旭 (東京・日体大桜華高)
76kg	5	鏡優翔 (東洋大)	松雪泰葉 (ジェイテクト)	山本和佳 (至学館大)	長島水城 (大東文化大)	---	---	---	---

世界選手権代表選考プレーオフ (全日本選抜選手権の各日の決勝後に実施)

【男子フリースタイル】※Tフォールは、勝者からのスコア

階級	全日本選手権優勝		試合結果		全日本選抜選手権優勝	
70kg	成國大志	(MTX GOLDKIDS)	○	フォール、1:22=4-2	●	高橋海大 (日体大)
86kg	白井勝太	(クインテット)	○	2-1	●	奥井眞生 (自衛隊)

【男子グレコローマン】※Tフォールは、勝者からのスコア

階級	全日本選手権優勝		試合結果		全日本選抜選手権優勝	
55kg	塩谷優	(拓大)	○	6-3	●	松井謙 (日体大)
60kg	鈴木絢大	(レスターHD)	●	2-4	○	文田健一郎 (ミキハウス)
97kg	鶴田峻大	(自衛隊)	○	3-1	●	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)

【女子】

階級	全日本選手権優勝		試合結果		全日本選抜選手権優勝	
50kg	吉元玲美那	(至学館大)	●	0-8	○	須崎優衣 (キッツ)
55kg	今井佑海	(日大)	●	0-4	○	志土地真優 (ジェイテクト)
59kg	岩網さら	(至学館大)	●	1-2	○	元木咲良 (育英大)
68kg	松雪成葉	(ジェイテクト)	●	1-2	○	石井亜海 (育英大)
72kg	新倉すみれ	(神奈川大)	●	0-2	○	古市雅子 (自衛隊)

東日本学生選手権 (春季)

期日 2022年6月29日～7月1日 場所 東京・駒沢体育館

■山路太心(中大)・健心(早大)の双子兄弟が優勝

【新人戦】▼男子グレコローマン最優秀選手賞 西田衛人(67kg級=専大)、▼同敢闘賞 鹿糠鉄斗(72kg級=育英大)、
▼男子フリースタイル最優秀選手賞 森田魁人(61kg級=山梨学院大)、▼同敢闘賞 今井海陽(79kg級=日大)
【選手権】▼男子グレコローマン最優秀選手賞 松本健新(60kg級=神奈川大)、▼同敢闘賞 堤滋樹(67kg級=日体大)、
▼男子フリースタイル最優秀選手賞 村島克哉(92kg級=中大)、▼同敢闘賞 奥井真吉(79kg級=国士館大)
【女子】▼最優秀選手賞 今井佑海(57kg級=日大)、▼敢闘賞 片岡梨乃(53kg級=早大)
【ゴールデンホイッスル賞】小林史弥(山梨学院大)

【新人戦・男子グレコローマン】(6月29日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
55kg	9	伊藤翔哉 (専大)	増田壮兼 (育英大)	請川胡大良 (法大)	大楠健太 (日体大)	木村琉貴 (法大)	平田 宗 (中大)	戸田純人 (育英大)	大館一咲 (法大)
60kg	16	宮崎 駆 (専大)	松本 陸 (大東大)	陣内舜叶 (東海大)	日比野晴斗 (神奈川大)	山縣 力 (日体大)	弓矢健人 (日体大)	大矢仁太 (大東大)	高杉将輔 (日体大)
63kg	16	五味虹登 (育英大)	大塚 颯 (日体大)	山下文翔 (東洋大)	赤嶺明柳 (日体大)	岩田昇也 (育英大)	徳比嘉未仁 (日体大)	鳥目裕太 (神奈川大)	田南部魁星 (日体大)
67kg	14	西田衛人 (専大)	三谷剛大 (育英大)	遠藤勇馬 (明大)	岩切徳丸 (中央大)	和田晋太郎 (神奈川大)	村上史拓 (日体大)	大藤弘紀 (日体大)	(該当選手なし)
72kg	24	鹿糠鉄斗 (育英大)	本名一晟 (育英大)	坂上拓瑠 (日体大)	小野健作 (日体大)	本名帝心 (育英大)	中村啓人 (国士館大)	友寄汰志 (日体大)	石原三四郎 (中大)
77kg	16	今井海陽 (日大)	山路健心 (早大)	森崎悠太郎 (東洋大)	今野駿輔 (専大)	水崎康太郎 (中大)	尾沼翔太 (専大)	深谷海斗 (東洋大)	青柳裕樹 (神奈川大)
82kg	10	山口蓮汰 (神奈川大)	大泉宗太郎 (国士館大)	大桃遥望 (神奈川大)	豊田哲平 (青山学院大)	出田 匠 (専大)	小林大輝 (神奈川大)	磯浜広大 (日大)	(該当選手なし)
87kg	8	岩井知史 (明大)	磯江大成 (日体大)	三井正信 (日大)	吉澤 英 (育英大)	目黒航太 (国士館大)	八木澤侃永 (神奈川大)	佐藤大斗 (専大)	横井大伍朗 (明大)
97kg	9	米田侑太 (国士館大)	大浦 響 (明大)	(該当選手なし)	(該当選手なし)	(5位) 佐藤 宗 (日本ウェルネススポーツ大)	(6位) 栗城和弥 (日体大)	---	---
130kg	6	竹田 廉 (東洋大)	岩澤 歩 (日体大)	新井裕太 (国士館大)	大房快聖 (日本ウェルネススポーツ大)	永野颯大 (専大)	山口航平 (日大)	---	---

【新人戦・男子フリースタイルA】(6月30日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
57kg	27	加藤敦史 (国士館大)	五木田琉 (日体大)	小川潤大 (中大)	小澤楽翔 (中大)	葛城壺成 (明大)	川西巧晟 (東洋大)	島谷真和 (日大)	戸田純人 (育英大)
61kg	30	森田魁人 (山梨学院大)	五味虹登 (育英大)	赤嶺明柳 (日体大)	高木晟至 (専大)	高橋一輝 (日体大)	有田蒼生 (日体大)	時田一生 (大東大)	深澤颯太 (山梨学院大)
65kg	38	荻野海志 (山梨学院大)	池端珠理 (専大)	藤澤汰陽 (国士館大)	田南部魁星 (日体大)	谷内謙斗 (国士館大)	三谷剛大 (育英大)	深水小鉄 (東洋大)	松山拓磨 (日大)
70kg	22	山路太心 (中大)	内山椋太 (国士館大)	寺地智睦 (法大)	本名帝心 (育英大)	山賀 秀 (専大)	若野秀彪 (東洋大)	中嶋 輝 (育英大)	丹下叶夢 (東洋大)
74kg	17	山路健心 (早大)	大関寛穂 (国士館大)	森崎悠太郎 (東洋大)	小川統己 (東洋大)	本名一晟 (育英大)	佐藤照一 (国士館大)	鹿糠鉄斗 (育英大)	千田淳貴 (日体大)
79kg	16	今井海陽 (日大)	神原弘渡 (日体大)	清水大輔 (明大)	石山大凱 (中大)	水崎康太郎 (中大)	貫井賢人 (大東大)	城所拓馬 (国士館大)	(該当選手なし)
86kg	12	五十嵐文彌 (山梨学院大)	重松大翔 (大東大)	目黒航太 (国士館大)	合田悠悟 (東洋大)	三井正信 (日大)	磯浜広大 (日大)	池田 倫 (日大)	磯江大成 (日体大)
92kg	4	堀 開斗 (日大)	横井大伍朗 (明大)	米田侑太 (国士館大)	佐藤 宗 (日本ウェルネススポーツ大)	---	---	---	---
97kg	6	アビレイ・ソビット (山梨学院大)	濱田豊喜 (中大)	中里優斗 (中大)	大浦 響 (明大)	栗城和弥 (日体大)	---	---	---
125kg	8	藤田龍星 (日大)	山田康瑛 (山梨学院大)	新井裕太 (国士館大)	岩澤歩 (日体大)	大房快聖 (日本ウェルネススポーツ大)	竹田 廉 (東洋大)	永野颯大 (専大)	對比地旭陽 (山梨学院大)

【新人戦・男子フリースタイルB】(6月30日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
61kg	6	陣内舜叶	(東海大)	花田拓哉	(東海大)	正岡優一	(東大)	出原和弥	(東大)
70kg	10	川名真矢	(国士館大)	川井康誠	(東大)	石塚充希	(東大)	石原汐音	(東海大)
79kg	7	竹澤証生	(東海大)	坂庭丈士	(東海大)	カーア-ネスト航太	(東大)	矢崎 匠	(国士館大)
+79kg	2	川尻 奨	(防大)	ハッカー太郎	(東海大)	---		---	

【選手権・男子グレコローマン】(7月1日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
55kg	3	齋藤成龍	(神奈川大)	馬渡 迅	(東洋大)	栗田龍生	(東洋大)	---	
60kg	4	松本健新	(神奈川大)	庄司 秀	(育英大)	福田悠李	(大東大)	---	
63kg	5	萩原大和	(拓大)	松井勇樹	(日体大)	鈴木海斗	(国際武道大)	---	
67kg	8	堤 滋樹	(日体大)	穴田禪待	(法大)	野寺優真	(神奈川大)	三多見明	(拓大)
72kg	6	中田翔輝	(日体大)	今村大地	(日大)	喜多康介	(育英大)	黒澤潮音	(東洋大)
77kg	4	今井仁聖	(神奈川大)	栃倉健人	(日大)	高橋大和	(中大)	宮田大地	(育英大)
82kg	6	樋口徹心	(日体大)	宍戸拓海	(日体大)	谷崎大造	(山梨学院大)	小堀雄大	(東洋大)
87kg	7	白井達也	(日体大)	目黒優太	(国士館大)	(該当選手なし)		(該当選手なし)	
97kg	6	吉村海里	(国士館大)	山本純大	(拓大)	澤田雄斗	(山梨学院大)	田中太陽	(神奈川大)
130kg	3	西村麻凜	(国士館大)	小林龍太	(山梨学院大)	---		---	

【選手権・男子フリースタイル】(7月1日/「数」は、エントリー数。97kg級はエントリーなし)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
57kg	15	山口叶汰	(神奈川大)	菅沼碧久	(青山学院大)	中石皓大	(専大)	塚岡達也	(山梨学院大)
61kg	16	野坂晃誠	(専大)	堤 太一	(法大)	徳比嘉二仁	(国士館大)	八木玲緒	(国士館大)
65kg	14	大橋寛介	(日大)	井勢珠維	(専大)	新山育実	(日大)	藤山海斗	(専大)
70kg	16	青柳善の輔	(山梨学院大)	森川陽斗	(山梨学院大)	谷津龍斗	(明大)	平内陽丞	(国士館大)
74kg	9	太田晃輝	(専大)	小田桐和真	(中大)	平岡大宙	(慶大)	田村拓斗	(明大)
79kg	10	奥井真吉	(国士館大)	田中勝大	(拓大)	佐々木滉典	(神奈川大)	三木翔永	(法大)
86kg	3	市川アンディ	(神奈川大)	林 秀悟	(日体大)	---		---	
92kg	6	村島克哉	(中大)	佐々木偉琉	(大東大)	山川凌平	(日本ウェルネススポーツ大)	(該当選手なし)	
125kg	3	山口浩一	(神奈川大)	三橋柚汰	(日大)	---		---	

【女子選手権】(6月29日/「数」は、エントリー数。68・76kg級はエントリーなし)

階級	数	優 勝		2 位		3 位			
50kg	11	櫻井はなの	(育英大)	福永誠笑	(専大)	坂本由宇	(神奈川大)	伊藤未羽	(法大)
53kg	11	片岡梨乃	(早大)	下野佑実	(育英大)	五味音々	(育英大)	佐々木花恋	(日大)
55kg	5	相原志織	(日体大)	菊田 花	(法大)	木井たから	(法大)	---	
57kg	7	今井佑海	(日大)	水澗琉奈	(神奈川大)	中村成実	(法大)	藤山いろは	(日体大)
59kg	5	岡田純奈	(日体大)	浅井紅吏	(法大)	川内海音	(防大)	中堀水葵	(日体大)
62kg	2	惣崎優音	(日体大)	濱崎 花	(防大)	---		---	
65kg	6	平井かえで	(育英大)	山路さくら	(日大)	山田亜優香	(国際武道大)	高田ここな	(日体大)
72kg	2	大関永優美	(日大)	---		---		---	

全日本社会人選手権

期日 2022年7月2日～3日

場所 埼玉・富士見市立総合体育館

■田中ゆき(旧姓入江＝佐賀県スポーツ協会)が約2年半ぶりに復帰して優勝

女子50kg級で東京オリンピックの代表権を須崎優衣(キッツ＝当時早大)と最後まで争った田中ゆき(旧姓入江＝佐賀県スポーツ協会)が約2年半ぶりに復帰。4試合を無失点で勝ち抜いて優勝した。

男子フリースタイル70kg級で世界選手権出場を決めている成國大志(MTX GOLDKIDS)が男子グレコローマン67kg級に出場。5者リーグ戦の最終戦で全日本選手権3位の清水賢亮(自衛隊)に敗れたものの、清水が4回戦で北條良真(自衛隊)に敗れており、両選手が3勝1敗。4試合の勝ち点の差により、成國が優勝。2017年全日本学生選手権(優勝)以来のグレコローマン挑戦を飾った。

男子フリースタイル86kg級は、昨年の世界選手権79kg級5位の吉田隆起(自衛隊)が勝ち、階級を上げて最初の大会を制した。

【男子フリースタイル】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位/3位・4位		5位	
57kg	2	荒木大貴 (自衛隊)	植松誠二 (北杜クラブ)	---	---	---	---
61kg	9	小柳和也 (自衛隊)	井出光星 (自衛隊)	金子功誠 (WRESTLE-WIN)	吉村拓海 (自衛隊)	菊地 憲 (秋田病理組織 細胞診研究センター)	小坂健太 (札幌東豊クラブ)
65kg	10	小川航大 (自衛隊)	有元伸悟 (近大コーチ)	小柴亮太 (佐賀中部農林事務所)	山崎幹太郎 (日体大大学院)	小林篤生 (富山・堀川中教)	小林洋祐 (松阪クラブ)
70kg	11	磯 次郎 (自衛隊)	上野裕次郎 (栃木県スポーツ協会)	寺田靖也 (明大クラブ)	齋藤一樹 (明大クラブ)	田中良典 (大阪府警)	川原悠誠 (警視庁クラブ)
74kg	6	梅林太郎 (金太郎ホーム)	三輪優翔 (ALSOK)	志賀晃次郎 (警視庁クラブ)	^(4位) 深作駿人 (若葉クラブ)	中村 優太 (ゴーゴーカレー)	^(6位) 川畑孔明 (自衛隊)
79kg	10	北村公平 (京都・京都八幡高教)	島袋慶生 (新潟県協会)	竹内祐斗 (山口県体協)	増淵順太 (日大クラブ)	宮川賢志 (立大OB会TWA)	福岡達博 (警視庁クラブ)
86kg	2	吉田隆起 (自衛隊)	松雪泰成 (レスターホールディングス)	---	---	---	---
92kg	3	大山博貴 (明大クラブ)	竹内亮亘 (ALSOK)	秋本 瞭 (豊浦クラブ)	---	---	---
97kg	3	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	山中 彬 (中大クラブ)	徳山利範 (明大クラブ)	---	---	---
125kg	6	山本康稀 (日大クラブ)	安田拓斗 (秋田県スポーツ協会)	山口直人 (山口県協会)	^(4位) 伊藤 昌 (警視庁クラブ)	^(5位) 須惠 勝貴 (大阪府警)	^(4位) 藤川裕貴 (グローリア)

《個人賞》

【最優秀選手賞】▼男子フリースタイル 小川航大(65kg級＝自衛隊)、▼男子グレコローマン 成國大志(67kg級＝MTX GOLDKIDS)、▼女子 田中ゆき(50kg級＝佐賀県スポーツ協会)

【優秀選手賞】▼男子フリースタイル 梅林太郎(74kg級＝金太郎ホーム)、▼男子グレコローマン 堀江耐志(77kg級＝自衛隊)、▼女子 源平彩南(65kg級＝アイシン)

【敢闘賞】▼男子フリースタイル 磯次郎(70kg級＝自衛隊)、▼男子グレコローマン 山口直人(130kg級＝山口県協会)、▼女子 坂野結衣(62kg級＝警視庁クラブ)

【男子グレコローマン】(「数」はエントリー数/97kg級はエントリーなし)

階級	数	優勝	2位	3位/3位・4位		5位/5位・6位	
55kg	2	古家野蓮 (自衛隊)	浅川享助 (北杜クラブ)	---	---	---	---
60kg	4	藤波諒太郎 (自衛隊)	宮原 潤 (警視庁クラブ)	大谷康太 (神奈川・秦野総合高教)	(4位) 小坂健太 (札幌東豊クラブ)	---	---
63kg	7	河名真偉斗 (自衛隊)	島谷東志 (大東クラブ)	難波 陽 (警視庁クラブ)	(4位) 山田 基 (Sports Design Lab)	(5位) 石原大洋 (愛媛・八幡工高教)	---
67kg	5	成國大志 (MTX GOLDKIDS)	清水賢亮 (自衛隊)	矢部和希 (栃木県スポーツ協会)	(4位) 北條良真 (自衛隊)	---	---
72kg	6	上垣勇二 (自衛隊)	山本貴裕 (豊浦クラブ)	小笠原弥真人 (自衛隊)	(4位) 二尾優真 (アスリート接骨院)	(5位) 中村緋水 (和歌山県協会)	---
77kg	6	堀江耐志 (自衛隊)	山崎弥十郎 (サイサン)	葛谷拳龍 (自衛隊)	(4位) 島袋慶生 (新潟県協会)	深作駿人 (若葉クラブ)	一瀬 剣 (豊浦クラブ)
82kg	8	川村洋史 (自衛隊)	前田祐也 (鳥取県協会)	吉田真聖 (HAKOBEE SPORTS FUKUI)	前田明都 (レスターホールディングス)	北村公平 (京都・京都八幡高教)	(6位) 藤井達哉 (後藤回漕店)
87kg	3	松崎勇人 (宮崎・福島高教)	北川幸一 (松阪クラブ)	松澤大樹 (警視庁クラブ)	---	---	---
130kg	7	山口直人 (山口県協会)	庄司 樹 (専大クラブ)	服部弘慶 (警視庁クラブ)	(4位) 須惠勝貴 (大阪府警)	(5位) 清水崇彦 (YOKKAICHI TECHNICAL TEAM)	---

【女子】(大学生も出場可。「数」はエントリー数。76kg級はエントリーなし)

階級	数	優勝	2位	3位/3位・4位		5位/5位・6位	
50kg	16	田中ゆき (佐賀県スポーツ協会)	笠井梨瑚 (専大)	福永誠笑 (専大)	櫻井はなの (育英大)	上岡三桜 (天理大)	植野晏奈 (自衛隊)
53kg	10	下野佑実 (育英大)	片岡梨乃 (早大)	吉岡紗希 (東洋大)	川井千晶 (日体大)	平野夏帆 (法大)	柘本怜那 (育英大)
55kg	7	奥野春菜 (自衛隊)	太田若那 (東洋大)	相原志織 (日体大)	(4位) 大城 愛 (日体大)	(5位) 櫻井菜々 (福岡大)	---
57kg	7	菊田 花 (法大)	藤山いろは (日体大)	木井たから (法大)	(5位) 黒木美帆 (福岡大)	(5位) 山内奏美 (神奈川大)	(6位) 金城里音 (日本文理大)
59kg	6	徳原姫花 (自衛隊)	田南部夢叶 (レスターHD)	中西美結 (至学館大)	大谷彩歌 (天理大)	(5位) 友口怜奈 (日本文理大)	(6位) 有澤寧々 (福岡大)
62kg	8	坂野結衣 (警視庁クラブ)	小玉彩天奈 (MTX ACADEMY)	惣崎優音 (日体大)	岩澤希羽 (秋田ノーザンハピネッツ)	浅井紅吏 (法大)	内田奈佑 (至学館大)
65kg	7	源平彩南 (アイシン)	今井海優 (自衛隊)	平井かえで (育英大)	吉川かりん (福岡大)	(5位) 福井紀夏 (日本文理大)	(6位) 山路さくら (日大)
68kg	3	高田ここな (日体大)	伊崎 結 (日本文理大)	---	---	---	---
72kg	2	大関永優美 (日大)	坂本捺菜 (福岡クラブ)	---	---	---	---

【女子団体戦】優勝＝自衛隊(ポイント合計で決定)

西日本学生新人選手権

期日 2022年6月25日～26日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

【男子グレコローマン】(6月25日／「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		5位			
55kg	8	高橋瑠希弥 (近大)	船越陽晴 (周南公立大)	安達侑生 (帝塚山大)	秋山文翔 (九州共立大)	妹尾康生 (周南公立大)	乾 翔馬 (帝塚山大)	大北 凌 (同志社大)	沼田将吾 (帝塚山大)
60kg	19	二宮健斗 (日本文理大)	千葉妃勇雅 (九州共立大)	宮原健史郎 (周南公立大)	堤 啓伍 (桃山学院大)	高山瑛渉 (九州共立大)	春田寛斗 (福岡大)	樋口 豪 (日本文理大)	稲垣晴貴 (天理大)
63kg	11	吉永光輝 (近大)	濱口奏琉 (大体大)	塩見望朔 (周南公立大)	北村一気 (周南公立大)	伊藤麗聖 (日本文理大)	椎葉大貴 (南九州大)	川嶋洸翔 (中京学院大)	坂本大昌 (周南公立大)
67kg	10	長野壮志 (九州共立大)	宇藤憲峰 (近大)	土持光晴 (日本文理大)	片田皓之 (福岡大)	柴田桜佑 (桃山学院大)	今中賀也 (大体大)	中西俊介 (桃山学院大)	前谷颯士 (立命館大)
72kg	12	吉永恵二郎 (日本文理大)	吉田海耶 (福岡大)	松山亮斗 (立命館大)	中浦 大 (周南公立大)	澤田宗一郎 (周南公立大)	荒川竜舞 (中京学院大)	古澤与識 (天理大)	(該当選手なし)
77kg	11	清水聖矢 (福岡大)	西村将希 (周南公立大)	竹内遼斗 (周南公立大)	谷川光星 (周南公立大)	増谷 瞭 (近大)	望月紀希 (中京学院大)	伊計志暉 (九州共立大)	(該当選手なし)
82kg	4	権田 龍 (周南公立大)	山下武蔵 (南九州大)	平田南弥 (桃山学院大)	安田彪摩 (近大)	---	---	---	---
87kg	5	稲本喬弘 (関大)	吉田奨健 (帝塚山大)	東征一郎 (天理大)	石田健登 (日本文理大)	板場 凱 (関学大)	---	---	---
97kg	8	石場寿男 (中京学院大)	奥田歩希 (九州共立大)	アブデル・マレック・ラフファエロ (近大)	久保裕次郎 (九州共立大)	谷内田皇佑 (中京学院大)	村上智紀 (九州共立大)	千葉大輝 (近大)	高橋凱峰 (近大)
130kg	5	佐々岡誇仁 (中京学院大)	吉里颯太 (九州共立大)	水野陽亮 (立命館大)	(該当選手なし)	渡部克希 (帝塚山大)	---	---	---

【男子フリースタイル】(6月26日／「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		5位			
57kg	19	宮原健史郎 (周南公立大)	山下修誠 (中京学院大)	満永大翔 (近大)	高橋瑠希弥 (近大)	楠虎之介 (周南公立大)	沼田将吾 (帝塚山大)	内田哲平 (関学大)	春田寛斗 (福岡大)
61kg	23	小石原央義 (周南公立大)	村山尚吾 (大体大)	中井晴斗 (中京学院大)	速水雷亞 (立命館大)	千葉妃勇雅 (九州共立大)	小泉瑛士 (同志社大)	高山瑛渉 (九州共立大)	大石佳生 (大体大)
65kg	18	宇藤憲峰 (近大)	吉永光輝 (近大)	川嶋洸翔 (中京学院大)	樋口勘太郎 (九州共立大)	坂本大昌 (周南公立大)	前谷颯士 (立命館大)	塩見望朔 (周南公立大)	早川瑞起 (中京学院大)
70kg	14	畔上浩輝 (近大)	新妻 響 (天理大)	吉田海耶 (福岡大)	山口大翔 (日本文理大)	荒川竜舞 (中京学院大)	澤田宗一郎 (周南公立大)	今中賀也 (大体大)	中西俊介 (桃山学院大)
74kg	10	西村将希 (周南公立大)	橋本彪雅 (日本文理大)	堀田優貴 (大阪公立大)	望月紀希 (中京学院大)	増谷 瞭 (近大)	藤本隆誠 (近大)	磯田 凌 (桃山学院大)	(該当選手なし)
79kg	8	清水聖矢 (福岡大)	仲松天希 (九州共立大)	近藤大幹 (立命館大)	竹内遼斗 (周南公立大)	伊計志暉 (九州共立大)	山口翔生 (天理大)	山本耕平 (同志社大)	平田南弥 (桃山学院大)
86kg	10	吉田奨健 (帝塚山大)	権田 龍 (周南公立大)	稲本喬弘 (関大)	東征一郎 (天理大)	安田彪摩 (近大)	山下武蔵 (南九州大)	板場 凱 (関学大)	(該当選手なし)
92kg	3	長友大生 (中京学院大)	高橋凱峰 (近大)	内田柗二 (同志社大)	---	---	---	---	---
97kg	5	石場寿男 (中京学院大)	アブデル・マレック・ラフファエロ (近大)	奥田歩希 (九州共立大)	村上智紀 (九州共立大)	千葉大輝 (近大)	---	---	---
125kg	4	佐々岡誇仁 (中京学院大)	吉里颯太 (九州共立大)	渡部克希 (帝塚山大)	水野陽亮 (立命館大)	---	---	---	---

ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権

期日 2022年8月11日

場所 茨城・大洗サンビーチ

■175選手が参加して4年ぶりに開催、2028年オリンピックで採用の可能性も

東京オリンピックから2019・20年は大会予定そのものが予定されておらず、2021年はコロナ禍のため中止。4年ぶりに開催され、参加は約175選手。日本協会の富山英明会長は「青空の下でやるレスリングはいいね。コロナがあつたけど、みんなの無事を確認できた、という感じ」と話し、太陽の下で行うレスリング大会の再開を歓迎。

日本でビーチがストップしていた間、世界のレスリングに大きな動きがあつた。世界レスリング連盟(UWW)のネナド・ラロピッチ会長がビーチをオリンピック種目にするべく奔走しており、2028年ロサンゼルス・オリンピックでの採用の可能性が出てきたこと。富山会長は開会式で選手に可能性を伝え、夢をもってビーチに取り組んでほしいことを訴えた。



▲4年ぶりに開催された真夏の祭典



▲ドン・キホーテ杯(男子)受賞の阿部宏隆(水戸市スポーツ少年団)

【シニアの部】=女子シニア軽・重量級はエントリーなし

階級	優勝		2位		3位			
男子・軽量	佐々木修斗	(T-KIDSクラブ)	押山雅史	(郡山クラブ)	岩沢 侃	(ワセダ・クラブ)	小田木修	(取手クラブ)
男子・中量	阿部宏隆	(水戸市スポ少年団)	梅林太朗	(金太郎ホーム)	岡 太一	(埼玉・自衛隊大宮)	富田 勝	(霞ヶ浦クラブ)
男子・重量	樋口卓弥	(T&H GYM)	清水友貴	(T&H GYM)	貝塚賢史	(茨城・霞ヶ浦高教)	坂本貴哉	(タカシン・グループ)
女子・中量	臼池優月	(ワセダクラブ)	奈部由香里	(ハコビスポーツ東京)	---		---	

【高校生の部】

階級	優勝		2位		3位			
男子・軽量	内野旭飛	(茨城・鹿島学園)	助川遼成	(茨城・土浦日大)	金子颯悟	(茨城・鹿島学園)	本田原翔	(茨城・鹿島学園)
男子・中量	三島大河	(茨城・土浦日大)	内田凌都	(茨城・鹿島学園)	大谷哉斗	(茨城・霞ヶ浦)	松澤 快	(茨城・土浦日大)
男子・重量	岡澤ナツラ	(神奈川・慶応)	乾 志音	(茨城・土浦日大)	加藤章馬	(茨城・茨城東)	佐藤秀一郎	(千葉・八千代松陰)
女子・軽量	山田聖麗	(東京・安部学院)	前田翠水	(東京・安部学院)	西田リサ	(MTX GOLDKIDS)	佐藤宝瑠	(茨城・鹿島学園)
女子・中量	浅野稔理	(NEXUS YOKOSUKA)	諸星菜夏	(埼玉・埼玉栄)	山岡雅弥	(フィギュアフォークラブ)	小宮山結月	(東京・葛飾)
女子・重量	石井さくら	(東京・葛飾)	小原春佳	(茨城・鹿島学園)	---		---	

【中学生の部】

階級	優勝		2位		3位			
男子・軽量	久保音晴	(MTX GOLDKIDS)	梶原一平	(松戸ジュニア)	高野亜門	(埼玉・埼玉栄中)	永井舜喜	(埼玉・埼玉栄中)
男子・中量	安威永太郎	(MTX GOLDKIDS)	松井礼士	(太田市協会)	本多正虎	(NEXUS YOKOSUKA)	秋保大地	(MTX GOLDKIDS)
男子・重量	浅野称志	(NEXUS YOKOSUKA)	竹澤 光	(HANASAKI Jr)	田村大翔	(MTX GOLDKIDS)	村田聖龍	(茨城・水戸四中)
女子・軽量	勝目結羽	(NEXUS YOKOSUKA)	神谷朱音	(取手クラブ)	内田真誓	(霞ヶ浦クラブ)	---	
女子・中量	諸星日菜	(埼玉・埼玉栄中)	木下 凜	(NEXUS YOKOSUKA)	佐藤 優	(千葉県協会)	小山内陽依	(埼玉・埼玉栄中)
女子・重量	大豆生田麗	(ひたちなかクラブ)	飯田 響	(NEXUS YOKOSUKA)	内山陽諒	(霞ヶ浦クラブ)	横倉凜々花	(茨城・水戸四中)

《個人賞》

【ドン・キホーテ杯(最優秀選手賞)】▼男子 阿部宏隆(シニア・中量級=茨城・水戸市スポーツ少年団)、

▼女子 浅野稔理(高校・中量級=神奈川・NEXUS TEAM YOKOSUKA)

【優秀選手賞・シニア】▼男子 樋口卓弥(重量級=T&H GYM)、臼池優月(中量級=ワセダクラブ)

【優秀選手賞・高校生】▼男子 三島大河(中量級=茨城・土浦日大)、▼女子 山田聖麗(軽量級=東京・安部学院)

【優秀選手賞・中学生】▼男子 久保音晴(軽量級=東京・MTX GOLDKIDS)、▼女子 大豆生田麗(重量級=茨城・ひたちなかクラブ)

全国少年少女選手権

期日 2022年7月30日~31日

場所 東京・代々木競技場第1体育館

【3年生】

階級	優勝		2位		3位			
24kg	内藤陽心	INAGAWA	橋本健	INAGAWA	山鹿仁士朗	MATSUDO	西川颯	同志社クラブ
26kg	波多野球真	京都東山	加治誠士郎	OBENO	江上騎皇	ESK	門脇光駕	リバーサル
28kg	大畑慶悟	同志社クラブ	楠見海	隠岐島前Jr	洞口大楽	マイスポーツ	平野力	NISSIN
30kg	志田大耀	HASHIMA	秋保実	MTX GOLDKIDS	佐々木駿介	TORIDE	乳井一樹	高田道場(東京)
33kg	中村葵志	ENJOY	濱田虎太郎	すくも	辻村亮輔	中津川ジュニア	大嶋恭弥	北志館
36kg	安藤賢悟	SUITA	砂原瑛太	天塩ちびっ子	片桐大誠	INAGAWA	笠本大地	刈谷クラブ
39kg	三谷洸心	リバーサル	持田光紀	KAMO B&G	上原ケンドリック喬吾	ZUSHI	宇野育実	マイスポーツ
46kg	工藤蒼大	フェニックスC	水谷星朗	旭川クラブ	赤瀬智紀	茨木レスリング	---	
+46kg	関谷樹良	SAKURA	江泉凌馬	SPIDER	---		---	

【4年生】

階級	優勝		2位		3位			
26kg	牛窓尊天	NEXUS	中溝案理	刈谷クラブ	坂口麟太郎	Wrestle-Win	相田凌旺	MITO
28kg	丸岡大騎	Wrestle-Win	片山聡太	SUITA	寶嶋勲嗣	NEXUS	野坂勇人	FUKUI EMMA
30kg	太田恵人	Wrestle-Win	大河原武蔵	Wrestle-Win	那須契我	WAKITA	本田匠叶	BRAVE
33kg	水澤宏太	FFC	中島慶志朗	オビヒロクラブ	當間嗣洋	NEXUS	山崎海音	山田クラブ
36kg	永田弥来	Wrestle-Win	山道泰斗	NUMAZU	小菅航司	NGJW	八木琥太郎	トイカツ道場
39kg	三好勇杜	堺ジュニア	橋本昂弥	焼津Jr.	山縣仁竜	OBENO	細川翔楽	AOMORI
42kg	堀本瑛心	LOTUS	阿部凌大	NEXUS	山根賢吾	隠岐島前Jr	植木優河	SAKURA
46kg	古川翔稀	野辺地クラブ	松岡拓海	徳山	大島脩次郎	舞鶴レスリング	---	
50kg	森海翔	四日市ジュニア	金井耀大	堺ジュニア	北岡勇人	HINO	竹内一翔	堺ジュニア
+50kg	犬塚大翔	浜松SSFC	根本廉丈	龍ヶ崎	佐藤瑛虎	エフジェイ	奥田颯大	Shingu

【5年生】

階級	優勝		2位		3位			
26kg	大谷凌斗	MATSUDO	横塚唯月	焼津Jr.	鈴木健斗	焼津リトル	一圓政宗	JYOSHU
28kg	栗野照丈	市川コシティ	堂田迅	舞鶴レスリング	津崎瑛音	SUITA	佐生勝飛	滑川
30kg	細野維心	IWC	伊藤青桔	Wrestle-Win	森智輝	FFC	邑上泰一	MATSUDO
33kg	清水千晃	焼津Jr.	岡村篤樹	jrwcs	白井汰	TB by SU	今田蒼大	高田道場(福岡)
36kg	清瀬天絆明	GLORIA	加藤丈誠	HASHIMA	廣田悠真	INAGAWA	堤空葵	まきっず
39kg	佐藤侑	リットウクラブ	西川朔	LOTUS	齊藤誉	六機KID'S	河瀬央介	AJPW,jr
42kg	今井絢太	AACC	小川璃久	中津川ジュニア	伊内翔絃	徳山	構琉之介	OSA
46kg	高田健太郎	高田道場(東京)	谷川太人	高田道場(東京)	小瀬有太郎	マイスポーツ	柴木文	JYOSHU
50kg	坂野蒼空	茨木レスリング	三浦龍拳	ワジマクラブ	菊池鳳雅	P.K.W.C	山下修蔵	BRAVE
55kg	櫻林駿凜	花咲Jr.	佐藤岳	トイカツ道場	根岸宗誉	BRAVE	---	
60kg	船越海瑠	THUNDER	高橋諒大	THUNDER	金野斗真	生駒	小脇晴馬	堺ジュニア
+65kg	鈴木大晴	フェニックスC	松本衛	焼津Jr.	染谷陸	リバーサル	---	

【6年生】

階級	優勝		2位		3位			
30kg	日方雄一郎	WAKITA	宮本卓馬	INAGAWA	濱崎大智	OTT	川崎綜友	KUSHIMA
33kg	古澤健	茨木レスリング	古澤陸	茨木レスリング	楠本龍星	SUITA	山内悠晟	田島
36kg	福井寧桜	焼津Jr.	佐藤那都	BRAVE	柴崎柁軌	IWC	新保威風	練馬谷原くらぶ
39kg	ガレダギ愛千	IWC	神河勇吹	リバーサル	三谷栄心	リバーサル	松實大地	Shingu

階級	優 勝		2 位		3 位			
42kg	森 藤 平 蔵	トイカツ道場	久 保 颯 大	MTX GOLDKIDS	宮 本 参 歩	Shingu	永 田 聖 魁	Wrestle-Win
46kg	長 谷 川 蓮	四日市ジュニア	大 山 壘 児	高田道場(福岡)	和 田 欣 也	SUITA	渡 辺 葵 衣	柏クラブ
50kg	中 上 航	HOKUTO	吉 成 大 門	NEXUS	河 又 裕 大	POGONA	山 崎 陸 虎	山田クラブ
55kg	金 城 幸 悠	カテナクラブ	片 松 幸 誠	Takamatsu CLUB	谷 津 悠 仁	JYOSHU	石 原 鈴 亜	美濃加茂
60kg	萩 野 貴 大	INABE	庵 野 桜 暉	塚ジュニア	中 川 栞 汰	KODAMA	上 田 朝 大	acL
65kg	吉 田 将 悠	一志ジュニア	阿 部 佑 亮	NEXUS	玉 井 蒼 祐	熊野路	辻 晴 也	北九州
+70kg	秋 保 光	MTX GOLDKIDS	林 絆 斗	AMINO	松 山 上 太 郎	TB by SU	佐 藤 大 真	リバーサル

【女子3年生】

階級	優 勝		2 位		3 位			
24kg	大 地 琴 奏	まきつず	西 田 晴 歩	同志社クラブ	小 島 有 梨 花	TORIDE	榎 峠 愛 香	ワセクラ
26kg	清 水 心 葉	焼津Jr.	上 原 志 和	INAGAWA	松 山 紗 悠	京都八幡	池 上 心 優	みぶチビレス
28kg	ガレダギ 亜凜	IWC	宮 部 はづき	TORIDE	巴 更 紗	Fire Boys	今 井 園 乃	AACC
30kg	古 田 乙 峰	MTX GOLDKIDS	中 田 咲 莉	SATSUMA	黒 田 あ い	マイスポーツ	柳 田 明	刈谷クラブ
36kg	村 山 環	練馬谷原くらぶ	岩 崎 心 波	TB by SU	笛 木 紬 衣	SPARKLERS	竹 山 未 琴	ENJOY
+36kg	野 口 姫	鹿屋中央	佐 藤 優 妃	YJWC	杉 原 寧 々	INAGAWA	浦 田 沙 椰	追分勲武館

【女子4年生】

階級	優 勝		2 位		3 位			
24kg	嶋 田 初 季	AMINO	内 田 帆 乃	ICHINOMIYA	細 谷 朱 里	Takamatsu CLUB	辻 いろは	TOBA
28kg	内 田 実 那	MTX ACADEMY	内 田 奈 那	MTX ACADEMY	前 田 笑 里	GLORIA	大 野 みな実	ワセクラ
30kg	郡 紗 良	INAGAWA	池 田 果 穂	焼津Jr.	飯 塚 心 巳	THUNDER	平 山 栞 那	INABE
33kg	藤 本 陽 華	IKUEI	吉 田 玲 衣	フェニックスC	阿 達 青 空	松山クラブ	福 田 和 奏	東広島
36kg	町 田 紀 杏	FFC	佐 藤 遥 妃	YJWC	峯 莉 里 香	市川コンティ	酒 井 愛 由	FDWC
40kg	武 田 玲 菜	トコナメ	柿 田 笑	Wrestle-Win	土 屋 日 彩	Wrestle-Win	---	---
44kg	大 川 光 江	KASUMI	角 谷 芽 咲	高岡ジュニア	太 田 麗 心	市川コンティ	---	---
+44kg	柳 町 美 月	T-KIDS	駒 田 諒	NUMAZU	菊 地 旭	THUNDER	---	---

【女子5年生】

階級	優 勝		2 位		3 位			
28kg	志 田 向 夏 花	HASHIMA	小 島 明 紗	SUITA	本 名 沙 羽	まきつず	石 田 杏 莉	焼津リトル
30kg	佐 藤 莉 桜	TOKAI Jr	小 原 優 乃	Fire Boys	波 多 野 愛 鈴	京都東山	安 田 泉 美	ENJOY
33kg	吉 田 埜 愛	フェニックスC	島 谷 幸 実	野辺地クラブ	小 山 実 久	INAGAWA	杉 林 羅 夢	SUITA
36kg	岡 本 悠 里	Wrestle-Win	東 海 里	フェニックスC	近 藤 瑞 姫	近藤道場	西 尾 紗 羽	東広島
40kg	平 田 萌 々 美	SUITA	佐 々 木 稟 心	jrwcs	眞 鍋 果 歩	SUITA	生 嶋 小 梅	北九州
44kg	莉 谷 萌 々 香	OSA	石 井 愛 加 里	JYOSHU	森 麻 里 香	焼津リトル	田 島 愛 梨	北九州
48kg	吾 郷 綺 咲	KAMO B&G	宮 本 彩 羽	すくも	川 村 美 咲 希	PANCRASEOSAKA	小 嶋 望 心	すくも
+48kg	名 越 夏 芽	隠岐島前Jr	関 田 穂 花	JYOSHU	---	---	---	---

【女子6年生】

階級	優 勝		2 位		3 位			
30kg	佐 々 木 な つ み	TORIDE	岩 橋 心 菜	WAKITA	伊 東 詩 心	茨木レスリング	---	---
33kg	鷗 野 咲 幸	ENJOY	鈴 木 菜 花	KUSHIMA	古 市 せ ら	NODA	下 島 小 歩	コクシカン
36kg	矢 野 朱 莉	FFC	牧 野 心 咲	日南SC	小 倉 緋 彩	jrwcs	志 田 野 乃 美	練馬谷原くらぶ
40kg	西 尾 羽 珠	東広島	友 清 里 依 咲	3RINGS	菅 原 早 穂	磯工ペアーズ	尻 無 瀆 せ な	Wrestle-Win
45kg	柴 田 さ くら こ	FIVE☆STAR	小 林 叶 実	NUMAZU	笠 本 芽 咲	刈谷クラブ	堤 芽 衣 子	マイスポーツ
49kg	入 江 楓	IKUEI	鈴 木 琳 媛	くりもり	三 好 優 衣	塚ジュニア	中 田 琉 愛	SATSUMA
53kg	辻 潤 奈	INAGAWA	長 野 楓	ESK	棚 田 陽 葵	茨木レスリング	山 根 一 夏	隠岐島前Jr
58kg	花 井 小 梅	THUNDER	田 中 い お り	TOYO	水 上 琥 珀	HAKOBEE TOKYO	藤 瀬 瑠 唯	KASHIMA
+58kg	飯 田 奏	NEXUS	大 森 玲 依	WHWC	伊 藤 新 菜	至学館	林 美 琉 子	AMINO

全国高校総体(インターハイ)

期日 2022年8月1日～4日

場所 高知・高知県立県民体育館

■日体大柏(千葉)が王座奪還

学校対抗戦は、2019年大会で4連覇していた日体大柏(千葉)が、この日の3試合を勝ち抜いて優勝。前年は鳥栖工(佐賀)に奪われた王座を奪還し、5度目の優勝を遂げた。3月の風間杯全国高校選抜大会とともに春夏連覇を達成したのは4度目。

個人戦の女子は、47kg級の大井寿々(東京・日体大桜華)が優勝し、2年生にして2年連続優勝。50kg級・森川晴凧(愛知・至学館)、62kg級・佐々木すず(東京・安部学院)、74kg級・茂呂綾乃(東京・安部学院)も勝ち、2連覇を達成した。57kg級は山下叶夢(香川・高松北)が優勝。香川県の選手として男女を通じて初のチャンピオンに輝いた。同選手の父・忍さんは茨城・霞ヶ浦高校時代の1986年に48kg級で優勝しており、父と娘でのインターハイ制覇は史上初め。

同男子は、71kg級で山口叶太(東京・自由ヶ丘学園)が勝ち、2年生で2連覇を達成。125kg級のバトバヤル・ナムバルダグワ(千葉・日体大柏)も2年連続優勝を達成し、全国高校選抜大会も2連覇しており、2年連続で春夏の大会を制した。

51kg級の菊地優太(静岡・飛龍)、65kg級の細川周(京都・丹後緑風)、80kg級の神谷龍之介(三重・いなべ総合学園)、92kg級の甫木元起(佐賀・鳥栖工)も春夏連覇を達成。昨年55kg級優勝の西内悠人(高知・高知南・高知国際)が60kg級で勝ち、地元開催を飾った。

【学校対抗戦】(8月1～2日)

優勝	2位	3位	5位
日体大柏 (千葉)	埼玉栄 (埼玉)	鳥栖工 (佐賀)	いなべ総合学園 (三重)
			高知南・高知国際 (高知)
			丹後緑風 (京都)
			八戸工大一 (青森)
			日本文理大付 (大分)

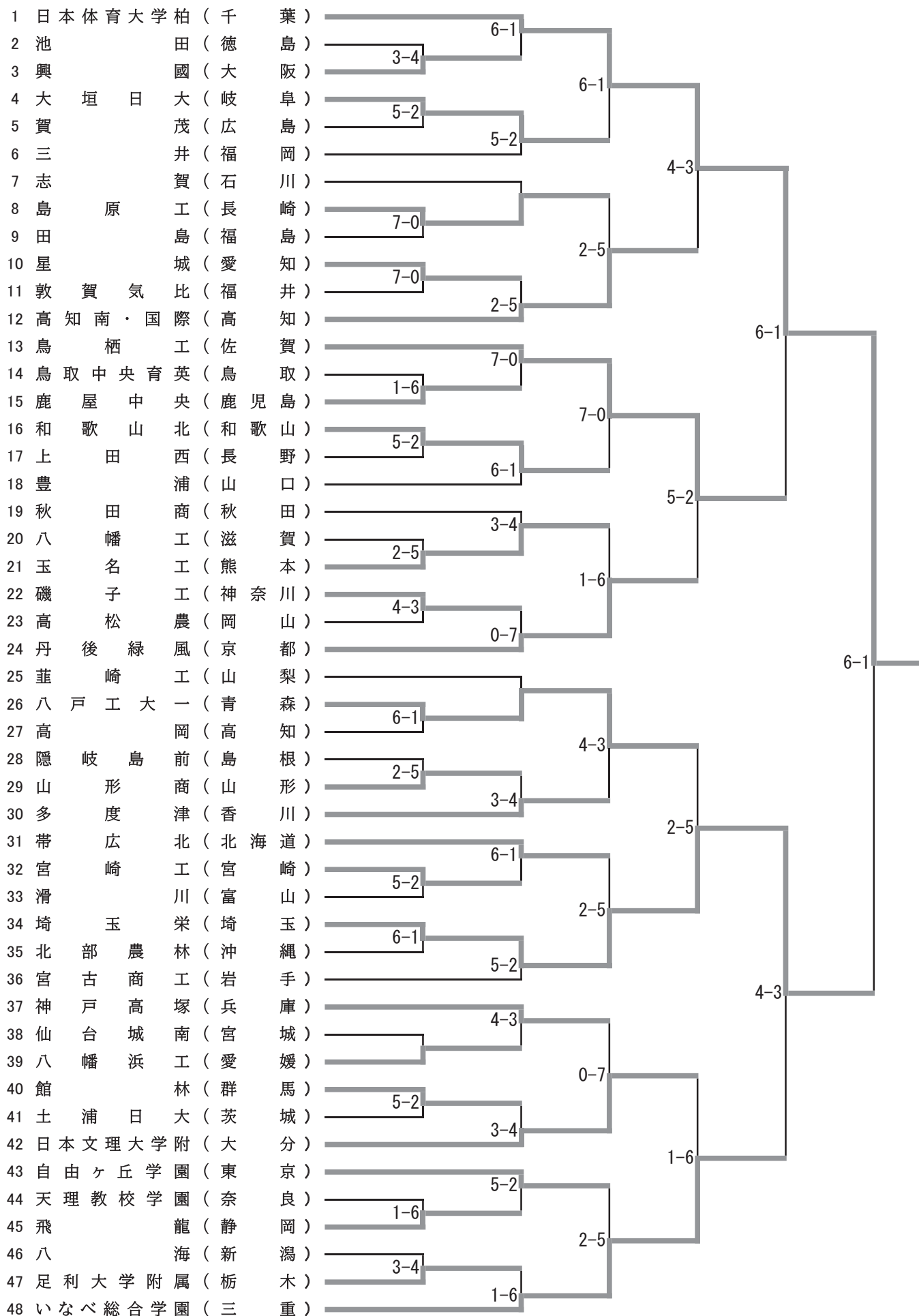
【個人対抗戦・女子】(8月2～3日)

階級	優勝	2位	3位	5位
47kg	大井寿々 (東京・日体大桜華)	真柄美和 (愛知・至学館)	松田幸々 (京都・丹後緑風)	小幡未羽 (兵庫・芦屋学園)
				鈴木彩音 (秋田・秋田南)
				吉田七名海 (三重・久居)
				前田翠水 (東京・安部学院)
				田内穂香 (滋賀・日野)
50kg	森川晴凧 (愛知・至学館)	小川凧佳 (岐阜・中京)	弓矢紗希 (三重・いなべ総合学園)	坂根海琉子 (京都・丹後緑風)
				安田あくる (東京・安部学院)
				柁木歩未 (鹿児島・樟南)
				澤木心愛 (東京・日体大桜華)
				矢野楓奈 (兵庫・芦屋学園)
53kg	原田 渚 (兵庫・芦屋学園)	沢田美侑 (東京・日体大桜華)	内野二葉 (福岡・三井)	柴田あおい (三重・いなべ総合学園)
				池畑葉菜 (兵庫・芦屋学園)
				佐々木里菜 (千葉・野田中央)
				原川珠緒 (静岡・藤枝北)
				本多香里菜 (東京・安部学院)
57kg	山下叶夢 (香川・高松北)	丸未永海 (愛知・至学館)	太田早也香 (埼玉・埼玉栄)	新井一花 (愛知・至学館)
				内田颯夏 (東京・帝京/JWA)
				松野桃圭 (青森・八戸工大一)
				長谷川姫花 (大阪・堺リベラル)
				浅野稔理 (神奈川・慶應義塾女子)
62kg	佐々木すず (東京・安部学院)	小野こなみ (東京・日体大桜華)	ピャンバズレン・フウラン (愛知・至学館)	元日陽里 (埼玉・埼玉栄)
				池畑菜々 (兵庫・芦屋学園)
				内野杏美 (大分・日本文理大学附)
				明石知花 (香川・高松北)
				坂井 桜 (岐阜・岐阜工)
68kg	星野レイ (東京・日体大桜華)	北出桃子 (愛知・至学館)	松山 楓 (東京・日本工大駒場)	吉田千沙都 (愛知・至学館)
				伊藤 渚 (三重・いなべ総合学園)
				竹元紫凧 (京都・丹後緑風)
				佐藤杏樹 (秋田・秋田商)
				櫻岡実歩 (東京・安部学院)
74kg	茂呂綾乃 (東京・安部学院)	高菓葉々葉 (大阪・堺リベラル)	坂井 愛 (岐阜・岐阜工)	中野咲羅 (鳥取・鳥取東)
				中村 旭 (東京・日体大桜華)
				廣田海奈 (高知・高知東)
				松村咲希 (静岡・藤枝北)
				(該当選手なし)

【個人対抗戦・男子】(8月3～4日)

階級	優勝	2位	3位	5位
51kg	菊地優太 (静岡・飛龍)	里中飛雅 (千葉・日体大柏)	小川大和 (長崎・島原)	赤木烈王 (兵庫・猪名川)
				與那城一輝 (栃木・足利大附)
				山城快陽 (沖縄・北部農林)
				石山竜成 (宮崎・都城西)
				高橋遥瑠大 (愛知・星城)
55kg	坂本 輪 (東京・自由ヶ丘学園)	勝目大翔 (静岡・飛龍)	小川大輝 (青森・八戸工大一)	嶋川潔生 (和歌山・和歌山北)
				松村祥太郎 (千葉・日体大柏)
				河野兼多朗 (佐賀・鳥栖工)
				安渡 翔 (山口・豊浦)
				高田 勇 (三重・いなべ総合学園)
60kg	西内悠人 (高知・高知南・高知国際)	須田 宝 (佐賀・鳥栖工)	木村太智 (千葉・日体大柏)	平岡大河 (神奈川・磯子工)
				岡部利毅 (北海道・帯広北)
				平井翔太 (愛媛・八幡浜工)
				曾野孝晟 (三重・いなべ総合)
				久田虎徹 (青森・八戸工大一)
65kg	細川 周 (京都・丹後緑風)	石原弘幸 (熊本・玉名工)	金子晴翔 (茨城・霞ヶ浦)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄)
				松原拓郎 (佐賀・鳥栖工)
				上村律心 (高知・高知南・高知国際)
				奥井峻晴 (岐阜・大垣日大)
				前田樹大 (富山・高岡向陵)
71kg	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園)	伊藤拳将 (千葉・日体大柏)	加成年介 (秋田・秋田商)	菊田 創 (埼玉・埼玉栄)
				長谷川虎次郎 (山梨・韭崎工)
				本橋知大 (京都・丹後緑風)
				上村朋也 (群馬・館林)
				金子勇翔 (茨城・霞ヶ浦)
80kg	神谷龍之介 (三重・いなべ総合学園)	吉田泰造 (香川・高松北)	増田大将 (埼玉・埼玉栄)	鳥袋希理瑠 (山梨・韭崎工)
				小玉龍舞 (高知・高岡)
				美齊津楓雅 (長野・小諸商)
				伊藤大輝 (京都・丹後緑風)
				飯塚康太 (佐賀・鳥栖工)
92kg	甫木元起 (佐賀・鳥栖工)	植木優斗 (栃木・足利大付)	升田康太 (京都・海洋)	鬼塚一心 (福岡・三井)
				曾我部凧太郎 (愛媛・今治西)
				武重毅留 (山口・精華学園)
				岡 大智 (香川・多度津)
				磯谷 輝 (滋賀・八幡工)
125kg	バトバヤル・ナムバルダグワ (千葉・日体大柏)	立岡拓馬 (岐阜・岐阜工)	丸山政陽 (静岡・沼津城北)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西)
				向井優天 (愛知・星城)
				山中望礼 (高知・高知東)
				中本勝幸 (広島・賀茂)
				松本晃大 (和歌山・和歌山北)

【学校対抗戦トーナメント表】



全国高校生グレコローマン選手権

期日 2022年8月17日～19日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

■バトバヤル・ナムバルダグワ(千葉・日体大柏)が2年連続三冠王者へ

125kg級のバトバヤル・ナムバルダグワ(千葉・日体大柏)が6試合をフォールかテクニカルフォールで勝ち、昨年に続いて優勝。昨季、今季とも全国高校選抜大会、インターハイに続く三冠を制覇した。同高からは55kg級の松村祥太郎も優勝している。グレコローマンで初の優勝。山梨・韮崎工も65kg級の鈴木飛来と80kg級の島袋希理瑠の2選手が優勝。

51kg級は6月のU17アジア選手権銅メダルの森下大輔(和歌山・和歌山北)が優勝し、国内初タイトルを獲得。60kg級は7月のU17世界選手権・男子フリースタイル60kg級銅メダルの荻野大河(埼玉・埼玉栄)が勝ち、グレコローマンで初のタイトルを獲得した。

71kg級はU17世界選手権で7位に入賞した角出直生(石川・志賀)が優勝。この大会、石川県の選手として初の栄光を獲得。92kg級はインターハイ2位の植木優斗(栃木・足利大附)が優勝した。



▲51kg級の森下大輔(和歌山北)U17アジア銅メダルに続く優勝



▲65kg級はU17世界選手権出場の鈴木飛来(韮崎工)



▲80kg級は島袋希理瑠が勝ち、韮崎工から2人目の王者へ



▲125kg級はバトバヤル・ナムバルダグワ(日体大柏)が圧勝

階	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
51kg	森下大輔 (和歌山・和歌山北)	小川大和 (長崎・島原)	片岡大河 (千葉・日体大柏)	怡土悠馬 (佐賀・鳥栖工)	石山竜成 (宮崎・都城西)	伊藤久遠 (三重・いなべ総合学園)	杉本 蓮 (奈良・大和広陵)	大垣内蓮斗 (石川・志賀)
55kg	松村祥太郎 (千葉・日体大柏)	永井陸斗 (埼玉・花咲徳栄)	河野兼多朗 (佐賀・鳥栖工)	徳原誠馬 (高知・高知東)	嶋川潔生 (和歌山・和歌山北)	上村武蔵 (宮崎・宮崎工)	根間龍斗 (熊本・小川工)	伊藤優隼 (京都・丹後緑風)
60kg	荻野大河 (埼玉・埼玉栄)	木村太智 (千葉・日体大柏)	柳瀬 陸 (滋賀・日野)	山田康介 (群馬・館林)	小岩皆人 (千葉・日体大柏)	平岡大河 (神奈川・磯子工)	直井夢希 (岐阜・高山西)	小山内葵生 (埼玉・埼玉栄)
65kg	鈴木飛来 (山梨・韮崎工)	山下凌弥 (千葉・日体大柏)	松原拓郎 (佐賀・鳥栖工)	細川 周 (京都・丹後緑風)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄)	深澤昂空 (山梨・甲府城西)	ペレイラ・ユウジ (滋賀・日野)	坂木颯来 (長野・上田西)
71kg	角出直生 (石川・志賀)	菊田 創 (埼玉・埼玉栄)	平井友真 (山梨・甲府城西)	安藤慎悟 (大阪・興國)	辻本航基 (三重・いなべ総合学園)	上村朋也 (群馬・館林)	長谷川虎次郎 (山梨・韮崎工)	三浦修矢 (佐賀・鳥栖工)
80kg	島袋希理瑠 (山梨・韮崎工)	掛川零恩 (山口・豊浦)	小玉龍舞 (高知・高岡)	浅野 心 (岡山・高松農)	中村 響 (福岡・三井)	吉田泰造 (香川・高松北)	美齊津楓雅 (長野・小諸商)	井上輪太郎 (熊本・玉名工)
92kg	植木優斗 (栃木・足利大附)	金澤空大 (千葉・日体大柏)	菊地 和 (北海道・帯広北)	矢作元貴 (東京・日本工大駒場)	鬼塚一心 (福岡・三井)	宇都宮快斗 (埼玉・埼玉栄)	佐藤秀一郎 (千葉・八千代松陰)	甫木元起 (佐賀・鳥栖工)
125kg	バトバヤル・ ナムバルダグワ (千葉・日体大柏)	中沢遼貴 (山梨・甲府城西)	織山昭成 (秋田・秋田商)	能瀬龍樹 (石川・志賀)	福島煌天 (栃木・足利大附)	大谷 丈 (群馬・前橋西)	大藪颯太 (岐阜・岐阜工)	岩崎和志 (神奈川・磯子工)

西日本学生選手権

期日 ▶ 2022年10月13日~16日 場所 ▶ 大阪・J:COM末広体育館

【女子】(10月13日/「数」は、エントリー数。72kg級はエントリーなし)

階級	数	優勝	2位	3位	
50kg	3	上岡三桜 (天理大)	浜崎蘭 (南九州大)	河野愛琳 (南九州大)	
53kg	6	伊藤乃愛 (至学館大)	磯江はるか (福岡大)	真栄田美梨 (日本文理大)	
55kg	2	高山凜子 (至学館大)	友口怜奈 (日本文理大)	---	
57kg	3	大橋海寛 (至学館大)	有澤寧々 (福岡大)	金城里音 (日本文理大)	
59kg	4	中西美結 (至学館大)	萩本雪季 (大体大)	黒木美帆 (福岡大)	文本小代 (大阪公立大)
62kg	4	稲垣柚香 (至学館大)	内田奈佑 (至学館大)	村上寧音 (福岡大)	八木千尋 (日本文理大)
65kg	2	吉川かりん (福岡大)	福井紀夏 (日本文理大)	---	
68kg	1	小林久美 (福岡大)	---	---	
76kg	1	前田鈴華 (福岡大)	---	---	

【男子グレコローマン】(10月14日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
55kg	12	松岡大誠 (帝塚山大)	沼田将吾 (帝塚山大)	駒井大輝 (近大)	堤聖斗 (日本文理大)	妹尾康生 (周南公立大)	船越陽晴 (周南公立大)	林真央 (日本文理大)	満永大翔 (近大)
60kg	17	柳田昂哉 (周南公立大)	藤本蔵馬 (中京学院大)	大倉舜也 (福岡大)	廣石春樹 (日本文理大)	堤啓伍 (桃山学院大)	春田寛斗 (福岡大)	松本彰仁 (福岡大)	鐘ヶ江直也 (福岡大)
63kg	16	吉永光輝 (近大)	濱口奏琉 (大体大)	太田陸斗 (立命館大)	片田皓之 (福岡大)	中本公平 (帝塚山大)	川嶋洸翔 (中京学院大)	室山慶也 (中京学院大)	笹川麗宮 (日本文理大)
67kg	11	長野壮志 (九州共立大)	西村龍二 (日本文理大)	今中賀也 (大体大)	大西智也 (日本文理大)	福田陸人 (日本文理大)	中村成吾 (周南公立大)	前谷颯士 (立命館大)	北村一気 (周南公立大)
72kg	13	永松麗 (周南公立大)	吉田海耶 (福岡大)	飯田蓮 (近大)	増谷瞭 (近大)	叶知紘 (立命館大)	松山亮斗 (立命館大)	澤田宗一郎 (周南公立大)	伊計志暉 (九州共立大)
77kg	18	掛水力 (日本文理大)	平野棋薪 (周南公立大)	谷川光星 (周南公立大)	森東大樹 (周南公立大)	中島雅登 (福岡大)	重信裕心 (九州共立大)	清水聖矢 (福岡大)	近藤大幹 (立命館大)
82kg	5	青山夢斗 (周南公立大)	毛利太紀 (天理大)	梶浦敦規 (天理大)	安田彪摩 (近大)	---	---	---	---
87kg	6	寺地怜央 (立命館大)	小尾優弥 (九州共立大)	矢崎元也 (帝塚山大)	権田龍 (周南公立大)	李鑫碩 (中京学院大)	小河健司 (九州共立大)	---	---
97kg	7	奥田歩希 (九州共立大)	山口拓真 (周南公立大)	千葉大輝 (近大)	谷内田皇佑 (中京学院大)	村上智紀 (九州共立大)	久保裕次郎 (九州共立大)	---	---
130kg	12	西大悟 (周南公立大)	大石希 (天理大)	佐々岡諤仁 (中京学院大)	中塚健太 (日本文理大)	水野陽亮 (立命館大)	荒木孝介 (帝塚山大)	河村政栄 (近大)	沖野雷斗 (帝塚山大)

【男子フリースタイル】(10月15~16日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	5位				
57kg	21	二宮健斗 (日本文理大)	高橋瑞希弥 (近大)	満永大翔 (近大)	内田哲平 (関学大)	川本達也 (同志社大)	野坂優太 (関大)	沼田将吾 (帝塚山大)	志村宗 (同志社大)
61kg	36	清水目光生 (周南公立大)	小石原央義 (周南公立大)	浜本歩 (関大)	大石佳生 (大体大)	吉永光輝 (近大)	千葉妃勇雅 (九州共立大)	中井晴斗 (中京学院大)	早山光 (近大)
65kg	25	武元良樹 (中京学院大)	宇藤憲峰 (近大)	小林雄泰 (近大)	西村龍二 (日本文理大)	樋口勤太郎 (九州共立大)	新妻響 (天理大)	占部颯真 (天理大)	高橋斗真 (九州共立大)
70kg	15	岩野駿 (福岡大)	中村成吾 (周南公立大)	小林風斗 (関大)	吉田海耶 (福岡大)	飯田蓮 (周南公立大)	松川匠汰 (中京学院大)	西島太智 (立命館大)	(該当選手なし)
74kg	15	永松麗 (周南公立大)	佐長拓未 (同志社大)	平野棋薪 (周南公立大)	中原朱里人 (近大)	増谷瞭 (近大)	長岡柚人 (周南公立大)	橋本彪雅 (日本文理大)	西村将希 (周南公立大)
79kg	14	森東大樹 (周南公立大)	清水聖矢 (福岡大)	毛利太紀 (天理大)	上田蒼空 (大体大)	谷川光星 (周南公立大)	近藤大幹 (立命館大)	飯沼啓将 (同志社大)	古川貴也 (九州共立大)
86kg	9	吉田奨健 (帝塚山大)	権田龍 (周南公立大)	平田南弥 (桃山学院大)	内田柗二 (同志社大)	今富友貴 (日本文理大)	安田彪摩 (近大)	掛水力 (日本文理大)	(該当選手なし)
92kg	6	長友大生 (中京学院大)	森田祥平 (関学大)	山口拓真 (周南公立大)	小尾優弥 (九州共立大)	高橋凱峰 (近大)	森田章義 (桃山学院大)	---	---
97kg	5	千葉大輝 (近大)	アデル・マレック・ラフファエロ (近大)	西川凌雅 (天理大)	村上智紀 (九州共立大)	奥田歩希 (九州共立大)	---	---	---
125kg	9	大石希 (天理大)	西大悟 (周南公立大)	吉里颯太 (九州共立大)	水野陽亮 (立命館大)	田場尚幸 (南九州大)	渡部克希 (帝塚山大)	沖野雷斗 (帝塚山大)	佐々岡諤仁 (中京学院大)

【最優秀選手賞】▼男子グレコローマン 掛水力(77kg級=日本文理大)、▼男子フリースタイル 永松麗(74kg級=周南公立大)

文部科学大臣杯UNIVAS CUP全日本学生選手権

期日 2022年8月15日～18日

場所 東京・駒沢体育館

男子グレコローマンは日体大が8階級制覇、女子2選手が1年生チャンピオンへ

《男子グレコローマン》

日体大が昨年の7階級制覇を上回る8階級で優勝を遂げた。67kg級の曾我部京太郎、77kg級の日下尚、82kg級の樋口徹心が2年連続2度目の優勝。60kg級に出場した松井謙は2019年の55kg級に続く2大会ぶり2度目の優勝を遂げた。55kg級の山際航平、72kg級の春日井湧雅、87kg級の白井達也、97kg級の伊藤飛未来が初優勝。

他の2階級は、いずれも拓大の選手が勝った。130kg級は奥村聡太が2年連続2度目の優勝。63kg級は、7月のU20アジア選手権で銅メダルを取った澤田幸明が勝ち抜いた。

《女子》

55kg級に出場した今年の世界選手権53kg級代表の藤波朱理(日体大)が3試合を無失点のテクニカルフォールかフォールで勝ち上がり、1年生で優勝。昨年の世界チャンピオンの強さを見せた。57kg級でも、昨年のインターハイ・チャンピオンの山口夏月(至学館大)が勝ち、1年生チャンピオンに輝いた。

至学館大は他に、59kg級の岩網さら、62kg級の稲垣柚香、65kg級の類家直美、76kg級の山本和佳が優勝し(岩網と稲垣は2連覇)、計6階級を制覇。68kg級は昨年の世界選手権2位の宮道りん(日体大)が勝ち、2019年65kg級以来、2度目の優勝。53kg級は下野佑実、72kg級は塩沢和の育英大の選手が勝った。

《男子フリースタイル》

86kg級に出場した9月の世界選手権79kg級代表の高橋夢大(日体大)が5試合をすべてテクニカルフォールで勝つ強さで勝ち上がり(総失点1)、昨年の79kg級に続いて2年連続優勝を達成した。61kg級の綱流斗(山梨学院大)、92kg級の白井達也(日体大)、125kg級の出頭海(中大)も2年連続優勝を達成した。白井は、前年は86kg級での優勝であり2階級制覇。

65kg級は全日本選抜選手権3位の清岡幸太郎(日体大)が、3大会連続優勝を目指す諏訪間新之亮(国士館大)を決勝で破り、進学後、初のタイトルを獲得。74kg級も高田熙(日体大)が初優勝を達成した。

【男子グレコローマン】(8月15～16日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
55kg	33	山際航平 (日体大)	増田杜兼 (育英大)	向田旭登 (専大)	平田宗 (中大)	荒木瑞生 (九州共立大)	高杉大輝 (育英大)	齋藤成龍 (神奈川大)	塩崎泰隆 (日体大)
60kg	31	松井謙 (日体大)	大河原蔵之介 (日体大)	堤孔一 (青山学院大)	森靖仁 (日体大)	曾根敬次郎 (専大)	山縣力 (日体大)	島崎翔悟 (専大)	松本健新 (神奈川大)
63kg	36	澤田幸明 (拓大)	丸山蒼生 (日体大)	萩原大和 (拓大)	渡部泰世 (専大)	伊藤優寿 (明大)	松井勇樹 (日体大)	佐々木航 (拓大)	三井潤 (明大)
67kg	32	曾我部京太郎 (日体大)	堤滋樹 (日体大)	小川琉生 (日体大)	太田楓輝 (育英大)	穴田禪侍 (法大)	三谷剛大 (育英大)	宇藤憲峰 (近大)	伊藤由信 (専大)
72kg	42	春日井湧雅 (日体大)	矢部晴翔 (日体大)	石原三四郎 (中大)	小林大悟 (拓大)	鹿糠鉄斗 (育英大)	本名帝心 (育英大)	喜多康介 (育英大)	稲葉洋人 (青山学院大)
77kg	30	日下尚 (日体大)	山田脩 (日体大)	原田真吾 (育英大)	水口竣介 (拓大)	今井仁聖 (神奈川大)	山崎然生 (明大)	析倉健人 (日大)	茂野史玖 (国士館大)
82kg	18	樋口徹心 (日体大)	玉岡颯斗 (早大)	大泉宗太郎 (国士館大)	谷崎大造 (山梨学院大)	石田健登 (日本文理大)	毛利太紀 (天理大)	穴戸拓海 (日体大)	青山夢斗 (周南公立大)
87kg	17	白井達也 (日体大)	宮本海渡 (日体大)	阿部光 (中大)	磯江大成 (日体大)	駒形陽貴 (国際武道大)	稲本喬弘 (関大)	藤原颯人 (大東大)	目黒優太 (国士館大)
97kg	23	伊藤飛未来 (日体大)	加藤大翔 (国士館大)	北脇香 (早大)	佐川健 (神奈川大)	山本純大 (拓大)	米田侑太 (国士館大)	吉村海里 (国士館大)	奥田歩希 (九州共立大)
130kg	19	奥村聡太 (拓大)	小畑詩音 (日体大)	宮内勇真 (神奈川大)	西村麻凜 (国士館大)	新井裕太 (国士館大)	大石希 (天理大)	竹田廉 (東洋大)	ラッサボン・ソークサイ (日大)

【女子】(8月16日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		5位			
50kg	19	吉元玲美那 (至学館大)	米原実穂 (至学館大)	小坂歩未 (法大)	櫻井はなの (育英大)	高木愛美 (法大)	太田真蓉 (東洋大)	坂本由宇 (神奈川大)	本田原鈴 (東洋大)
53kg	19	下野佑実 (育英大)	片岡梨乃 (早大)	大野真子 (日体大)	佐々木花恋 (日大)	清水美海 (日大)	平野夏帆 (法大)	服部里桜 (法大)	(該当選手なし)
55kg	9	藤波朱理 (日体大)	今井佑海 (日大)	西田紗織 (東洋大)	吉柴未彩輝 (大東大)	高山凜子 (至学館大)	櫻井菜々 (福岡大)	太田若那 (東洋大)	(該当選手なし)
57kg	15	山口夏月 (至学館大)	田村生吹 (日体大)	永本聖奈 (至学館大)	水瀧琉奈 (神奈川大)	山内奏美 (神奈川大)	菊田花 (法大)	長谷川華子 (日大)	木井たから (法大)
59kg	11	岩網さら (至学館大)	中西美結 (至学館大)	中村成実 (法大)	大橋海寛 (至学館大)	横尾真衣 (大東大)	岡田純奈 (日体大)	友口怜奈 (日本文理大)	大谷彩歌 (天理大)
62kg	9	稲垣柚香 (至学館大)	惣崎優音 (日体大)	山田亜柚香 (国際武道大)	内田奈佑 (至学館大)	八木千尋 (日本文理大)	村上寧音 (福岡大)	伏部内まこ (育英大)	(該当選手なし)
65kg	8	類家直美 (至学館大)	平井かえで (育英大)	寺本鈴 (山梨学院大)	吉川かりん (福岡大)	山路さくら (日大)	福井紀夏 (日本文理大)	武藤千奈恵 (国士館大)	---
68kg	6	宮道りん (日体大)	高田ここな (日体大)	小林久美 (福岡大)	伊崎結 (日本文理大)	藤倉優花 (育英大)	---	---	---
72kg	6	塩沢和 (育英大)	水島京香 (日体大)	小林奏音 (専大)	大関永優美 (日大)	和地美咲 (日体大)	---	---	---
76kg	3	山本和佳 (至学館大)	長島水城 (大東大)	前田鈴華 (福岡大)	---	---	---	---	---

【男子フリースタイル】(8月17~18日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		5位			
57kg	66	佐々木風雅 (日大)	山口叶汰 (神奈川大)	弓矢暖人 (日体大)	弓矢健人 (日体大)	向田旭登 (専大)	菅沼碧久 (青山学院大)	丸山愛斗 (神奈川大)	加藤敦史 (国士館大)
61kg	78	榊流斗 (山梨学院大)	藤田颯 (早大)	森田魁人 (山梨学院大)	野坂晃誠 (専大)	高橋一輝 (日体大)	中村勇士 (日体大)	堤太一 (法大)	赤嶺明柳 (日体大)
65kg	80	清岡幸太郎 (日体大)	諏訪間新之亮 (国士館大)	森川海舟 (拓大)	荻野海志 (山梨学院大)	澤田幸明 (拓大)	富山悠真 (山梨学院大)	三谷剛大 (育英大)	柳生達哉 (育英大)
70kg	59	渡辺慶二 (日大)	内山椋太 (国士館大)	永松麗 (周南公立大)	森川陽斗 (山梨学院大)	鈴木大樹 (山梨学院大)	有馬鉄太 (拓大)	三多見明 (拓大)	佐長拓未 (同志社大)
74kg	56	高田照 (日体大)	小柴伊織 (日体大)	矢部晴翔 (日体大)	剛屋亮太郎 (日大)	本名一晟 (育英大)	林拳進 (中大)	小川統己 (東洋大)	大関寛穂 (国士館大)
79kg	41	山倉孝介 (早大)	山田脩 (日体大)	内田貴斗 (専大)	三木翔永 (法大)	毛利太紀 (天理大)	今井海陽 (日大)	合田悠悟 (東洋大)	奥井真吉 (国士館大)
86kg	27	高橋夢大 (日体大)	村島克哉 (中大)	重松大翔 (大東大)	川原大夢 (専大)	市川アンディ (神奈川大)	青山夢斗 (周南公立大)	池田倫 (日大)	三井正信 (日大)
92kg	23	白井達也 (日体大)	吉田アラシ (日大)	横井大伍朗 (明大)	目黒優太 (国士館大)	宮本海渡 (日体大)	山口拓真 (周南公立大)	大原和也 (育英大)	坂井孝太郎 (明大)
97kg	17	伊藤飛未来 (日体大)	加藤大翔 (国士館大)	山崎祥平 (早大)	伊藤慧亮 (明大)	山本純大 (拓大)	持永空弥 (国士館大)	アブデル・マレック・ ラッファエロ (近大)	(該当選手なし)
125kg	19	出頭海 (中大)	ラッサボン・ ソークサイ (日大)	永野颯大 (専大)	吉村海里 (国士館大)	吉里颯太 (九州共立大)	大房快聖 (日本ウェルネススポーツ大)	大石希 (天理大)	笹岡龍馬 (中大)

《個人賞》

【文部科学大臣杯(大会最優秀選手)】吉元玲美那(女子50kg級=至学館大)

【最優秀選手賞】▼男子グレコローマン 樋口徹心(82kg級=日体大)、▼女子 岩網さら(59kg級=至学館大)、

▼男子フリースタイル 白井達也(92kg級=日体大)

【敢闘賞】▼男子グレコローマン 日下尚(77kg級=日体大)、▼女子 下野佑実(53kg級=育英大)、

▼男子フリースタイル 榊流斗(61kg級=山梨学院大)

いちご一会とちぎ国体

期日 2022年10月2日～5日

場所 栃木・FUKAI SQUARE GARDEN 足利

【総合成績】

《天皇杯得点》[1]千葉 73.5点、[2]佐賀 69.5点、[3]埼玉 67.5点、[4]三重 62点、[5]山梨 60点、[6]京都 52.5点、[7]栃木 51点、[8]静岡 50点

《皇后杯得点》[1]埼玉 20.5点、[2]兵庫 19.5点、[3]三重、京都 18点、[5]群馬 18点、[6]山梨、福岡、長崎 15.5点

【成年男子フリースタイル】(10月2～3日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
57kg	17	小野正之助 (佐賀・山梨学院大)	新井陸人 (鹿児島・自衛隊)	荒木大貴 (熊本・自衛隊)	弓矢暖人 (三重・日体大)	山根典哲 (香川・拓大)	五十嵐開 (福島・東北学院大)	澤谷 孟 (島根・国士館大)	寺田有輝 (群馬・群馬県警察)
61kg	21	田南部魁星 (千葉・日体大)	藤田雄大 (三重・自衛隊)	深水小鉄 (大分・東洋大)	森田魁人 (埼玉・山梨学院大)	榑 流斗 (福島・山梨学院大)	輪田昇大 (栃木・明大)	義田省悟 (広島・周南公立大)	永田文治 (青森・八戸三条小教)
65kg	26	清岡幸太郎 (高知・日体大)	上野裕次郎 (栃木・栃木県スポーツ協会)	堤泰 樹 (静岡・日体大)	諏訪間新之亮 (佐賀・国士館大)	鈴木雷人 (宮城・神奈川大)	中村勇士 (島根・日体大)	土井璃音 (京都・中大)	荻野海志 (埼玉・山梨学院大)
74kg	24	小柴伊織 (佐賀・日体大)	三輪優翔 (和歌山・ALSOK)	木下貴輪 (鹿児島・クリナップ)	志賀晃次郎 (東京・警視庁)	磯 次郎 (栃木・自衛隊)	杉本京介 (福岡・東鷹高教)	碓屋亮太郎 (茨城・日大)	基山仁太郎 (三重・イカイ)
86kg	22	石黒隼士 (埼玉・自衛隊)	松雪泰成 (愛知・レスターHD)	栃倉健人 (新潟・日大)	五十嵐文彌 (山梨・山梨学院大)	白井達也 (大阪・日体大)	近藤大幹 (愛媛・立命館大)	中村百次郎 (佐賀・鹿島高教)	高橋夢大 (京都・日体大)
97kg	21	吉田アラシ (千葉・日大)	園田 平 (滋賀・自衛隊)	大津拓馬 (長崎・ALSOK)	二ノ宮寛斗 (岐阜・不二精機)	坂井孝太郎 (新潟・明大)	門間順輝 (秋田・秋田市消防本部)	藤田祐輔 (徳島・日亜化学工業)	伊藤飛未来 (埼玉・日体大)
125kg	11	石黒峻士 (東京・新日本プロレス職)	藤田龍星 (茨城・日大)	田中哲矢 (鹿児島・自衛隊)	安田拓斗 (秋田・秋田県スポ協)	福井裕士 (奈良・天理大職)	笹岡龍馬 (福井・中大)	山口浩一 (鳥取・神奈川大)	森 右秀 (愛知・東央工業)

【成年男子グレコローマン】(10月4～5日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位	ベスト8				
60kg	24	鈴木絢大 (静岡・レスターHD)	河名真偉斗 (広島・自衛隊)	大河原蔵之介 (千葉・日体大)	曾根敬次郎 (長野・専大)	岡本景虎 (和歌山・専大)	古家野蓮 (埼玉・自衛隊)	大塚 颯 (福岡・日体大)	松本健新 (山梨・神奈川大)
67kg	23	曾我部京太郎 (愛媛・日体大)	北條良真 (岡山・自衛隊)	清水賢亮 (北海道・自衛隊)	井ノ口崇之 (京都・自衛隊)	長澤勇人 (和歌山・さくら支援学校教)	三多見明 (滋賀・拓大)	堤 滋樹 (静岡・日体大)	山下文翔 (香川・東洋大)
72kg	18	井上智裕 (神奈川・FUJIOH)	中田翔輝 (岡山・日体大)	春日井湧雅 (岐阜・日体大)	島袋慶生 (新潟・月ヶ岡特別支援学校教)	稲葉洋人 (長野・青山学院大)	坂上拓瑠 (群馬・日体大)	柳生達哉 (徳島・育英大)	内山椋太 (茨城・国士館大)
77kg	17	櫻庭功大 (秋田・自衛隊)	前田明都 (福井・レスターHD)	水口竣介 (奈良・拓大)	日下 尚 (香川・日体大)	一瀬 剣 (山口・豊浦高教)	小林大悟 (山梨・拓大)	川村洋史 (静岡・自衛隊)	前田祐也 (鳥取・鳥取中央育英高職)
87kg	19	向井識起 (広島・自衛隊)	樋口徹心 (兵庫・日体大)	藤井達哉 (滋賀・後藤回漕店)	塩川貢太 (長野・水明小教)	松崎勇人 (宮崎・福島高教)	谷崎大造 (岐阜・山梨学院大)	目黒優太 (岡山・国士館大)	田中真男 (奈良・天理校教学園高教)
97kg	13	仲里優力 (佐賀・佐賀県スポ協)	天野雅之 (福岡・中大職)	中原 陸 (栃木・大東大)	佐川 健 (神奈川・神奈川大)	磯江大成 (鳥取・日体大)	守部克秀 (宮崎・桜美林中教)	有蘭拓真 (兵庫・総合警備保障)	坂野修平 (広島・TSSプロダクション)
130kg	16	奥村総太 (滋賀・拓大)	志喜屋正明 (沖縄・自衛隊)	山口直人 (山口・山口県警)	宮内勇真 (静岡・神奈川大)	小畑詩音 (宮城・日体大)	山田康瑛 (岐阜・山梨学院大)	樋口卓弥 (大阪・東大阪市役所)	河野隆太 (三重・あづまフーズ)

【女子】(10月2~3日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		ベスト8			
53kg	44	奥野春菜 (埼玉・自衛隊)	下野佑実 (群馬・育英大)	五味音々 (山梨・育英大)	入江ななみ (福岡・ミキハウス)	大城 愛 (沖縄・日体大)	高山凜子 (栃木・至学館大)	坂根海琉子 (京都・丹後緑風高)	笠井梨瑚 (兵庫・専大)
62kg	41	花井瑛絵 (三重・朝明高教)	南條早映 (兵庫・東新住建)	今井海優 (京都・自衛隊)	吉武まひろ (長崎・日体大)	岩澤希羽 (秋田・秋田ノーザンハビネッツ)	山口夏月 (埼玉・至学館大)	入江くみ (鹿児島・鹿児島県スポ協)	徳原姫花 (高知・自衛隊)

【少年男子フリースタイル】(10月2~3日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		ベスト8			
51kg	23	菊地優太 (静岡・飛龍)	里中飛雅 (千葉・日体大柏)	與那城一輝 (栃木・足利大付)	山城快陽 (沖縄・北部農林)	伊藤久遠 (三重・いなべ総合学園)	石山竜成 (宮崎・都城西)	杉江佑太 (岡山・高松農)	由井廉太郎 (京都・京都八幡)
55kg	20	松村祥太郎 (千葉・日体大柏)	伊藤洋行 (秋田・秋田商)	榊 颯太 (山梨・韭崎工)	高野航成 (長野・上田西)	坂庭 圭 (群馬・太田)	満永大楽 (愛知・星城)	森 日我 (兵庫・猪名川)	嶋川潔生 (和歌山・和歌山北)
60kg	20	西内悠人 (高知・高知南)	須田 宝 (佐賀・鳥栖工)	及川文尊 (新潟・八海)	曾野亮晟 (三重・いなべ総合学園)	前原晟人 (宮崎・都城西)	中野瑞己 (大阪・興國)	吉田汰洋 (鹿児島・鹿屋中央)	荻野大河 (埼玉・埼玉栄)
65kg	27	細川 周 (京都・丹後緑風)	上村律心 (高知・高知南)	平井友真 (山梨・甲府城西)	宮崎楓大 (石川・志賀)	菅野煌大 (東京・帝京/JOCエリートアカデミー)	平川脩雅 (福岡・三井)	内田怜児 (埼玉・埼玉栄)	金子晴翔 (茨城・霞ヶ浦)
71kg	25	山口叶太 (東京・自由ヶ丘学園)	安藤慎悟 (大阪・興國)	上村朋也 (群馬・館林)	伊藤拳将 (千葉・日体大柏)	内村旺雅 (宮崎・宮崎工)	松尾直哉 (福岡・小倉商)	真田颯大 (新潟・八海)	本橋知大 (京都・丹後緑風)
80kg	25	神谷龍之介 (三重・いなべ総合学園)	吉田泰造 (香川・高松北)	浅野 心 (岡山・高松農)	伊藤大輝 (京都・丹後緑風)	赤坂和哉 (石川・志賀)	佐藤 和 (山形・鶴岡工)	岡澤ナツヲ (神奈川・慶應義塾)	小迫優希 (鹿児島・鹿屋中央)
92kg	13	甫木元起 (佐賀・鳥栖工)	岡 大智 (香川・多度津)	近藤大朗 (愛知・名古屋)	立岡拓馬 (岐阜・岐阜工)	伏部内皓太 (岩手・種市)	木村友也 (石川・志賀)	帆川颯夜 (新潟・北越)	永山鉄晴 (鹿児島・鹿屋中央)
125kg	15	丸山政陽 (静岡・沼津城北高)	藤田宝星 (埼玉・花咲徳栄高)	中西広輝 (熊本・玉名工高)	川松雷葵 (大阪・大体大浪商高)	大谷 丈 (群馬・前橋西)	三宅 茂 (岡山・おかやま山陽)	能瀬龍樹 (石川・志賀)	小畑輝榮 (奈良・天理校学園)

【少年男子グレコローマン】(10月4~5日/「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位		ベスト8			
51kg	18	森下大輔 (和歌山・和歌山北)	小川大和 (長崎・島原)	大垣内蓮斗 (石川・志賀)	怡土悠馬 (佐賀・鳥栖工)	沖田光晴 (山口・柳井学園)	松居琉春 (滋賀・日野)	錦戸蓮太 (熊本・小川工)	久保静夜 (青森・八戸学院野辺地西)
55kg	25	金澤孝羽 (東京・自由ヶ丘学園)	永井陸斗 (埼玉・花咲徳栄)	高橋慧大 (神奈川・慶応)	徳原誠馬 (高知・高知東)	稲岡心空 (富山・高岡向陵)	今井悠稀 (新潟・北越)	半田 智 (栃木・足利大附)	國年世羅 (岡山・高松農)
60kg	24	木村太智 (千葉・日体大柏)	大谷哉斗 (茨城・霞ヶ浦)	高塚恒輝 (和歌山・新宮)	松田來大 (京都・丹後緑風)	平井翔太 (愛媛・八幡浜工)	岡部利毅 (北海道・帯広北)	森岡一護 (兵庫・須磨翔風)	平岡大河 (神奈川・磯子工)
65kg	19	岩網剣勝 (三重・いなべ総合学園)	松原拓郎 (佐賀・鳥栖工)	長野佑利 (愛媛・今治工)	請川鳳大良 (和歌山・和歌山北)	大畑秀斗 (大分・日本文理大附)	加成真之介 (秋田・秋田商)	坂木颯来 (長野・上田西)	酒生貴彰 (鹿児島・鹿屋中央)
71kg	18	角出直生 (石川・志賀)	菊田 創 (埼玉・埼玉栄)	小川凜太郎 (愛媛・八幡浜工)	長谷川虎次郎 (山梨・韭崎工)	高橋脩臣 (高知・高知南)	小関勝斗 (長崎・島原工)	加藤佑規 (栃木・宇都宮商)	辻本航基 (三重・いなべ総合学園)
80kg	9	島袋希理瑠 (山梨・韭崎工)	掛川零恩 (山口・豊浦)	前田九児 (岩手・宮古商工)	和田滉二郎 (群馬・館林)	美齊津楓雅 (長野・小諸商)	島本 翔 (滋賀・八幡工)	生亀 奏 (福島・田島)	松岡大洋 (岐阜・大垣日大)
92kg	25	植木優斗 (栃木・足利大附)	磯谷 輝 (滋賀・八幡工)	矢作元貴 (東京・日本工大駒場)	金澤空大 (千葉・日体大柏)	鬼塚一心 (福岡・三井)	早川海己 (群馬・太田)	菊地 和 (北海道・帯広北)	甲斐武蔵 (山梨・韭崎工)
125kg	20	バトバヤル・ナンバルダグワ (千葉・日体大柏)	中沢遥貴 (山梨・甲府城西)	岩澤泰紀 (宮崎・宮崎工)	織山昭成 (秋田・秋田商)	渡邊泰生 (大分・日本文理大附)	森池春実 (福井・福井農林)	福島煌天 (栃木・足利大附)	向井優天 (愛知・星城)

フォーデイズ杯全日本女子オープン選手権

期日 2022年10月15日~16日

場所 静岡・焼津市総合体育館

■金城梨紗子(旧姓川井)が約1年2ヶ月ぶりに復帰して優勝

【シニアの部】(「数」はエントリー数)

※「数」はエントリー選手数

階級	数	優勝	2位	3位
50kg	19	櫻井はなの (育英大)	福永誠笑 (専大)	小坂歩未 (法大)
53kg	20	森川晴凧 (愛知・至学館高)	五味音々 (育英大)	佐々木花恋 (日大)
55kg	12	下野佑実 (育英大)	岩網瑠夏 (至学館大)	長谷川華子 (日大)
57kg	11	田南部夢叶 (レスターHD)	田村生吹 (日体大)	山口夏月 (至学館大)
59kg	15	金城梨紗子 (サントリービバレッジ)	中西美結 (至学館大)	長谷川姫花 (大阪・堺リベラル高)
62kg	9	小玉彩天奈 (MTX)	岩澤希羽 (秋田NH)	山田葵 (兵庫・芦屋学園高)
65kg	10	榎本美鈴 (青森県協会)	吉武まひろ (日体大)	寺本鈴 (山梨学院大)
68kg	5	石井亜海 (育英大)	高田ここな (日体大)	藤倉優花 (育英大)
72kg	7	塩沢和 (育英大)	和地美咲 (日体大)	進藤芽伊 (クリナップ)
76kg	4	高巢菜々葉 (大阪・堺リベラル高)	前田鈴華 (福岡大)	---

【高校生の部】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位
47kg	23	小幡未羽 (兵庫・芦屋学園)	升田夏実 (京都・海洋)	鈴木彩加 (東京・安部学院)
50kg	26	坂根海琉子 (京都・丹後緑風)	弓矢紗希 (三重・いなべ総合)	小川凧佳 (岐阜・中京)
53kg	35	尾西桜 (埼玉・埼玉栄)	原田渚 (兵庫・芦屋学園)	木宮静香 (兵庫・芦屋学園)
57kg	23	内田颯夏 (JWA)	山下叶夢 (香川・高松北)	太田早也香 (埼玉・埼玉栄)
62kg	18	池畑菜々 (兵庫・芦屋学園)	ピヤンハスレン・フウラン (愛知・至学館)	小野こなみ (東京・日体大桜華)
68kg	9	星野レイ (東京・日体大桜華)	吉田千沙都 (三重・一志)	長野姫嘩 (山口・山口鴻城)
74kg	4	茂呂綾乃 (東京・安部学院)	中磯静香 (香川・高松クラブ)	佐々木愛 (秋田・明桜)

【中学生の部】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位
33kg	3	中西杏 (桑名)	神戸絢音 (トコナメ)	中園和奏 (THUNDER)
36kg	4	川下未来 (八戸クラブ)	田中希実 (八戸クラブ)	鈴木輪夏 (焼津リトル)
39kg	11	内田菜楓 (舞鶴)	江坂萌那 (刈谷)	山田仁菜 (京都海洋)
42kg	18	勝目結羽 (NEXUS)	竹内菜々子 (YJWC)	小原心花 (fire boys)
46kg	22	大矢華乃 (YJWC)	片岡優 (リバーサル)	金山来実 (四日市ジュニア)
50kg	20	小塚菜々 (INABE)	渡邊ひさき (一志ジュニア)	筒井双 (日体大桜華)
54kg	15	山内悠妃 (fire boys)	国重友 (徳山)	坂井椿 (HASHIMA)
58kg	12	野口紗英 (オビヒロ)	木下凧 (NEXUS)	森脇花乃 (舞鶴)
62kg	11	岩崎美優 (日体大桜華)	小柴ゆり (鳥栖レス)	村田悠芽夏 (邑楽ジュニア)
66kg	5	本多結里菜 (FFC)	大豆生田麗 (ひたちなか)	伊藤愛里 (至学館)
73kg	7	内山陽詩 (KASUMI)	木村允希愛 (高松北)	藤田真妃琉 (リバーサル)

【キッズの部】(「数」はエントリー数)

階級	数	優勝	2位	3位
28kg	4	志田向夏花 (HASHIMA)	岩橋心菜 (WAKITA)	椎名玲美 (リバーサル)
30kg	5	大門明日香 (志賀ジュニア)	小原優乃 (fire boys)	佐藤莉桜 (TOKAI Jr)
33kg	8	鱈野咲幸 (エンジョイ)	松下奈々 (WAKITA)	佐藤杏樹 (郡山)
36kg	10	矢野朱莉 (FFC)	及川美優 (TOKAI Jr)	渡邊みらい (焼津ジュニア)
40kg	13	丹羽冴月 (吹田)	平田萌々美 (吹田)	志田野乃美 (練馬谷原くらぶ)
45kg	17	小林叶実 (NUMAZU)	尻無濱せな (レッスル)	真鍋果歩 (吹田)
49kg	7	柴田さくらこ (ファイブスター)	吾郷綺咲 (加茂BG)	棚田陽葵 (茨木)
53kg	6	鈴木琳媛 (くりもり)	伊藤花菜 (INABE)	佐古光優 (市川コシティ)
58kg	4	田中いおり (TOYO)	白砂萌珂 (AJPW.Jr)	花井小梅 (THUNDER)
+58kg	3	林美琉子 (AMINO)	伊藤新菜 (至学館)	---

【フォーデイズ杯(最優秀賞)】金城梨紗子(59kg級=サントリービバレッジソリューション)

【シニア】▼優秀賞 下野佑実(55kg級=育英大)、▼敢闘賞 森川晴凧(53kg級=愛知・至学館高)、【高校生】▼優秀賞 尾西桜(53kg級=埼玉栄高)、▼敢闘賞 内田颯夏(57kg級=JWA)、【中学生】▼優秀賞 勝目結羽(42kg級=NEXUS)、▼敢闘賞 野口紗英(58kg級=オビヒロ)、

【キッズ】▼優秀賞 小林叶実(45kg級=NUMAZU)、▼敢闘賞 柴田さくらこ(49kg級=ファイブスター)

文部科学大臣杯全日本大学グレコローマン選手権

期日 2022年10月19日～20日

場所 東京・駒沢体育館

■日体大が4階級を制して21度目の優勝、拓大は3階級で優勝

日体大が4階級を制覇。大学対抗得点で69.5点をマーク。61点の拓大を上回り、2年連続21度目の優勝を遂げた。

日体大は、72kg級で全日本学生選手権優勝の春日井湧雅(日体大)が勝ち、学生二冠王者となって最優秀選手賞を獲得。63kg級は全日本選抜選手権2位の丸山千恵蔵(日体大)、87kg級は世界選手権フリースタイル79kg級代表の高橋夢大(日体大)、97kg級は全日本学生選手権87kg級2位の宮本海渡(日体大)が、それぞれ優勝。他に、3階級で3位に入り、まんべんなく上位入賞を果たした。昨年の「5階級制覇、74点」には及ばなかったものの、王座を守った。

拓大は、130kg級で奥村総太が全日本学生選手権に続く優勝で学生二冠王者へ。67kg級で昨年の全日本学生選手権2位の三多見明が、2階級にわたって2連覇を目指した西田衛人(専大)を決勝で破って優勝。77kg級で全日本学生選手権3位の水口竣介が勝って3階級を制し、3選手が3位に入ったが、日体大に追いつかなかった。

55kg級は岡本景虎(専大)、82kg級は谷崎大造(山梨学院大)が勝ち、それぞれの大学は5年連続でチャンピオンを輩出。60kg級は堤孔一(青山学院大)が勝った。



▲4階級を制し、2年連続21度目の優勝の日体大



▲学生二冠王となった春日井湧雅(日体大)がMVPへ

《大学対抗得点》[1]日体大 69.5点、[2]拓大 61点、[3]専大 39.5点、[4]山梨学院大 33.5点、[5]早大 32.5点、[6]国士館大 27点、[7]中大 24点、[8]育英大 21.5点

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
55kg	8	岡本景虎 (専大)	尾西大河 (早大)	荒木瑞生 (九州共立大)	二宮健斗 (日本文理大)	増田壮兼 (育英大)	内田創太郎 (明大)	請川胡大良 (法大)	駒井大輝 (近大)
60kg	23	堤孔一 (青山学院大)	五味虹登 (育英大)	松本健新 (神奈川大)	塩谷優 (拓大)	大河原蔵之介 (日体大)	澤谷孟 (国士館大)	廣石春樹 (日本文理大)	谷口虎徹 (早大)
63kg	13	丸山千恵蔵 (日体大)	荻野海志 (山梨学院大)	山下文翔 (東洋大)	萩原大和 (拓大)	赤荻清志郎 (日大)	三井潤 (明大)	吉永光輝 (近大)	島谷侃 (早大)
67kg	21	三多見明 (拓大)	西田衛人 (専大)	伊藤隼 (東洋大)	矢部晴翔 (日体大)	藤澤汰陽 (国士館大)	富山悠真 (山梨学院大)	岩切徳丸 (中大)	中村成吾 (周南公立大)
72kg	13	春日井湧雅 (日体大)	本名一晟 (育英大)	伊藤由信 (専大)	石原三四郎 (中大)	今村大地 (日大)	丹下叶夢 (東洋大)	青柳裕樹 (神奈川大)	叶知紘 (中京学院大)
77kg	18	水口竣介 (拓大)	高原崇陽 (専大)	山田脩 (日体大)	栃倉健人 (日大)	山路健心 (早大)	今井仁聖 (神奈川大)	高森新世 (山梨学院大)	竹内遼斗 (周南公立大)
82kg	10	谷崎大造 (山梨学院大)	窪田大羅 (中大)	青山夢斗 (周南公立大)	山口蓮汰 (神奈川大)	田中勝大 (拓大)	毛利天紀 (天理大)	大泉宗太郎 (国士館大)	豊田哲平 (青山学院大)
87kg	16	高橋夢大 (日体大)	玉岡颯斗 (早大)	目黒優太 (国士館大)	三浦哲史 (拓大)	村島克哉 (中大)	内田貴斗 (専大)	市原元飛 (大東大)	岩井知史 (明大)
97kg	20	宮本海渡 (日体大)	北脇香 (早大)	アビレイ・ソビット (山梨学院大)	加藤大翔 (国士館大)	山本純大 (拓大)	横井大伍朗 (明大)	吉田奨健 (帝塚山大)	谷内田皇佑 (中京学院大)
130kg	21	奥村総太 (拓大)	佐々岡諤仁 (中京学院大)	小畑詩音 (日体大)	吉村海里 (国士館大)	宮内勇真 (神奈川大)	笹岡龍馬 (中大)	大石希 (天理大)	山田康瑛 (山梨学院大)

【最優秀選手】春日井湧雅(日体大)、【敢闘賞】水口竣介(77kg級=拓大)、【最優秀監督賞】松本慎吾(日体大)

ドン・キホーテ杯全日本ビーチ沖縄大会

期 日 2022年10月23日

場 所 沖縄・豊見城市美らSUNビーチ

【シニアの部】=女子重量級はエントリーなし

階級	優 勝	2 位	3 位
男子・軽量	山田義起 (立山商事)	吉永光輝 (近 大)	寺田靖也 (明大クラブ) 太田 忍 (バラエストラ柏)
男子・中量	阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団)	加賀屋庸一朗 (和歌山県体育協会)	金子 弘 (フリー) 西村 刀 (team katana)
男子・重量	天野雅之 (中大学職)	清水友貴 (T&H GYM)	樋口卓弥 (T&H GYM)
女子・中量	入江ななみ (ミキハウス)	中村成実 (法 大)	
女子・中量	入江くみ (ミキハウス)	仲村渠千沙 (フリー)	

【高校生の部】=女子重量級はエントリーなし

階級	優 勝	2 位	3 位
男子・軽量	真栄田空斗 (沖縄・北部農林高)	玉城 悠 (沖縄・北部農林高)	石垣涼斗 (沖縄・南風原高) 伊良皆元希 (沖縄・北部農林高)
男子・中量	饒波悠稀 (沖縄・北部農林高)	長谷川晴也 (沖縄・北部農林高)	大城良太 (沖縄・南風原高) 大村京次郎 (沖縄・北部農林高)
男子・重量	掛川零恩 (山口・豊浦高)	高山朝光 (沖縄・北部農林高)	嶺井元陽 (沖縄・北部農林高)
女子・軽量	宮城瑠菜 (沖縄・北部農林高)	吉川早紀 (東京・下北沢成徳高)	
女子・中量	本部いちか (沖縄・糸満高)	大城一華 (沖縄・糸満高)	上原凜月 (沖縄・糸満高)

【中学生の部】=女子中重量級はエントリーなし

階級	優 勝	2 位	3 位
男子・軽量	玉城伝紳 (沖縄・RISE)	松本昇龍 (沖縄・RISE)	徳比嘉礼仁 (沖縄・RISE) 砂川空也 (福岡・高田道場福岡)
男子・中量	河村碧士 (沖縄・嘉手納クラブ)	仲間楓人 (沖縄・糸満署少年柔道)	
男子・重量	野原海斗 (沖縄・やんばるクラブ)	親川翔和 (沖縄・やんばるクラブ)	
女子・軽量	崎山仁奈 (沖縄・RISE)	野原さくら (沖縄・やんばるクラブ)	

【小学校5・6年の部】=男女の重量級はエントリーなし

階級	優 勝	2 位	3 位
男子・軽量	比嘉悠貴 (沖縄・OJキッズクラブ)	金城悠生 (沖縄・やんばるクラブ)	末吉丈一郎 (フリー)
女子・軽量	比嘉結花 (沖縄・OJキッズクラブ)		

【小学校3・4年の部／1・2年の部】

階級	優 勝	2 位	3 位
3・4年男子	運転 藍 (沖縄・OJキッズクラブ)	砂川大晴 (福岡・高田道場福岡)	新城杏弥 (沖縄・やんばるクラブ)
3・4年女子	照屋野乃々花 (沖縄・RISE)		
1・2年男子	横井琉聖 (沖縄・RISE)	森島秀輝 (沖縄・糸満署少年柔道)	伊志嶺朝太郎 (沖縄・糸満署少年柔道) 松根浩人 (沖縄・OJキッズクラブ)
1・2年女子	比嘉望結 (沖縄・OJキッズクラブ)	佐久川晴安 (沖縄・RISE)	古堅結音 (沖縄・OJキッズクラブ)

《個人賞》

【最優秀選手賞】▼男子 阿部宏隆(水戸市スポーツ少年団)、▼女子 入江ななみ(ミキハウス)

【優秀賞】▼シニア 山田義起(立山商事)、▼高校生 掛川零恩(山口・豊浦高)、▼中学生 崎山仁奈(RISE)、

▼小学生 運天藍(OJキッズクラブ)



▲3年ぶりに開催されたドン・キホーテ杯全日本ビーチ沖縄大会に集った選手



▲総合合格闘家の太田忍は、約2年10ヶ月ぶりに“レスリング”の大会に出場

全国社会人オープン選手権

期日 2022年10月29日～30日 場所 埼玉・富士見市立市民総合体育館

■井出光星(自衛隊)がJOC杯を受賞、団体戦は中大クラブが優勝

【団体戦】

《優勝決定戦》中大クラブ〇[3-2] ●警視庁クラブ

《予選A組順位》[1]警視庁クラブ 3勝、[2]明大クラブ 2勝1敗、[3]静岡クラブ 1勝2敗、[4]山形クラブ 3敗

《予選B組順位》[1]中大クラブ 2勝、[2]中大クラブ 1勝1敗、[3]国十館クラブ 2敗

【個人戦・男子フリースタイル】＝「数」はエントリー数

階級	数	優勝	2位	3位	
57kg	2	佐々木修斗 (T-KIDSクラブ)	一杉芳樹 (静岡・三島高校OB)	---	---
61kg	9	吉村拓海 (自衛隊)	荒木大貴 (自衛隊)	南原健志郎 (香川県協会)	但野航 (ニトリ)
65kg	22	井出光星 (自衛隊)	有元伸悟 (近大クラブ)	秋山拓未 (第5地对艦)	三輪大珠 (和歌山県協会)
70kg	16	赤澤岳 (チームサモア)	山崎幹太郎 (日体大大学院)	坂野秀堯 (神奈川・日大藤沢高職)	金子泰士 (明大クラブ)
74kg	6	川畑孔明 (自衛隊)	中村優太 (ゴーゴーカーレー)	阿部侑太 (秋田刑務所)	(4位)寺田靖也 (明大クラブ)
79kg	11	阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団)	吉田真聖 (HAKOBEE FUKUI)	宮川哲也 (中大クラブ2)	竹内祐斗 (山口県体協)
86kg	8	北村公平 (京都・京都八幡高教)	伊藤大貴 (明大クラブ)	古城伊武樹 (徳山クラブ)	川岡司 (松阪クラブ)
92kg	9	松雪泰成 (レスターHD)	山口剛 (ワセダクラブ)	横田裕大 (立大OB会TWA)	岩永昂樹 (警視庁クラブ)
97kg	6	山中彬 (中大クラブ2)	Willie Alofipo (チームサモア)	塩見力 (T&HGYM)	(4位)佐々木太一 (神奈川・横浜秋葉中教)
125kg	5	樋口卓弥 (東大阪市役所)	安田拓斗 (秋田県スポーツ協会)	伊藤昌 (警視庁クラブ)	須惠勝貴 (大阪府警)

【個人戦・男子グレコローマン】＝「数」はエントリー数。55kg級はエントリーなし

階級	数	優勝	2位	3位	4位
60kg	4	田野倉翔太 (東京・自由ヶ丘学園高教)	古家野蓮 (自衛隊)	高橋三四郎 (山梨学院大OB)	宮原潤 (警視庁クラブ)
63kg	5	小柳和也 (自衛隊)	吉村拓海 (自衛隊)	小坂健太 (札幌東豊クラブ)	---
67kg	5	北條良真 (自衛隊)	辻村崇 (神奈川・日大藤沢高教)	大石健二 (三多摩サンボンスクール)	---
72kg	5	小笠原弥真人 (自衛隊)	山根光司 (中大クラブ2)	岡本裕 (同志社大OB)	尾藤広光 (京都東山クラブ)
77kg	5	葛谷拳龍 (自衛隊)	湯田敬太 (警視庁クラブ)	Yamashita Bobby (SEAHAWKS)	中樹希也 (大阪府警)
82kg	2	前田明都 (レスターHD)	澤田夢有人 (静岡クラブ)	---	---
87kg	3	饒波正真 (九州共立大OB)	---	---	---
97kg	4	山中彬 (中大クラブ2)	Willie Alofipo (チームサモア)	佐々木太一 (神奈川・横浜秋葉中教)	---
130kg	7	庄司樹 (専大クラブ)	樋口卓弥 (東大阪市役所)	須惠勝貴 (大阪府警)	服部弘慶 (警視庁クラブ)

《個人賞》

【JOC杯】井出光星(男子フリースタイル65kg級＝自衛隊)

【最優秀選手賞】▼男子フリースタイル 赤澤岳(70kg級＝チームサモア)、▼男子グレコローマン 北條良真(67kg級＝自衛隊)

【優秀選手賞】▼男子フリースタイル 松雪泰成(92kg級＝レスターホールディングス)、

▼男子グレコローマン 田野倉翔太(60kg級＝東京・自由ヶ丘学園高教)

【敢闘賞】▼男子フリースタイル 尾藤広光(70kg級＝京都・京都東山クラブ)、▼男子グレコローマン 庄司樹(130kg級＝専大クラブ)



▲団体戦優勝の中大クラブ



▲サモアから参加の赤澤岳はフリー70kg級優勝



▲JOC杯受賞の井出光星(自衛隊)

内閣総理大臣杯全日本大学選手権

期日 ▶ 2022年11月19日～20日

場所 ▶ 大阪・堺市金岡公園体育館

■日体大が5階級優勝で28年ぶりのグランドスラム達成、1年生王者が4人生まれる

日体大が5階級で優勝。全階級で3位以内を確保し、大学対抗得点は81点をマークして3年連続23度目の優勝を達成。今シーズン、5月の東日本学生リーグ戦と10月の全日本大学グレコローマン選手権も制しており、この優勝で、1994年の日体大を最後に達成した大学がなかった年間の団体戦すべてを制するグランドスラムを成し遂げた。

日体大は57kg級で1年生の弓矢健人が勝ち、61kg級は国体王者の田南部魁星が優勝。74kg級で高田熙、125kg級で伊藤飛未来の学生王者が実力を発揮し(伊藤は97kg級学生王者)、79kg級はグレコローマンを中心にやっている山田脩が優勝。65kg級で学生王者の清岡幸太郎が負傷で決勝を棄権するなどの“想定外”の結果を乗り越えた。

山梨学院大は、65kg級で荻野海志、86kg級で五十嵐文彌がともに1年生王者となり、70kg級で青柳善の輔が勝って3階級を制覇したが、計量失格を含めて2階級で得点が「0点」だったことなどが響き、日体大に差をつけられた。日大は97kg級で国体王者の吉田アラシが勝って1年生王者に輝き、全階級で3位決定戦以上に進んだものの、対抗得点は3位に終わった。92kg級は坂井孝太郎(明大)が優勝。同大学としては、1991年の窪木浩(52kg級)以来、31年ぶり。

各階級の成績は下記の通り。1年生王者が4人生まれたのは大会史上初めて。



▲学生三冠を獲得してMVPの伊藤飛未来



▲グランドスラム達成まで胴上げを辞退していた松本慎吾監督。体が宙に浮いた

【大学対抗得点】[1]日体大 81点、[2]山梨学院大 60点、[3]日大 55点、[4]専大 37.5点、[5]早大 35.5点、[6]拓大 30.5点、[7]明大 24.5点、[8]国士館大 18.5点

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
57kg	27	弓矢健人 (日体大)	向田旭登 (専大)	菅碧沼久 (青山学院大)	佐々木風雅 (日大)	山根典哲 (拓大)	宮原健四郎 (周南公立大)	請川胡大良 (法大)	山口叶汰 (神奈川大)
61kg	20	田南部魁星 (日体大)	森田魁人 (山梨学院大)	藤田 颯 (早大)	塩谷 優 (拓大)	佐藤大夢 (中大)	深水小鉄 (東洋大)	廣石春樹 (日本文理大)	松井滉季 (慶大)
65kg	27	荻野海志 (山梨学院大)	清岡幸太郎 (日体大)	大橋寛介 (日大)	森川海舟 (拓大)	柳生達也 (育英大)	島谷 侃 (早大)	徳力貫太 (専大)	太田匠海 (明大)
70kg	22	青柳善の輔 (山梨学院大)	渡辺慶二 (日大)	西田衛人 (専大)	小川統己 (東洋大)	平岡大宙 (慶大)	山路大心 (中大)	有馬鉄太 (拓大)	佐長拓未 (同志社大)
74kg	27	高田 熙 (日体大)	深田雄智 (早大)	大関寛穂 (国士館大)	佐藤匡記 (山梨学院大)	田中勝大 (拓大)	碓屋亮太郎 (日大)	高原崇陽 (専大)	葛岡海斗 (東洋大)
79kg	12	山田 脩 (日体大)	栃倉健人 (日大)	山倉孝介 (早大)	太田晃暉 (専大)	清水大輔 (明大)	三木翔永 (法大)	清水聖矢 (福岡大)	毛利太紀 (天理大)
86kg	26	五十嵐文彌 (山梨学院大)	内田貴斗 (専大)	高橋夢大 (日体大)	岩井知史 (明大)	奥井真吉 (国士館大)	藤田 豪 (日大)	寺地怜央 (立命館大)	合田悠悟 (東洋大)
92kg	6	坂井孝太郎 (明大)	目黒優太 (国士館大)	吉田奨健 (帝塚山大)	大原和也 ^(4位) (育英大)	小尾優弥 ^(6位) (九州共立大)	森田祥平 (関学大)	---	---
97kg	20	吉田アラシ (日大)	山崎祥平 (早大)	三浦哲史 (拓大)	白井達也 (日体大)	佐藤大斗 (専大)	佐々木優太 (育英大)	横井大伍朗 (明大)	佐々木偉琉 (大東大)
125kg	17	伊藤飛未来 (日体大)	アビレイ・ソビット (山梨学院大)	ラッサボン・ソークサイ (日大)	西 大悟 (周南公立大)	奥村総太 (拓大)	水野陽亮 (立命館大)	北脇 香 (早大)	沖野雷斗 (帝塚山大)

【最優秀選手賞】伊藤飛未来(日体大)、【敢闘賞】青柳 善の輔(山梨学院大)、【最優秀監督賞】松本慎吾(日体大)

東京都知事杯全国中学選抜U15選手権

期日 2022年11月26日~27日

場所 東京・駒沢体育館

■野口紗英(北海道・帯広クラブ)と本多正虎(神奈川・NEXUS)がMVP

【最優秀選手賞(東京都知事杯)】本多正虎(52kg級=神奈川・NEXUS TEAM YOKOSUKA3)、

【最優秀選手賞(大会会長賞)】野口紗英(58kg級=北海道・オビヒロクラブ3)

【日刊スポーツ賞】▼女子 木村允希愛(73kg級=香川・高松北中3)、▼男子 リボウィッツ和青(110kg級=東京・六機KID'S3)

【吉田沙保里賞】▼女子 山内悠妃(54kg級=三重・一志ジュニア3)、▼男子 花盛奏太(68kg級=兵庫・INAGAWA3)

【最短フォール賞】▼女子 勝目結羽(42kg級=神奈川・NEXUS TEAM YOKOSUKA2)7秒、

▼男子 吉田悠耶(長崎・OMURA TOP TEAM3)13秒

【ベストスタッフ賞】田野倉翔太(東京・自由ヶ丘学園高教)

【男子】(「数」は、エントリー数。所属末尾の数字は学年)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	ベスト8			
38kg	28	桑原廷佳 (神奈川・NEXUS2)	江間大登 (東京・LUTUS世田谷1)	西村翔偉 (静岡・焼津ジュニア2)	稲葉広人 (福島・ふたば未来1)	久保山朔 (福島・ふたば未来1)	榊原健太 (三重・松阪クラブ1)	牛勝勝心 (神奈川・NEXUS1)	吾郷煌介 (島根・加茂BG1)
41kg	25	前田悠樹 (東京・GLORIA2)	山本海星 (和歌山・和歌山クラブ3)	柴田寛大 (滋賀・栗東クラブ2)	大栗颯真 (栃木・THUNDER1)	池田 零 (静岡・焼津Jr.2)	松田伴宝 (青森・野辺地クラブ1)	山口寛汰 (静岡・焼津リトル2)	佐藤琉青 (福島・ふたば未来2)
44kg	36	横田大和 (神奈川・NEXUS2)	坂本 広 (東京・AACC3)	池田響介 (京都・舞鶴クラブ2)	花盛陽色 (兵庫・INAGAWA2)	日浦璃尾虎 (福井・敦賀気比中1)	松實陸斗 (和歌山・新宮ジュニア3)	松浦充希 (愛知・刈谷2)	川口晴流 (茨城・KASUMI1)
48kg	74	清水悠希 (静岡・焼津ジュニア2)	荻田大雅 (兵庫・芦屋学園3)	椎名遥玖 (千葉・リバーサル3)	藤原尚大 (高知・高知クラブ1)	古澤大和 (大阪・大体大浪商中2)	大井喜一 (東京・GLORIA3)	深澤遼弥 (山梨・山梨ジュニア3)	檜山惇也 (茨城・大子Jr2)
52kg	73	本多正虎 (神奈川・NEXUS3)	廣橋悠貴 (東京・MTX GOLD KIDS3)	古市大翔 (千葉・野田一中3)	菅原大志 (神奈川・磯工ペアーズ3)	庵野琥士朗 (大阪・堺ジュニア3)	小此木仁之祐 (東京・WRESTLE2)	本荘栞真 (千葉・せきやど1)	北村春斗 (兵庫・INAGAWA3)
57kg	76	齊藤巧将 (東京・六機KID'S1)	北出幸也 (大阪・堺ジュニア3)	田島 翼 (京都・京都八幡ジュニア3)	中納京介 (埼玉・花咲ジュニア2)	竹本颯汰 (高知・高知クラブ3)	星野歩汰 (群馬・大間々3)	玉城伝伸 (沖縄・RISE2)	岩崎航大 (東京・ドン・キホーテ3)
62kg	65	野口佳祐 (北海道・オビヒロクラブ3)	安威永太郎 (東京・MTX GOLD KIDS3)	福井禮空 (静岡・焼津ジュニア3)	加藤源大 (岐阜・HASHIMA3)	戸邊昇輝 (千葉・野田一中3)	田中智大 (埼玉・フェニックスC3)	山崎魁良 (三重・INABE3)	吉田海人 (三重・一志ジュニア2)
68kg	42	花盛奏太 (兵庫・INAGAWA3)	福井大翔 (埼玉・埼玉栄中3)	大門大翔 (石川・志賀ジュニア3)	田中 陸 (東京・WRESTLE3)	岡田昇大 (千葉・松戸ジュニア3)	江口 翼 (東京・AACC3)	日比野雄大 (岐阜・HASHIMA3)	秋保大地 (東京・MTX GK3)
75kg	25	小林寛弥 (大阪・大体大浪商中2)	堤 大智 (岐阜・マيسポーツ3)	弓矢翔太 (三重・INABE3)	後藤正太郎 (愛知・NWA3)	小林幸太郎 (山口・ファイブスター3)	山中創太 (神奈川・磯工ペアーズ2)	田原想羅 (宮崎・宮崎イースト3)	矢野安章 (愛媛・今エクラブ3)
85kg	26	吉田悠耶 (長崎・OMURA TOP3)	寺村壮太 (大阪・四條畷クラブ2)	田村大翔 (東京・MTX GOLDKIDS2)	内田翔太 (香川・多度津3)	田中初樹 (福岡・北九州2)	伊藤龍駆 (青森・青森クラブ2)	矢口瞳真 (茨城・KASUMI3)	小川太陽 (岩手・山田1)
110kg	11	リボウィッツ和青 (東京・六機KID'S3)	長谷川大和 (大阪・大体大浪商中3)	竹澤 光 (埼玉・花咲ジュニア2)	中沢友貴 (山梨・山梨ジュニア2)	水田謙壮 (千葉・リバーサル2)	新田健人 (大阪・井高野3)	山口凌次郎 (岡山・くらしきJWS1)	紀藤紘哉 (岐阜・美濃加茂3)

【女子】(「数」は、エントリー数。所属末尾の数字は学年)

階級	数	優勝	2位	3位	4位	ベスト8			
33kg	2	中西 杏 (三重・桑名クラブ2)	神戸絢音 (愛知・常滑市教室1)	---	---	---	---	---	---
36kg	1	田中希実 (青森・八戸クラブ1)	---	---	---	---	---	---	---
39kg	13	内田菜楓 (京都・舞鶴クラブ1)	江坂萌那 (愛知・刈谷クラブ3)	山田仁菜 (京都・京都海洋2)	榊原真貴 (三重・松阪クラブ2)	阿久津こはる (福島・ふたば未来2)	梅川紅果 (三重・一志ジュニア1)	木村 椿 (香川・高松北中1)	本名奏天 (新潟・巻っず1)
42kg	17	勝目結羽 (神奈川・NEXUS2)	日向玲奈 (千葉・松戸ジュニア2)	田中愛莉 (神奈川・YJWC1)	小原心花 (神奈川・Fire Boys2)	山本はるあ (静岡・東伊豆2)	田中愛莉 (神奈川・YJWC1)	佐々木未桜 (青森・八戸クラブ1)	加藤あん (神奈川・Fire Boys2)
46kg	19	角本明日香 (東京・日本工大駒場中2)	金山来実 (三重・四日市ジュニア2)	小岩芽以 (千葉・松戸ジュニア3)	荒川笑舞 (北海道・オビヒロクラブ2)	棚田紗雪 (兵庫・芦屋学園3)	寶嶋葉那 (神奈川・NEXUS1)	竹内菜々子 (神奈川・YJWC1)	由井詠葉 (京都・京都八幡2)
50kg	25	小塚菜々 (三重・INABE2)	下田結月 (高知・高知クラブ2)	三谷心乃 (千葉・リバーサル2)	渡邊ひさき (三重・一志ジュニア3)	岸上聖奈 (滋賀・栗東クラブ1)	関戸香梨奈 (神奈川・TBbySU3)	中島優紗 (宮崎・WellnessKids2)	谷内絵美里 (石川・志賀ジュニア2)
54kg	26	山内悠妃 (三重・一志ジュニア3)	国重 友 (山口・徳山チビッコ3)	筒井 双 (東京・日体大桜華中3)	永富琉衣 (兵庫・芦屋学園中3)	保樹樹奈 (福島・ふたば未来1)	飯室真佳 (埼玉・WAKO1)	諸星日菜 (埼玉・埼玉栄3)	青山成実 (群馬・邑楽クラブ3)
58kg	14	野口紗英 (北海道・オビヒロクラブ3)	木下 凜 (神奈川・NEXUS3)	森脇花乃 (京都・舞鶴クラブ2)	中山木の実 (福井・HAKOBE FUKUI3)	吉川華奈 (東京・JWA3)	直井詩空 (岐阜・マيسポーツ2)	安見 心 (京都・京都八幡1)	鈴木遥心 (静岡・沼津学園Jr2)
62kg	13	小柴ゆり (佐賀・鳥栖クラブ3)	岩崎美優 (東京・日体大桜華3)	木村美海 (千葉・リバーサル3)	内田柊花 (京都・舞鶴クラブ3)	谷川絳菜 (愛媛・今エクラブ2)	佐藤美樹 (秋田・北志館3)	熊澤厚生 (北海・オビヒロクラブ1)	石井優奈 (大阪・堺ジュニア1)
66kg	6	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー2)	松山 桜 (東京・日本工大駒場中3)	大豆生田麗 (茨城・ひたちなかクラブ2)	伊藤愛里 (愛知・至学館クラブ3)	駒田つかさ (静岡・NUMAZU1)	村田悠芽夏 (群馬・邑楽クラブ3)	---	---
73kg	7	木村允希愛 (香川・高松北中3)	高山海優 (神奈川・NEXUS2)	内山陽詩 (茨城・KASUMI3)	小沼彩倭 (栃木・THUNDER2)	館下苺果 (岩手・山田3)	吉村琴姫 (鹿児島・SATSUMA2)	---	---

東日本学生選手権 (秋季)

期 日 2022年11月28日~30日

場 所 東京・駒沢体育館

■山梨学院大が新人戦フリースタイル5階級で優勝

【新人戦】▼最優秀選手賞・男子グレコローマン 伊藤翔哉(60kg級=専大)、▼同・最優秀選手賞 山路健心(79kg級=早大)、▼敢闘賞・男子グレコローマン 五味虹登(67kg級=育英大)、▼同・男子フリースタイル 五十嵐文彌(92kg級=山梨学院大)

【選手権の部】▼最優秀選手賞・男子フリースタイル 青柳善の輔(74kg級=山梨学院大)、

▼同・男子グレコローマン 吉村海里(97kg級=国士館大)、▼敢闘賞・男子フリースタイル 島谷侃(61kg級=早大)、

▼同・男子グレコローマン 萩原大和(67kg級=拓大)

【ゴールデンホイッスル賞】奥田柗王審判員(日大)

【新人戦・男子グレコローマン】(11月28日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	5 位				
55kg	8	増田杜兼 (育英大)	大楠健太 (日体大)	平田 宗 (中 大)	請川胡大良 (法 大)	宮崎想大 (山梨学院大)	河野隆真 (拓 大)	八木凜太郎 (育英大)	---
60kg	23	伊藤翔哉 (専 大)	赤嶺明柳 (日体大)	高杉将輔 (日体大)	石津慶斗 (日 大)	日比野晴斗 (神奈川大)	戸田純人 (育英大)	山縣 力 (日体大)	大塚 颯 (日体大)
63kg	20	三谷剛大 (育英大)	田南部魁星 (日体大)	藤澤汰陽 (国士館大)	宮崎 駆 (専 大)	米田祐太郎 (専 大)	田近 颯 (神奈川大)	新山瑞歩 (日 大)	鳥目裕太 (神奈川大)
67kg	16	五味虹登 (育英大)	澤田幸明 (拓 大)	山下丈翔 (東洋大)	村上史拓 (日体大)	遠藤勇馬 (明 大)	東川 翼 (大東大)	吉田叶也 (日体大)	河内良樹 (日体大)
72kg	31	高橋海大 (日体大)	小野健作 (日体大)	本名一晟 (育英大)	坂上拓瑠 (日体大)	山賀 秀 (専 大)	豊田峻真 (拓 大)	中村啓人 (国士館大)	本名帝心 (育英大)
77kg	13	友寄汰志 (日体大)	小柴伊織 (日体大)	千田淳貴 (日体大)	茂野吏玖 (国士館大)	森崎悠太郎 (東洋大)	鹿糠鉄斗 (育英大)	深谷海斗 (東洋大)	今野駿輔 (専 大)
82kg	9	大泉宗太郎 (国士館大)	小川 陸 (育英大)	合田悠悟 (東洋大)	出田 匠 (専 大)	石橋 将 (法 大)	---	---	---
87kg	7	磯江大成 (日体大)	吉澤 英 (育英大)	重松大翔 (大東大)	八木澤侃永 (神奈川大)	目黒航太 (国士館大)	矢崎 匠 (国士館大)	佐藤 宗 (日本ウェルネススポーツ大)	---
97kg	7	北脇 香 (早 大)	成塚騎士 (神奈川大)	中里優斗 (中 大)	竹田 廉 (東洋大)	栗城和弥 (日体大)	佐々木優太 (育英大)	西川大智 (青山学院大)	---
130kg	7	アブレイ・ソビット (山梨学院大)	大浦 響 (明 大)	岩澤 歩 (日体大)	永野颯大 (専 大)	對比地旭陽 (山梨学院大)	大房快聖 (日本ウェルネススポーツ大)	新井裕太 (国士館大)	---

【新人戦・男子フリースタイルA】(11月29日/「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位	5 位				
57kg	24	古瀬 稜 (専 大)	日比野晴斗 (神奈川大)	我満大記 (国士館大)	井出大晟 (日体大)	五木田琉 (日体大)	増田杜兼 (育英大)	小澤楽翔 (中 大)	島谷真和 (日 大)
61kg	29	深澤颯太 (山梨学院大)	小野正之助 (山梨学院大)	赤嶺明柳 (日体大)	高橋一輝 (日体大)	橋本武道 (育英大)	秋葉大和 (日 大)	由良琉二 (日 大)	戸田純人 (育英大)
65kg	28	富山悠真 (山梨学院大)	森田魁人 (山梨学院大)	太田匠海 (明 大)	白崎誠也 (国士館大)	池端珠理 (専 大)	河内良樹 (日体大)	米田祐太郎 (専 大)	宮崎 駆 (専 大)
70kg	36	鈴木大樹 (山梨学院大)	荻野海志 (山梨学院大)	澤田幸明 (拓 大)	本名帝心 (育英大)	長谷川丈一郎 (日 大)	中嶋 輝 (育英大)	東川 翼 (大東大)	岩切徳丸 (中 大)
74kg	19	小川統己 (東洋大)	有馬鉄太 (拓 大)	坂上拓瑠 (日体大)	保坂典樹 (国士館大)	佐藤照一 (国士館大)	中村啓人 (国士館大)	西村南蔵 (明 大)	(該当選手なし)
79kg	20	山路健心 (早 大)	水崎康太郎 (中 大)	神原弘渡 (日体大)	城所拓馬 (国士館大)	鹿糠鉄斗 (育英大)	今野駿輔 (専 大)	千田淳貴 (日体大)	奥山佳幸 (東洋大)
86kg	12	大泉宗太郎 (国士館大)	高橋凜太郎 (神奈川大)	磯濱広大 (日 大)	合田悠悟 (東洋大)	目黒航太 (国士館大)	石橋 将 (法 大)	八木澤侃永 (神奈川大)	(該当選手なし)
92kg	8	五十嵐文彌 (山梨学院大)	中里優斗 (中 大)	磯江大成 (日体大)	三井正信 (日 大)	成塚騎士 (神奈川大)	佐藤 宗 (日本ウェルネススポーツ大)	米田侑太 (国士館大)	(該当選手なし)
97kg	2	佐々木優太 (育英大)	栗城和弥 (日体大)	---	---	---	---	---	---
125kg	8	アブレイ・ソビット (山梨学院大)	山田康瑛 (山梨学院大)	永野颯大 (専 大)	岩澤 歩 (日体大)	對比地旭陽 (山梨学院大)	大房快聖 (日本ウェルネススポーツ大)	新井裕太 (国士館大)	(該当選手なし)

【新人戦・男子フリースタイルB】(11月29日／「数」は、エントリー数)

階級	数	優 勝	2 位	3 位
61kg	7	大塚誌郎 (立大)	吉澤 禪 (早大)	出原和弥 (東大)
70kg	8	匠 瑳 瞬 (慶大)	石塚充希 (東大)	有本龍豊 (東大) 高橋洋祐 (専大)
79kg	5	坂庭丈士 (東海大)	李 晨暉 (慶大)	濱田宏紀 (東大) 高松孔明 (防大)

【選手権・男子グレコローマン】(11月30日／「数」は、エントリー数。60kg級はエントリーなし)

階級	数	優 勝	2 位	3 位
55kg	5	庄 司 秀 (育英大)	栗田龍生 (東洋大)	齋藤成龍 (神奈川大) 馬渡 迅 (東洋大)
63kg	10	佐々木航 (拓大)	谷口虎徹 (早大)	伊藤凜太郎 (東洋大) 曾根敬次郎 (専大)
67kg	8	萩原大和 (拓大)	太田楓輝 (育英大)	山本晃聖 (神奈川大) 伊藤史門 (中大)
72kg	6	三多見明 (拓大)	喜多康介 (育英大)	今村大地 (日大) 野寺優真 (神奈川大)
77kg	4	小堀雄大 (東洋大)	高橋大和 (中大)	関海翔 (中大) 櫻庭翔真 (育英大)
82kg	2	央戸拓海 (日体大)	佐藤聖希 (青山学院大)	---
87kg	2	島田京介 (神奈川大)	藤原颯人 (大東大)	---
97kg	7	吉村海里 (国士館大)	山本純大 (拓大)	田中太陽 (神奈川大) 澤田雄斗 (山梨学院大)
130kg	3	宮内勇真 (神奈川大)	(空位)	笹岡龍馬 (中大) ---

【選手権・男子フリースタイル】(11月30日／「数」は、エントリー数。97kg級はエントリーなし)

階級	数	優 勝	2 位	3 位
57kg	8	塚岡達也 (山梨学院大)	中石皓大 (専大)	盛大希 (東洋大) 澤谷 孟 (国士館大)
61kg	19	島谷 侃 (早大)	小川颯太 (国士館大)	田下奏樹 (日大) 山根典哲 (拓大)
65kg	11	中村勇士 (日体大)	井勢珠維 (専大)	早川晃生 (日大) 土井璃音 (中大)
70kg	16	平岡大宙 (慶大)	藤山海斗 (専大)	関下光輝 (神奈川大) 神原 諒 (育英大)
74kg	5	青柳善の輔 (山梨学院大)	山崎然生 (明大)	田村拓斗 (明大) 小山田滉紀 (明大)
79kg	7	佐藤匡記 (山梨学院大)	後藤遼介 (大東大)	佐々木滉典 (神奈川大) (該当選手なし)
86kg	6	樋口徹心 (日体大)	窪田大羅 (中大)	林 秀悟 (日体大) 加藤光貴 (立大)
92kg	5	持永空弥 (国士館大)	大原和也 (育英大)	佐々木緯琉 (大東大) 山崎勇輝 (日大)
125kg	1	三橋柚汰 (日大)	---	---

デリシャスマイル杯東日本女子大学リーグ戦BIG8

期 日 2022年11月6日

場 所 東京・国学院高第一記念館

■育英大が3戦全勝で優勝

4大学が参加して行われ、57kg級世界チャンピオンの櫻井つぐみを擁する育英大が3試合をすべて3-0で勝ち、初出場初優勝を飾った。2位は法大。

大学名	日体大	育英大	法 大	神奈川大	勝敗	順位
日体大		●0-3	●1-2	●1-2	3 敗	4
育英大	○3-0		○3-0	○3-0	3 勝	1
法 大	○2-1	●0-3		○2-1	2勝1敗	2
神奈川大	○2-1	●0-3	●1-2		1勝2敗	3

【最優秀選手賞】櫻井つぐみ(育英大)、【優秀選手賞】木村彩夏(法大)、【日刊スポーツ賞(敢闘賞)】清岡もえ(育英大)

天皇杯全日本選手権

関連記事=カラー=3~5ページ

期日 2022年12月22日~25日

場所 東京・駒沢体育館

■須崎優衣が天皇杯を獲得、高校生・金沢孝羽が男子グレコローマンで優勝

【天皇杯(最優秀選手)】須崎優衣(女子50kg級=キッツ)

【優秀選手賞】▼女子 元木咲良(62kg級=育英大)、▼男子グレコローマン 文田健一郎(60kg級=ミキハウス)、

▼男子フリースタイル 乙黒拓斗(65kg級=自衛隊)

【男子フリースタイル】

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
57kg	16	樋口 黎 (ミキハウス)	新井陸人 (自衛隊)	榊 流斗 (山梨学院大)	西内悠人 (高知・高知南高)	長谷川敏裕 (三恵海運)	高橋侑希 (山梨学院大職)	山口叶汰 (神奈川大)	竹下雄登 (日体大)
61kg	16	小川航大 (自衛隊)	藤田 颯 (早大)	森田魁人 (山梨学院大)	山口太一 (早大)	小柳和也 (自衛隊)	金子功誠 (レスルウィン)	田南部魁星 (日体大)	深水小鉄 (東洋大)
65kg	16	乙黒拓斗 (自衛隊)	安楽龍馬 (nobitel)	荻野海志 (山梨学院大)	清岡幸太郎 (日体大)	宇藤憲峰 (近大)	上野裕次郎 (栃木県スポーツ協会)	森川海舟 (拓大)	堤 泰樹 (日体大)
70kg	16	青柳善の輔 (山梨学院大)	鈴木大樹 (山梨学院大)	小川統己 (東洋大)	山路太心 (中大)	大野恵太郎 (日体大)	内山椋太 (国士舘大)	計良涼介 (早大)	永松 麗 (周南公立大)
74kg	16	高谷大地 (自衛隊)	木下貴輪 (クリナップ)	志賀晃次郎 (警視庁福生警察署)	高橋海大 (日体大)	基山仁太郎 (イカイ)	碓屋亮太郎 (日大)	佐藤匡記 (山梨学院大)	神谷龍之介 (三重・いなべ総合学園高)
79kg	16	山崎弥十郎 (サイサン)	山倉孝介 (早大)	村山貴裕 (自衛隊)	阿部宏隆 (水戸市スポーツ少年団)	北村公平 (京都・京都八幡高教)	山路健心 (早大)	栃倉健人 (日大)	三木翔永 (法大)
86kg	16	石黒隼士 (自衛隊)	高橋夢大 (日体大)	松雪泰成 (レスターホールディングス)	五十嵐文彌 (山梨学院大)	白井勝太 (クインテット)	吉田隆起 (自衛隊)	奥井真生 (自衛隊)	重松大翔 (大東大)
92kg	14	高谷惣亮 (ALSOK)	吉田アラシ (日大)	山口 剛 (ワセダクラブ)	山中良一 (愛知・名古屋工高教)	竹内亮亘 (ALSOK)	阿部 光 (中大)	持永空弥 (国士舘大)	坂井孝太郎 (明大)
97kg	11	石黒峻士 (新日本プロレス職)	伊藤飛未来 (日体大)	山崎祥平 (早大)	二ノ宮寛斗 (不二精機)	濱田豊喜 (中大)	吉田ケイワン (三恵海運)	佐々木優太 (育英大)	品田陽平 (法大)
125kg	11	山本泰輝 (自衛隊)	藤田龍星 (日大)	大石 希 (天理大)	福井裕士 (天理大コーチ)	樋口卓弥 (東大阪市役所)	出頭 海 (中大)	伊藤 昌 (警視庁)	山本康稀 (日大クラブ)

【女子】

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
50kg	16	須崎優衣 (キッツ)	吉元玲美那 (至学館大)	伊藤 海 (早大)	櫻井はなの (育英大)	入江ななみ (ミキハウス)	森川晴凧 (愛知・至学館高)	笠井梨瑚 (専大)	田中ゆき (佐賀県スポーツ協会)
53kg	9	藤波朱理 (日体大)	奥野春菜 (自衛隊)	大野真子 (日体大)	志土地真優 (ジェイテクト)	原田 渚 (兵庫・芦屋学園高)	下野佑実 (育英大)	佐々木花恋 (日大)	木村彩夏 (法大)
55kg	15	清岡もえ (育英大)	片岡梨乃 (早大)	山下叶夢 (香川・高松北高)	五味音々 (育英大)	岩網瑠夏 (至学館大)	吉柴未彩輝 (大東大)	高山凜子 (至学館大)	丸末永海 (愛知・至学館高)
57kg	10	南條早映 (東新住建)	岩網さら (至学館大)	櫻井つぐみ (育英大)	田南部夢叶 (レスターホールディングス)	田村生吹 (日体大)	今井佑海 (日大)	永本聖奈 (至学館大)	水澗琉奈 (神奈川大)
59kg	15	金城梨紗子 (サントリービバレッジ)	坂野結衣 (警視庁)	花井瑛絵 (三重・朝明高教)	中西美結 (至学館大)	山口夏月 (至学館大)	池畑菜々 (兵庫・芦屋学園高)	徳原姫花 (自衛隊)	佐々木すず (東京・安部学院高)
62kg	11	元木咲良 (育英大)	尾崎野乃香 (慶大)	類家直美 (至学館大)	岩澤希羽 (秋田ノーザンハピネッツ)	内田奈佑 (至学館大)	川井友香子 (サントリービバレッジ)	稲垣柚香 (至学館大)	源平彩南 (アイシン)
65kg	10	吉武まひろ (日体大)	寺本 鈴 (山梨学院大)	榎本美鈴 (自衛隊)	北出桃子 (愛知・至学館高)	伊藤 渚 (三重・いなべ総合学園高)	平井かえで (育英大)	高田ここな (日体大)	松山 楓 (東京・日本工大駒場高)
68kg	9	石井亜海 (育英大)	森川美和 (ALSOK)	宮道りん (日体大)	今井海優 (自衛隊)	松雪成葉 (ジェイテクト)	伊崎 結 (日本文理大)	古市雅子 (自衛隊)	星野レイ (東京・日体大桜華高)
72kg	9	新倉すみれ (神奈川大)	小林奏音 (専大)	塩沢 和 (育英大)	和地美咲 (日体大)	進藤芽伊 (クリナップ)	坂本捺菜 (富岡クラブ)	大関優優美 (日大)	中村 旭 (東京・日体大桜華高)
76kg	8	茂呂綾乃 (東京・安部学院高)	山本和佳 (至学館大)	長島水城 (大東大)	(4位) 高巢菜々葉 (大阪・堺レパル高)	前田鈴華 (福岡大)	(6位) 鏡 優翔 (東洋大)	齋藤未来 (小田開発工業)	---

【男子グレコローマン】

階級	数	優勝	2位	3位	5位	7位	8位		
55kg	16	金澤孝羽 (東京・自由ヶ丘学園高)	尾西大河 (早大)	伊藤翔哉 (専大)	荒木瑞生 (九州共立大)	平田 宗 (中大)	岡本景虎 (専大)	齋藤成龍 (神奈川大)	二宮健斗 (日本文理大)
60kg	12	文田健一郎 (ミキハウス)	河名真偉斗 (自衛隊)	稲葉海人 (日体大大学院)	田野倉翔太 (東京・自由ヶ丘学園高教)	竹下航生 (拓大)	五味虹登 (育英大)	鈴木絢大 (レスターホールディングス)	森 靖仁 (日体大)
63kg	16	丸山千恵蔵 (日体大)	池田龍斗 (日体クラブ)	松本健新 (神奈川大)	萩原大和 (拓大)	藤波諒太郎 (自衛隊)	澤田幸明 (拓大)	吉永光輝 (近大)	小柴亮太 (佐賀中部農林事務所)
67kg	16	曾我部京太郎 (日体大)	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	矢部晴翔 (日体大)	西田衛人 (専大)	上垣勇二 (自衛隊)	堤 滋樹 (日体大)	北條良真 (自衛隊)	井ノ口崇之 (自衛隊)
72kg	13	堀江耐志 (自衛隊)	中田翔輝 (日体大)	小林大悟 (拓大)	鹿糠鉄斗 (育英大)	寺田靖也 (明大クラブ)	春日井湧雅 (日体大)	本名一晟 (育英大)	伊藤由信 (専大)
77kg	14	櫻庭功大 (自衛隊)	日下 尚 (日体大)	藤井達哉 (後藤回漕店)	前田明都 (レスターホールディングス)	屋比久翔平 (ALSOK)	角出直生 (石川・志賀高)	小堀雄大 (東洋大)	山田 脩 (日体大)
82kg	15	前田祐也 (鳥取県協会)	田中真男 (奈良・天理教校学園高教)	谷崎大造 (山梨学院大)	樋口徹心 (日体大)	澤田夢有人 (静岡クラブ)	島袋希理瑠 (山梨・韭崎工高)	玉岡颯斗 (早大)	窪田大羅 (中大)
87kg	11	角 雅人 (自衛隊)	阪部 創 (自衛隊)	松崎勇人 (宮崎・福島高教)	川村洋史 (自衛隊)	磯江大成 (日体大)	宮本海渡 (日体大)	塩川貫太 (長野県協会)	榎本喬弘 (関大)
97kg	12	奈良勇太 (警視庁)	天野雅之 (中大職)	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	中原 陸 (大東大)	吉村海里 (国士館大)	北脇 香 (早大)	山中 彬 (中大クラブ)	佐川 健 (神奈川大)
130kg	11	奥村総太 (拓大)	小畑詩音 (日体大)	西 大悟 (周南公立大)	河野隆太 (あづまフーズ)	山田康瑛 (山梨学院大)	山口直人 (山口県協会)	西村麻凜 (国士館大)	須恵勝貴 (大阪府警)

■金澤孝羽(東京・自由ヶ丘学園高)が男子グレコローマン最年少の全日本王者へ

男子グレコローマン55kg級で「17歳4ヶ月9日」の金澤孝羽(こはく=東京・自由ヶ丘学園高)が優勝。同スタイルで高校生選手が優勝するのは大会史上初。従来の記録(19歳0ヶ月22日)を約1年8ヶ月更新する最年少の全日本チャンピオンとなった。

各スタイルの年少チャンピオンは下記の通り。

【男子グレコローマン】

No.	選手名	所属	年齢	年	階級
1	金澤孝羽	東京・自由ヶ丘学園高	17歳4ヶ月9日	2022年	55kg級
2	日下 尚	日体大	19歳0ヶ月22日	2019年	72kg級
3	藤森安一	日体大	19歳9ヶ月0日	1975年	90kg級
4	宮内輝和	日大	19歳9ヶ月23日	1980年	100kg以上級
5	向井識起	自衛隊	19歳11ヶ月27日	2019年	82kg級

【男子フリースタイル】

No.	選手名	所属	年齢	年	階級
1	石嶋勇次	茨城・霞ヶ浦高	17歳1ヶ月7日	1989年	52kg級
2	松橋義行	青森・八戸電波工高	17歳9ヶ月10日	1970年	48kg級
3	田中章仁	専大	18歳9ヶ月14日	2001年	130kg級
4	乙黒圭祐	山梨学院大	19歳1ヶ月5日	2015年	61kg級
5	山本泰輝	拓大	19歳2ヶ月4日	2015年	125kg級

【女子】(現行の出場年齢のルール下での順位)

No.	選手名	所属	年齢	年	階級
1	石井亜海	東京・安部学院高	17歳0ヶ月10日	2019年	62kg級
2	藤波朱理	三重・いなべ総合学園高	17歳1ヶ月9日	2020年	53kg級
3	土性沙羅	愛知・至学館高	17歳2ヶ月4日	2011年	67kg級
4	鏡 優翔	JWA/東京・帝京高	17歳3ヶ月5日	2018年	72kg級
5	稲垣柚香	愛知・至学館高	17歳3ヶ月7日	2018年	59kg級

西日本学生秋季リーグ戦

期日 2022年12月10日～11日

場所 大阪・堺市金岡公園体育館

■周南公立大が3季連続優勝、通算21度目の栄冠

一部リーグの決勝は春季と同じ顔合わせとなり、周南公立大が近大を5-2で破って昨年秋季から3季連続優勝を達成。「徳山大」の時代から合わせて21度目の優勝を成し遂げた。予選からの全4試合の合計が「26勝2敗」という圧倒的優勝だった。

オープン参加の混成チームを含めて8チームで競った二部リーグは、春季一部最下位で降格した中京学院大が6戦全勝(注=混成チーム相手の勝敗は除かれるため6試合)で優勝。一部復帰を決めた。



▲決勝で4勝目をマークした周南公立大の小石原央義



▲3季連続で宙を舞った周南公立大・守田泰弘監督

◎一部リーグ

【Aグループ】

※カッコ内の数字は勝利数

大学名	周南公立大	立命館大	大体大	関大	勝敗	順位
周南公立大		○7-0	○7-0	○7-0	3勝	1
立命館大	●0-7		●3-4	○5-2	1勝2敗(8)	2
大体大	●0-7	○4-3		●3-4	1勝2敗(7)	3
関大	●0-7	●2-5	○4-3		1勝2敗(6)	4

【Bグループ】

大学名	近大	日本文理大	九州共立大	福岡大	勝敗	順位
近大		○5-2	○4-3	○5-2	3勝	1
日本文理大	●2-5		○4-3	○4-3	2勝1敗	2
九州共立大	●3-4	●3-4		○4-3	1勝2敗	3
福岡大	●2-5	●3-4	●3-4		3敗	4

【ファイナル】

《決勝》

周南公立大
○[5-2] ●近大

《3位決定戦》

日本文理大
○[5-2] ●立命館大

《5・6位決定戦》

大体大
○[4-3] ●九州共立大

《7・8位決定戦》

関大
○[5-2] ●福岡大

◎二部リーグ

※連合チーム(大阪公立大・神戸医療未来大)はオープン参加で、順位関係なし。カッコ内の数字は勝利数

大学名	中京学大	帝塚山大	天理大	同志社大	関学大	桃山学大	南九州大	連合チーム	勝敗	順位
中京学院大		○6-1	○4-3	○5-2	○6-1	○5-2	○7-0	○7-0	6勝	1
帝塚山大	●1-6		●3-4	○5-2	○5-2	○4-3	○7-0	○7-0	4勝2敗(25)	2
天理大	●3-4	○4-3		●3-4	○4-3	○5-2	○5-1	○6-0	4勝2敗(24)	3
同志社大	●2-5	●2-5	○4-3		○4-3	○4-3	○6-1	○6-1	4勝2敗(22)	4
関学大	●1-6	●2-5	●3-4	●3-4		●2-5	○3-2	○5-0	1勝5敗(14)	6
桃山学院大	●2-5	●3-4	●2-5	●3-4	○5-2		○5-2	○6-1	2勝4敗	5
南九州大	●0-7	●0-7	●1-5	●1-6	●2-3	●2-5		○3-1	6敗	7
連合チーム	●0-7	●0-7	●0-6	●1-6	●0-5	●1-6	●1-3		---	---

【八田杯=一部最優秀選手】義田省悟(周南公立大)、【松井杯=一部敢闘賞】早山光(近大)

【小田原杯=二部最優秀選手】武元良樹(中京学院大)、【井川杯=二部敢闘賞】松岡大誠(帝塚山大)

【岩野杯=年間最優秀学生賞】永松麗(周南公立大)、【ゴールデンホイッスル賞=年間最優秀学生審判】小河健司(九州共立大)

2022年 傘下連盟選出 年間最優秀選手

【日本社会人レスリング連盟】

成國大志 (MTX GOLDKIDS)

全日本社会人選手権 グレコローマン67kg級優勝
世界選手権 フリースタイル70kg級優勝

奥野春菜 (自衛隊)

全日本社会人選手権 女子55kg級優勝
U23世界選手権 女子53kg級優勝

【全日本学生レスリング連盟】

伊藤飛未来 (日体大)

全日本学生選手権 グレコローマン97kg級優勝
全日本学生選手権 フリースタイル97kg級優勝
全日本大学選手権 125kg級優勝

吉元玲美那 (至学館大)

全日本学生選手権 女子50kg級優勝

【全国高等学校体育連盟レスリング専門部】

西内悠人 (高知・高知南高)

インターハイ 60kg級優勝
国民体育大会 フリースタイル60kg級優勝
U20世界選手権 フリースタイル60kg級優勝

茂呂綾乃 (東京・安部学院高)

インターハイ 74kg級優勝
U20世界選手権 女子74kg級優勝

【全国少年少女レスリング連盟】

萩野貴大 (INABEレスリングアカデミー)

全国少年少女選手権 6年生60kg級優勝

柴田さくらこ (FIVE☆STAR)

全国少年少女選手権 女子6年生45kg級優勝

【全国中学生レスリング連盟】

辻田陽咲 (大阪・吹田市民教室)

全国中学生選手権 62kg級優勝

野口紗英 (北海道・帯広クラブ)

全国中学生選手権 女子58kg級優勝

【全日本女子レスリング連盟】

金城梨紗子 (サントリービバレッジソリューション)

全日本女子オープン選手権 59kg級優勝

【全日本マスターズレスリング連盟】

※該当者なし

【日本格闘競技連盟】

米倉大貴 (IGLOO)

世界グラップリング選手権 Gi62kg級優勝

平林るい (SKアカデミー)

世界グラップリング選手権 Gi53kg級優勝

2022年 ペアレント賞

※世界選手権メダリストの親で、レスリング経験者が対象 (前年までの受賞者は除く)

成國晶子

(成國大志選手 = 世界選手権・男子フリースタイル70kg級優勝 = の母)

元木康年

(元木咲良 = 世界選手権・女子59kg級銅メダル = の父)

鏡 師博

(鏡優翔 = 世界選手権・女子76kg級銅メダル = の父)

2022年 強化本部表彰

※世界選手権で初めてメダルを獲得した選手

樋口 黎

(世界選手権・男子フリースタイル61kg級優勝)

塩谷 優

(世界選手権・男子グレコローマン55kg級3位)

石井亜海

(世界選手権・女子68kg級2位)



▲傘下連盟選出 年間最優秀選手



▲ペアレント賞

シニア・アジア選手権

期日 2022年4月19日～24日

場所 モンゴル・ウランバートル

■女子は7階級で優勝、男子はフリースタイル2階級、グレコローマン1階級で優勝

女子は50kg級から65kg級までの7階級で優勝。50kg級の吉元玲美那(至学館大)、53kg級の藤波朱理(日体大)、57kg級の櫻井つぐみ(育英大)は前年の世界チャンピオンの實力を見せた(櫻井は55kg級での世界一)。他に銀メダル2個を取り、国別対抗得点は227点をマーク。2位のモンゴルに60点の大差をつけて優勝。

男子グレコローマンは55kg級の塩谷優(拓大)が3試合に勝ち、2年連続優勝を達成。5階級で銅メダルを獲得。男子フリースタイルは61kg級の樋口黎(ミキハウス)と70kg級の成國大志(MTX GOLDKIDS)が優勝し、4選手が銅メダルを取った。2階級優勝は2020年大会(乙黒拓斗、山田修太郎)に続く好成績。

【強化委員長】赤石光生(日本オリンピック委員会)、【強化副委員長】吉村祥子(エステティックTBC)、豊田雅俊(警視庁)

【男子グレコローマン・コーチ】笹本睦(日本オリンピック委員会)、清水博之(自衛隊)、【女子コーチ】藤波俊一(日体大女子コーチ)、栄希和(至学館大職)、【男子フリースタイル・コーチ】米満達弘(自衛隊)、前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ)

【ドクター】橋本立子(JISS)、【トレーナー】太田暁央(自衛隊)、梶尾安正(あみ鍼灸接骨院)=17日に出発

【帯同審判】沖山功(香川・香川中部養護学教)、本田原明(自衛隊)

【男子グレコローマン】(4月19～20日/12ヶ国86選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	準 決 勝	ファイナル	順位
55kg	塩谷 優 (拓大)	9	BYE	○6-5 Jeon, Hyeok-Jin (韓国)	○10-8 Ortikboev, Jasurbek (ウズベキスタン)	○TF2:58=13-2 Bekbolatov, Amangali (カザフスタン)	優勝
60kg	鈴木絢大 (レスターホールディングス)	8	○TF5:32=12-3 Tukhtaev, Firuz (ウズベキスタン)	⇒	●4-5 Mohsen Nejad, Mehdi Seifollah (イラン)	○TF5:34=11-0 Gyanender, Gyanender (インド)	3位
63kg	清水賢亮 (自衛隊)	9	BYE	●0-2 Mohammadi, Iman Hossein Khoon (イラン)			8位
67kg	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	9	BYE	○6-1 Satarov, Eldiar (キルギス)	●2-6 Ryu, Hansu (韓国)	○7-1 Badaghi Mofrad, Shahin Eidi (イラン)	3位
72kg	高橋昭五 (三恵海運)	8	●TF1:54=0-8 Amzeev, Abylaikhan (カザフスタン)	⇒	⇒	○TF4:33=11-3 Lee, Ji-Yeon (韓国)	3位
77kg	櫻庭功大 (自衛隊)	8	○TF1:55=9-0 Olonbayar, Suldkhuu (モンゴル)	⇒	●2-3 Yerezhepov, Maksat (カザフスタン)	○TF2:39=11-1 Sajan, Sajan (インド)	3位
82kg	岡嶋勇也 (警視庁)	10	BYE	○5-3 Asykeev, Kalidin (キルギス)	●TF1:41=0-9 Kalen, Dias (カザフスタン)	●1-5 Rasulov, Mukhammadkodir (ウズベキスタン)	5位
87kg	角 雅人 (自衛隊)	8	●3-5 Sunil, Kumar (インド)				7位
97kg	鶴田峻大 (自衛隊)	8	●TF2:08=0-10 Assakalov, Rustam (ウズベキスタン)	⇒	⇒	○6-6 Serikkan, Sanzhar (カザフスタン)	3位
130kg	園田 新 (ALSOK)	9	BYE	○7-1 Dorjkhand, Khuderbulga (モンゴル)	●TF2:04=0-8 Syzdykov, Alimkhan (カザフスタン)	●不戦敗=負傷 Kim, Roman (キルギス)	5位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]カザフスタン 190点、[2]イラン 176点、[3]キルギス 148点、[4]日本 134点、[5]ウズベキスタン 131点、[6]インド 113点、[7]韓国 108点、[8]モンゴル 77点

【女子】[1]日本 227点、[2]モンゴル 167点、[3]カザフスタン 142点、[4]インド 137点、[5]ウズベキスタン 107点、[6]キルギス 65点、[7]韓国 47点、[8]シンガポール、スリランカ 8点

【男子フリースタイル】[1]イラン 201点、[2]インド 152点、[3]カザフスタン 151点、[4]日本 140点、[5]モンゴル 115点、[6]キルギス 104点、[7]ウズベキスタン 100点、[8]韓国 79点

【女子】(4月21~22日/9ヶ国60選手)

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
50kg	吉元玲美那 (至学館大)	6	○TF0:55=10-0 Cheon, Miran (韓国)	○F1:18=4-0 Manisha, Manisha (インド)	BYE	○TF1:17=10-0 Immaeva, Jasmina (ウズベキスタン)	○F5:04=12-2 Tsogtochir, Namuuntsetseg (モンゴル)	優勝
53kg	藤波朱理 (日体大)	6	○TF3:23=10-0 Batkhuyag, Khulan (モンゴル)	○TF0:42=10-0 Shinde, Swati Sanjay (インド)	BYE	○TF2:14=10-0 Keunimyaeva, Aktenge (ウズベキスタン)	○TF1:17=11-0 Batkhuyag, Khulan (モンゴル)	優勝
57kg	櫻井つぐみ (育英大)	7	○TF2:10=10-0 Kim, Hyung-Joo (韓国)	○F1:50=7-0 Raimova, Nilufar (カザフスタン)	○5-0 Khurelkhuu, Bolortuya (モンゴル)	○TF4:57=12-2 Akhmedova, Shokhida (ウズベキスタン)	○F0:53=4-0 Anshu, Anshu (インド)	優勝
68kg	松雪成葉 (ジェイテクト)	7	○3-1 Hooda, Sonika (インド)	○TF4:11=10-0 Esbergenova, Azoda (ウズベキスタン)	○2-1 Enkhsaikhan, Delgermann (モンゴル)	●3-3 Bakbergenova, Madina (カザフスタン)	●0-4 Enkhsaikhan, Delgermann (モンゴル)	4位
76kg	鏡 優翔 (東洋大)	6	●3-7 Medet Kyzy, Aiperi (キルギス)	BYE	○TF3:34=11-0 Kumari, Sudesh (インド)	○TF4:57=11-0 Yerkebayeva, Gulmaral (カザフスタン)	●3-5 Medet Kyzy, Aiperi (キルギス)	2位

階級	選手名	数	リーグ戦1回戦	リーグ戦2回戦	リーグ戦3回戦	リーグ戦4回戦	リーグ戦5回戦	順位
55kg	今井佑海 (日大)	5	○TF1:18=10-0 Shokeen, Sushma (インド)	○12-3 Ganbaatar, Otgonjargal (モンゴル)	BYE	○TF1:55=10-0 Shagaeva, Altyn (カザフスタン)	○F2:12=10-0 Jienbaeva, Sarbinaz (ウズベキスタン)	優勝
59kg	岩網さら (至学館大)	5	BYE	○TF3:37=10-0 Sarita, Sarita (インド)	○4-2 Baatarjav, Shoovdor (モンゴル)	○F2:33=10-0 Aimbetova, Dilfuz (ウズベキスタン)	○10-6 Kayumova, Diana (カザフスタン)	優勝
65kg	森川美和 (ALSOK)	5	○F1:55=3-0 Jumabaeva, Ariukhan (ウズベキスタン)	○TF4:20=10-0 Radhika, Radhika (インド)	○7-3 Purevsuren, Ulziisaikhan (モンゴル)	○TF10-0 Aben, Dariga (カザフスタン)	BYE	優勝
72kg	新倉すみれ (神奈川大)	5	○TF2:08=12-1 Nikki, Nikki (インド)	○6-6 Enkhamar, Davaansan (モンゴル)	BYE	●4-4 Bakbergenova, Zhamila (カザフスタン)	○F4:08=10-0 Svetlana OKNAZAROVA (ウズベキスタン)	2位

階級	選手名	数	1回戦	準決勝	決勝	順位
62kg	尾崎野乃香 (慶大)	8	○TF0:27=10-0 Lee, Han Bit(韓国)	○TF0:40=10-0 Manisha, Manisha(インド)	○負傷棄権、4:20=9-1 Tynybekova, Aisululu A (キルギス)	優勝

【男子フリースタイル】(4月23~24日/16ヶ国104選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
57kg	新井陸人 (自衛隊)	11	○不戦勝 A A Almohaini, Ali (パレスチナ)	●TF4:24=4-15 Ravi, Kumar (インド)	⇒	○9-8 Zandanbud, Zanabazar (モンゴル)	3位
61kg	樋口 黎 (ミキハウス)	13	○TF0:25=10-0 A A Almohaini, Ali (クウェート)	○TF1:19=10-0 Kadyan, Mangal (インド)	○TF4:49=14-4 Zholdosbekov, Ulukbek (キルギス)	○TF0:46=10-0 Hazratgholi, Zadeh Darioush(イラン)	優勝
65kg	山口海輝 (日体大助手)	11	BYE	●0-9 Amouzadkhalili, Rahman Mousa(イラン)	○F4:41=8-0 Ullah, Inayat (パキスタン)	○8-1 Tseveensuren, Tsogbakrakh (モンゴル)	3位
70kg	成國大志 (MTX GOLDKIDS)	10	BYE	○6-2 Yeganehjafari, Mohammed Mehdi(イラン)	○11-5 Syrbaz, Talgat (カザフスタン)	○4-3 Akmataliev, Ernaza (キルギス)	優勝
74kg	高谷大地 (自衛隊)	12	○F0:26=4-0 Abdulkareem, Mohamed (クウェート)	●5-7 Emamichoughuei, Younes Aliakbar(イラン)	⇒	○TF4:37=10-0 Bat-Erdene, Byambadorj (モンゴル)	3位
79kg	高橋夢大 (日体大)	11	○TF3:23=11-1 Bozorov, Shurat (タジキスタン)	○8-1 Zakirov, Zhiger (カザフスタン)	●0-3 Savadkouhi, Ali Bakhtiar (イラン)	○TF4:42=12-1 Enkhubayar, Byambadorj (モンゴル)	3位
86kg	白井勝太 (クイントゥット)	11	○6-0 Mendbileg, Temuujin (モンゴル)	●TF2:20=1-12 Kim, Gwan-Uk (韓国)			7位
92kg	大津拓馬 (ALSOK)	8	○F5:46=5-0 Kim, Jin-Myeong (韓国)	⇒	●TF3:23=0-10 Firouzpourbandpei, Amirhossein Biglar(イラン)	●F5:34=12-10 Davlumbaev, Adilet (カザフスタン)	5位
97kg	石黒峻士 (新日本プロレス職)	8	●0-5 Kadian, Satyawar (インド)				8位
125kg	山本泰輝 (自衛隊)	9	BYE	●1-5 Enkhtuvshin, Batmagnai (モンゴル)			8位

U17アジア選手権

期日 2022年6月19日～22日

場所 キルギス・ビシュケク

■安藤慎悟(大阪・興國高)が優勝、女子はインドの猛威の前に優勝なし

男子フリースタイル71kg級で安藤慎悟(大阪・興國高)が3試合に勝ち、国際大会初出場で優勝。48kg級の赤木烈王(兵庫・猪名川高)が銀メダルを取り、2選手が銅メダル。国別対抗得点は122点で5位。前回(2019年)の「金1・国別対抗得点6位」を上回った。男子グレコローマンは森下大輔(和歌山・和歌山北高)が銅メダルを獲得。国別対抗得点は6位だった。

女子はインドが8階級を制する猛威を振り、日本は2003年に始まったこの大会で初めて優勝なしに終わった。40kg級の江坂萌那(愛知・刈谷クラブ)、49kg級の升田夏実(京都・海洋高)、57kg級の太田早也香(埼玉・埼玉栄高)、69kg級の小原春佳(茨城・鹿島学園高)が銀メダルを獲得。他に2選手が銅メダルを獲得。国別対抗得点ではインドに続いて2位だった。

【チームリーダー】森下浩(和歌山・和歌山北高教)、【コーチ】▼男子フリースタイル 小柴健二(佐賀・鳥栖工高教)、長尾武士士(大阪・興國高教)、▼男子グレコローマン 平井満生(山梨・甲府城西高教)、梅野貴裕(愛媛・八幡浜工高教)、▼女子 船越光子(栃木・下野サンダーキッズ)
【トレーナー】濱田濤(ハンズコーポレーション)

【男子グレコローマン】(6月19～20日/11ヶ国83選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
51kg	森下大輔 (和歌山・和歌山北高)	9	BYE	○TF1:05=8-0 Seytiyev, Maksat (トルクメニスタン)	●TF1:41=0-9 Bekimov, Rauan (カザフスタン)	○4-3 Yuldashev, Sardorbek (ウズベキスタン)	3位
55kg	稲岡心空 (富山・高岡向陵高)	9	BYE	●TF0:58=0-8 Bekimov, Nariman (カザフスタン)	⇒	●TF1:55=0-9 Abdulakhodzhaev, Abdulakhadkhodzha(キルギス)	5位
60kg	八隅士和 (東京・自由ヶ丘学園高)	10	BYE	●2-4 Mirzaliev, Zhantoro (キルギス)	⇒	●F0:33=0-4 Ashrapov, Yussuf (カザフスタン)	5位
65kg	坂上翔琉 (群馬・館林高)	10	●TF2:18=0-9 Abduloev, Sunat (タジキスタン)	●TF3:21=2-12 Kakabayevm Kakabay (トルクメニスタン)			10位
80kg	渡邊虎汰郎 (新潟・八海高)	8	●TF0:59=0-8 Korganov, Beibit (カザフスタン)				7位
92kg	近藤大朗 (愛知・名古屋高)	8	●TF1:19=0-9 Rustamov, Sardorbek (ウズベキスタン)				8位
110kg	中沢遥貴 (山梨・甲府城西高)	8	●0-7 Kim, Seyeon (韓国)				7位

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ3回戦	予選リーグ3回戦	順位
45kg	岸田大雅 (山口・豊浦高)	7	●0-7 Ahmadi Balootaki, Payam Farzad (イラン)	●0-6 Ruziokhunov, Shakhzod (ウズベキスタン)	○TF1:16=8-0 Han, Ujin (韓国)	5位
48kg	坪田諭依 (滋賀・八幡工高)	7	●TF1:56=0-9 Kholmurzaev, Sardor (ウズベキスタン)	●TF0:52=2-11 Zhuma, Arsen (カザフスタン)	●3-6 Beishenkulov, Bekbolsun Kerimbokevich (キルギス)	6位
71kg	高橋侑臣 (高知・高知南高)	7	●0-7 Vahobov, Amirshoh (ウズベキスタン)	BYE	●4-7 Moradi, Mohammad Safarli (イラン)	7位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]キルギス 182点、[2]イラン 174点、[3]カザフスタン 170点、[4]ウズベキスタン 133点、[5]インド 121点、[6]韓国 94点、[7]日本 86点、[8]タジキスタン 57点

【女子】[1]インド 235点、[2]日本 143点、[3]モンゴル 138点、[4]キルギス 136点、[5]ウズベキスタン 135点、[6]カザフスタン 116点、[7]韓国 34点、[8]バングラデシュ 6点

【男子フリースタイル】[1]インド 188点、[2]カザフスタン 150点、[3]ウズベキスタン 145点、[4]イラン 126点、[5]日本 122点、[6]キルギス 107点、[7]モンゴル 85点、[8]トルクメニスタン 69点

【女子】(6月20~21日/8ヶ国64選手)

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
40kg	江坂萌那 (愛知・刈谷クラブ)	6	BYE	○F2:18=6-2 Abdunazarova, Gulasal (ウズベキスタン)	○8-2 Abdykadyrova, Ainaz Ulanbeknova(キルギス)	○TF10-0 Tyundeinova, Alua (カザフスタン)	●F0:58=0-4 Muskan, Muskan (インド)	2位
46kg	川村百花 (三重・ 四日市四郷高)	6	●0-6 Shruti, Shruti (インド)	BYE	○TF2:27=11-0 Murabay, Aizhan (カザフスタン)	●F2:34=1-4 Chinzorig, Monin (モンゴル)	○F2:58=4-0 Abdykadyrova, Dilnaz Ulanbekovna(キルギス)	3位
49kg	升田夏実 (京都・海洋高)	7	BYE	○TF0:34=10-0 Abylova, Aiyngul (カザフスタン)	○TF1:17=10-0 Gerel, Soyolmaa (モンゴル)	○6-3 Djebaeva, Sandugash (ウズベキスタン)	●TF2:27=0-10 Shinde, Ahilya Shatrghan(インド)	2位
53kg	西岡 吟 (京都・海洋高)	6	○TF3:21=13-1 Stratan, Anna (カザフスタン)	BYE	●TF2:18=0-10 Reena, Reena (インド)	●TF1:16=0-10 Byambasuren, Khaliun (モンゴル)	○9-6 Nurudinova, Aidai Talaibekovna(キルギス)	3位
61kg	諸星菜夏 (埼玉・埼玉栄高)	6	BYE	○10-8 Lkhagvasuren, Erdenebolor (モンゴル)	●TF3:12=11-0 Esenbaeva, UlmekenA (ウズベキスタン)	●F0:28=0-4 Savita, Savita (インド)	●TF1:58=2-12 Nurlankyzy, Zharkynai (キルギス)	4位
65kg	東 佐和 (福岡・三井高)	7	○11-4 Erdeneochir, Odgerel (モンゴル)	○F2:15=4-2 Maksot, Meiramgul (カザフスタン)	●5-8 Sultonova, Sevinch (ウズベキスタン)	●F1:46=0-3 Tastanbekova, Gulnura (キルギス)	●7-8 Sultonova, Sevinch (ウズベキスタン)	4位
69kg	小原春佳 (茨城・鹿島学園高)	6	BYE	○4-0 Sharshenbaevsa, Kaiyrkul(キルギス)	○TF3:22=12-2 Amirshheyeva, Akerke (カザフスタン)	○4-4 Mansi, Dhadana (インド)	●9-17 Erdenebat, Odzaya (モンゴル)	2位
73kg	石田真子 (奈良県協会)	7	●F0:19=2-2 Yertosik, Alina (カザフスタン)	●F3:07=6-5 Mologaziev, Linara (キルギス)	●F1:07=0-7 Nominerdene, Bayarjargl (モンゴル)			6位

階級	選手名	数	1回戦	準決勝	決勝	順位
57kg	太田早也香 (埼玉・埼玉栄高)	8	○7-0 Medet Kyzy, Aitolkun (キルギス)	○F2:44=4-0 Min, Yeojlin (韓国)	●0-5 Shiksha, Shiksha (インド)	2位

【男子フリースタイル】(6月21~22日/12ヶ国91選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
45kg	重光啓達 (和歌山・和歌山工高)	8	●9-11 Ashyrgulyev, Azymberti (トルクメニスタン)				7位
51kg	貴船武人 (東京・ 自由ヶ丘学園高)	8	●TF3:35=0-10 Kobilov, Abbosbek (ウズベキスタン)				7位
55kg	伊藤洋行 (秋田・秋田商高)	10	○TF1:18=10-0 Almarafi, Suhaib Ramzi(ヨルダン)	●0-4 Patil, Vaibhav Narayan (インド)	⇒	●0-7 Usmonov, Husanboy (ウズベキスタン)	5位
60kg	小岩皆人 (千葉・日体大柏高)	12	○TF1:26=10-0 Hallyev, Yunusmuhammet (トルクメニスタン)	○TF0:53=10-0 Altangerel, Ankh Erdene (モンゴル)	●TF4:00=0-11 Sharip Uulu, Bilol (キルギス)	○5-4 Kaliyev, Akarys (カザフスタン)	3位
65kg	瀧澤勇仁 (神奈川・慶應高)	10	BYE	○4-2 Kim, Yuyoung (韓国)	●4-4 Rahimov, Akobir (ウズベキスタン)	○8-3 Munkhbat, Toliu (モンゴル)	3位
71kg	安藤慎悟 (大阪・興國高)	9	BYE	○8-4 Bakhytzhann, Bekarys (カザフスタン)	○5-2 Shafiei, Younes Mohsen(イラン)	○4-2 Narender, Narender (インド)	優勝
80kg	岡澤ナツラ (神奈川・慶應高)	10	●5-12 Yuldoshev, Abbosjon (ウズベキスタン)				6位
92kg	南木元起 (佐賀・鳥栖工高)	9	●0-6 Jaglan, Sahil (インド)				8位
110kg	岩崎和志 (神奈川・磯子工高)	8	●F1:44=0-7 Lee, Jaehyuk (韓国)				8位

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
48kg	赤木烈王 (兵庫・猪名川高)	7	○TF1:03=11-0 Teymorizad, Amirreza Ali (イラン)	●0-6 Achapale, Shubham Hari (インド)	○TF2:14=14-4 Darkhanbat, Munkhdul (モンゴル)	○F0:56=8-0 Rakhmonov, Aziz (ウズベキスタン)	●0-2 Achapale, Shubham Hari (インド)	2位

U20アジア選手権

期日 2022年7月5日～10日

場所 バーレーン・マナマ

■女子は6階級で優勝、躍進インドを退け3大会連続で団体優勝

女子は6階級で優勝し、前回(2019年)の4階級優勝を上回った。他に「銀1」を取った。国別対抗得点では202点をマーク。躍進著しいインドは「金3・銀4・銅3」と全階級でメダルを取ったが得点は200点で、僅差で日本が3大会連続10回目の優勝を遂げた。

男子フリースタイルは65kg級の細川周(京都・丹後緑風高)と79kg級の高原崇陽(専大)が銀メダルを取り、2選手が銅メダル。男子グレコローマンは2選手が銅メダルを手にした。

【チームリーダー】馬淵賢司(中京学院大監督)

【コーチ】▼男子フリースタイル 前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ)、米満達弘(自衛隊)、

▼男子グレコローマン 藤村義(自衛隊)、前田翔吾=フリースタイルと兼任、

▼女子 金浜良(サントリービバレッジソリューション)、正田絢子(京都・丹後緑風高教)

【帯同審判】若佐篤実(福山通運)、浦田享(富山・藤園南幼稚園)、小塚英晃(愛知・稲沢東高教)

【男子グレコローマン】(7月5～6日/12ヶ国85選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
55kg	山際航平 (日体大)	9	BYE	●TF5:02=2-10 Kamaliyev, Yerbol (カザフスタン)			7位
60kg	森 靖仁 (日体大)	9	BYE	●TF2:26=0-10 Mohsen Nejad, Emad Reza Seifollah(イラン)	⇒	●TF1:57=0-10 Utpekaliyev, Doszhan (カザフスタン)	5位
63kg	澤田幸明 (拓大)	8	●4-7 Beishekeev, Razzak (キルギス)	⇒	⇒	○6-0 Anil, Anil (インド)	3位
67kg	小川琉生 (日体大)	10	●TF0:48=0-8 Abdinazarov, Ilyosjon (ウズベキスタン)				9位
72kg	菊田 創 (埼玉・埼玉栄高)	9	BYE	●1-4 Mars Uulu, Erlan (キルギス)	⇒	○TF2:54=10-0 Oh, Minseo (韓国)	3位
82kg	掛川零恩 (山口・豊浦高)	9	BYE	○TF1:32=9-0 Kaabi, Mansour Abdu (サウジアラビア)	●TF3:25=2-13 Mohamadipiani, Alireza Azizkhoon(イラン)	●TF4:32=3-11 Dahiya, Rohit (インド)	5位
87kg	稲本喬弘 (関大)	8	●TF1:34=0-10 Abdubannobov, Azamatjon(ウズベキスタン)	⇒	⇒	●TF0:46=0-8 Yun, Donghyun (韓国)	5位
97kg	北脇 香 (早大)	9	BYE	●2-3 Kim, Joowan (韓国)			9位

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	順位
77kg	茂野吏玖 (国士館大)	7	●TF6:00=1-9 Moldogaraev, Abdybakir (キルギス)	●TF2:05=4-12 Sachin, Sachin (インド)	●TF1:41=0-9 Kavousi Ghafi, Masoud Ali Akbar(イラン)	6位
130kg	宮内勇真 (神奈川大)	7	●F3:22=1-4 Park, Junho (韓国)	●1-1 Kydyrbay, Nurtaz (カザフスタン)	●F0:11=0-4 Al Okbi, Mutandher Ahmed Salman(イラク)	6位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 225点、[2]カザフスタン 175点、[3]キルギス 155点、[4]ウズベキスタン 137点、[5]インド 98点、
[6]日本 94点、[7]韓国 89点、[8]台湾 32点

【女子】[1]日本 202点、[2]インド 200点、[3]ウズベキスタン 145点、[4]カザフスタン 143点、[5]モンゴル 60点、[6]キルギス 59点、
[7]韓国 39点、[8]台湾 33点

【男子フリースタイル】[1]イラン 228点、[2]インド 185点、[3]カザフスタン 148点、[4]日本 123点、[5]ウズベキスタン 114点、
[6]キルギス 85点、[7]モンゴル 68点、[8]韓国 65点

【女子】(7月7~8日/8ヶ国57選手)

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	坂本由宇 (神奈川大)	7	○TF4:17=10-0 Apekova, Kamila (カザフスタン)	BYE	○F2:37=6-0 Tolipbekova, Mushtariy (ウズベキスタン)	○TF2:11=10-0 Enkhbat, Tsogtjagal (モンゴル)	○TF3:55=12-1 Sweety, Sweety (インド)	優勝
55kg	大野真子 (日体大)	6	BYE	○F1:03=4-0 Kadyrbek Kyzy, Aruuke (キルギス)	○TF3:34=10-0 Shagaeva, Altyn (カザフスタン)	○TF1:17=10-0 Kurbanbaeva, Aysanem (ウズベキスタン)	○F5:13=10-4 Reena, Reena (インド)	優勝
57kg	水潤琉奈 (神奈川大)	6	BYE	●8-10 Sito, Sito (インド)	○3-1 Batbold, Khishigsuren (モンゴル)	●1-7 Bayanova, Zeinep (カザフスタン)	●4-10 Sito, Sito (インド)	4位
65kg	伊藤 渚 (三重・いなべ総合学園高)	6	○F4:02=10-2 Sazanova, Dilnaz (キルギス)	BYE	○6-0 Altansukh, Davaajargal (モンゴル)	○12-6 Aitmuratova, Gulmira (ウズベキスタン)	●0-9 Priyanka, Priyanka (インド)	2位

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	リーグ4回戦	リーグ5回戦	順位
53kg	服部里桜 (法大)	5	●F2:25=0-6 Enkhbold, Buman Ayush (モンゴル)	●TF2:12=10-0 Antim (インド)	●1-3 Omirbek, Shugyla (カザフスタン)	BYE	●2-7 Matnazarova, Dilshoda (ウズベキスタン)	5位
59kg	中村成実 (法大)	4	○6-0 Abitova, Diyora (ウズベキスタン)	○8-1 Aman, Madina (カザフスタン)	●2-4 Malik, Tannu (インド)			優勝
68kg	小林久美 (福岡大)	5	●F3:53=10-4 Sabyrzhanova, Zhibekzhan (カザフスタン)	●F0:25=0-4 Arju (インド)	BYE	●TF2:43=2-12 Nurtaeva, Nurzat (キルギス)	●TF0:52=0-10 Esenbaeva, Firuza (ウズベキスタン)	5位
72kg	藤倉優花 (育英大)	5	○TF0:34=10-0 Cho, Jeonga (韓国)	○11-2 Kadamova, Mardona (ウズベキスタン)	○F1:52=4-1 Panssovich, Anastasia (カザフスタン)	○3-3 Bipasha (インド)	BYE	優勝
76kg	山本和佳 (至学館大)	5	○TF3:32=10-0 Toreniyazova, Valentina (ウズベキスタン)	○3-2 Priya (インド)	○TF4:09=13-2 Yertosik, Alina (カザフスタン)	BYE	○6-0 Hung, Ping Tsen (台湾)	優勝

階級	選手名	数	1回戦	準決勝	決勝	順位
62kg	池畑菜々 (兵庫・芦屋学園高)	8	○F1:50=10-0 Boldbaatar, Khorolgarav (モンゴル)	○3-1 Sarika, Sarika (インド)	○TF1:54=10-0 Dubek, Tynys (カザフスタン)	優勝

【男子フリースタイル】(7月9~10日/12ヶ国84選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
57kg	山口太一 (早大)	9	BYE	○12-4 Khudayberganov, Sarvarbek(ウズベキスタン)	●TF5:01=0-10 Bazarbaev, Mery (カザフスタン)	●TF4:28=0-10 Aman, Aman (インド)	5位
61kg	佐藤大夢 (中大)	8	●2-6 Sakbaev, Aden (キルギス)				7位
65kg	細川 周 (京都・丹後緑風高)	9	BYE	○7-1 Ryskulbekov, Valikhan (キルギス)	○7-4 Jalolov, Umidjon (ウズベキスタン)	●0-7 Sujeet, Sujeet (インド)	2位
70kg	鈴木大樹 (山梨学院大)	9	●F6:00=0-5 Yadav, Mulaym (インド)	○TF0:39=10-0 Jeon, Jin Su (韓国)	⇒	○TF2:44=15-4 Kerimbekov, Kanat (キルギス)	3位
74kg	碓屋亮太郎 (日大)	10	○5-0 Bakytbekov, Islam (キルギス)	●2-8 Elahi, Erfan Mohammad (イラン)	⇒	○TF1:21=10-0 Sagatov, Dias (カザフスタン)	3位
79kg	高原崇陽 (専大)	8	○F4:59=6-2 Karimov, Asadbek (ウズベキスタン)	○F4:06=2-4 Deepak, Deepak (インド)	⇒	●1-4 Yari, Sobhan Hooshang (イラン)	2位
86kg	権田 龍 (周南公立大)	9	●4-10 Al Jamie, Mustafa Salah Majeed(イラク)				8位
92kg	菊地一瑛 (埼玉・埼玉栄高)	8	●TF2:17=0-10 Azimi, Mohammad Mobin Gholamali(イラン)	⇒	⇒	●F4:19=1-12 Akash, Akash (インド)	5位

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	順位
97kg	佐々木優太 (育英大)	7	●0-3 Park, Joobin (韓国)	●0-9 Mussikhanov, Zelimkhan (カザフスタン)	●3-5 Yuldashev, Bekzodjon (ウズベキスタン)	6位
125kg	品田陽平 (法大)	7	●TF3:18=2-12 Gaikwad, Mahendra Babasaheb (インド)	●F5:29=2-4 Bazarbaev, Aynazar (ウズベキスタン)	○7-5 Jo, Jong Oh (韓国)	5位

U15アジア選手権

期日 2022年7月2日～4日

場所 バーレーン・マナマ

■女子は3選手が優勝、男子は古澤大和(大阪・大体大浪商中)が唯一の金メダル

【コーチ】▼男子フリースタイル 前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ=U20兼任)、伊東克佳(東京・グローリア)

▼女子 坂本涼子(兵庫・芦屋学園監督)、【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、

【帯同審判】若佐篤実(福山通運)、浦田享(富山・藤園南幼稚園)、小塚英晃(愛知・稲沢東高教)

【女子】(7月3日/6ヶ国46選手)

階級	選手名	数	リーグ1回戦	リーグ2回戦	リーグ3回戦	リーグ4回戦	リーグ5回戦	順位
33kg	中西 杏 (三重・桑名クラブ)	4	○F0:44=6-0 Kvernadze, Arseniya (カザフスタン)	●0-8 Asangazieva, Aidemi (キルギス)	●F2:43=2-4 Tanisha (インド)			3位
36kg	内田菜楓 (京都・舞鶴クラブ)	4	○F1:19=10-2 Maltseva, Ulyana (カザフスタン)	○6-2 Lavhate, Shravani Mahadev(インド)	○TF0:29=10-0 Duishenkulova, Aiana (キルギス)			優勝
39kg	小原心花 (神奈川・FIRE BOYS)	4	○8-1 Burkutbayeva, Anel (カザフスタン)	●6-6 Bakytbekova, Aigerim (キルギス)	●F3:35=0-8 Dipanshi (インド)			3位
42kg	勝目結羽 (神奈川・ NEXUS YOKOSUKA)	5	○TF1:48=12-0 Monika (インド)	○TF0:46=10-0 Usmanova, Madkhiya (カザフスタン)	○TF0:36=10-0 Kalidinova, Azema (キルギス)	BYE	○TF0:31=12-2 Bayarmagnai, Munktsetseg (モンゴル)	優勝
46kg	小塚菜々 (三重・ INABEアカデミー)	5	●4-6 Kumari, Ekta (インド)	○F1:11=10-0 Ganbat, Sarnai (モンゴル)	○TF1:42=10-0 Karabalaeva, Elmira (キルギス)	○TF2:00=12-0 Akhmetzhan, Meiramgul (カザフスタン)	BYE	2位
50kg	下田結月 (高知・高知クラブ)	5	○TF3:17=11-0 Zhandyrova, Dilyara (カザフスタン)	●0-8 Rajnita (インド)	○負傷棄権3:57=2-2 Boldbaatar, Ariunzul (モンゴル)	BYE	○11-6 Shumkarova, Aziza (キルギス)	2位
54kg	木下 凜 (神奈川・ NEXUS YOKOSUKA)	5	○TF2:24=11-0 Bakytbek, Aidana (カザフスタン)	BYE	●6-11 Uurtuya, Myagmarbayar (モンゴル)	○TF1:25=10-0 Ishakat, Maya Mohammad Issa(ヨルダン)	●8-10 Neha (インド)	3位
58kg	野口紗英 (北海道・帯広クラブ)	5	○TF0:53=10-0 Nagar, Ronak (インド)	○TF0:44=10-0 Qutashat, Maya Abdullah Majed(ヨルダン)	○TF0:40=10-0 Zaryp, Aurzhan (カザフスタン)	○TF1:46=10-0 Asamalikova, Aiana (キルギス)	BYE	優勝
62kg	小柴ゆり (佐賀・鳥栖クラブ)	5	○2-2 Urjin, Munkhchimeg (モンゴル)	●4-4 Zhaparov, Asel (キルギス)	○TF0:23=10-0 Yerbolat, Shugyla (カザフスタン)	BYE	○不戦勝 Pulkit (インド)	3位
66kg	本多結里菜 (東京・フィギュアフォー)	4	○F1:23=10-0 Bakytova, Elina (キルギス)	○F0:24=4-0 Nugimanova, Akerke (カザフスタン)	●F2:36=6-5 Kajal (インド)			2位

【男子フリースタイル】(7月4日/11ヶ国69選手。57・85kg級は派遣なし)

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ3回戦	準決勝	ファイナル	順位
38kg	前田悠樹 (東京・グローリア)	7	○F0:24=6-0 Salman, Saood Ebrahim (バーレーン)	○TF0:40=10-0 Bekhat, Anartulga (モンゴル)	○F3:42=6-3 Kaiyrbekov, Sadyr (キルギス)	○14-12 Alizadeh, Amirabbas Zolfali(イラン)	●TF3:31=0-11 Turdaly, Nurmukhamed (カザフスタン)	2位
44kg	野崎生穂 (兵庫・ 一心館神戸高塚)	7	●1-5 Ishwar (インド)	○TF3:15=10-0 Amgalan, Munkhtugs (モンゴル)	○TF0:40=10-0 Almutawa, Aseel Khaled(バーレーン)	●0-7 Mehralizadeh, Arian (イラン)	●F3:23=8-8 Abdraimov, Markel (キルギス)	4位
48kg	山本情輔 (和歌山・新宮ジュニア)	7	BYE	●TF3:29=2-13 Tudubekov, Elbii (キルギス)	●TF4:00=0-11 Arian, Hossein Ali (イラン)			7位
52kg	北村春斗 (兵庫・猪名川クラブ)	6	BYE	○TF3:23=15-2 Duisen, Dastan (カザフスタン)	●1-4 Asan Uulu, Omurbek (キルギス)	●TF2:13=0-10 Saleem (インド)	○5-1 Koshki, Abolfazl Noordaldin(イラン)	3位
62kg	伊藤海里 (佐賀・鳥栖工高)	7	○TF0:28=10-0 Al Waz, Sajjad Abbas Kadhim(イラク)	●5-10 Kadam, Tanisq Pravin (インド)	○13-11 Nurdinov, Nursadyk (キルギス)	●1-2 Kavoosi, Mahan Yazdan(イラン)	○5-0 Bakhytzhon, Zhanarys (カザフスタン)	3位
68kg	田中 陸 (東京・ WRESTLE-WIN)	7	●2-8 Afshar, Reza Aliakbar (イラン)	●1-9 Ruhil, Nishant (インド)	○TF2:04=10-0 Gantulga, Ankhbayar (モンゴル)			5位
75kg	矢野安章 (愛媛・今エクラブ)	6	BYE	●TF2:21=0-11 Rahimghayazi, Amirmohammad Reza(イラン)	●TF0:28=0-10 Enkhat, Byambadorj (モンゴル)			6位

階級	選手名	数	1回戦	準決勝	決勝	順位
41kg	古澤大和 (大阪・ 大体大浪商中)	8	○TF1:12=10-0 Uuganbayar, Buyankhishig (モンゴル)	○9-2 Mohammadi Moghadam, Amir Hossein(イラン)	○TF1:08=10-0 Ashimzhanov, Nurzhan (カザフスタン)	優勝

《国別対抗得点》

【女子】[1]インド 210点、[2]日本 195点、[3]キルギス 149点、[4]カザフスタン 124点、[5]モンゴル 72点、[6]ヨルダン 20点

【男子フリースタイル】[1]インド 184点(優勝4)、[2]イラン 184点(優勝2)、[3]カザフスタン 147点、[4]キルギス 143点、
[5]日本 114点、[6]モンゴル 99点、[7]イラク 37点、[8]バーレーン 32点

ピトラシンスキ国際大会

期日 2022年7月23日～24日

場所 ポーランド・ワルシャワ

■塩谷優(拓大)と文田健一郎(ミキハウス)が優勝

55kg級の塩谷優(拓大)と60kg級の文田健一郎(ミキハウス)が優勝。文田は1回戦から準決勝までの3試合を、いずれも無失点のフォールかテクニカルフォールで勝ち上がった。67kg級の曾我部京太郎(日体大)と77kg級の屋比久翔平(ALSOK)が2位、前田明都(レスターホールディングス)が3位に入賞した。

【監督】笹本睦(日本オリンピック委員会)、【コーチ】鶴巻幸(自衛隊)、【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)

【帯同審判】沖山功(香川・香川中部養護学教)、本田原明(自衛隊)

階級	選手名	数	予選リーグ1回戦	予選リーグ2回戦	予選リーグ2回戦	決勝	順位
55kg	塩谷 優 (拓大)	6	○7-0 Shaaban, Abdalla Mohamed Shaaban(エジプト)	○TF9-0 Tita, Florin (ルーマニア)	BYE	○5-2 Liu, Jiahao (中国)	優勝

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル/敗復戦	順位
60kg	文田健一郎 (ミキハウス)	17	○TF9-0 Chen, Wenjie (中国)	○F4-0 Tracz, Michal Jacek (ポーランド)	⇒	○F4-0 Fazljiia, Ardit (スウェーデン)	○不戦勝 Sharshenbekov, Zholaman (キルギス)	優勝
63kg	池田龍斗 (日体クラブ)	14	○6-4 Grzegorz, Kunkel (ポーランド)	●F4-4 Jurkans, Aleksandrs (ラトビア)	○6-3 Bica, Virgil Alexander (スウェーデン)	BYE	●1-1 Vichev, Nikolai Ivanov (ブルガリア)	5位
67kg	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	18	○TF9-0 Omar, Abdelrahman Ahmed(エジプト)	●F1-9 Galstyan, Slavik (アルメニア)	○F7-6 Vancza, Krisztian Istvan(ハンガリー)	○F8-5 Bernatek, Mateusz Lucjan(ポーランド)	●4-4 Nemes, Mate (セルビア)	5位
	曾我部京太郎 (日体大)	18	○TF10-0 Oehlen, Niklas Jan Olov Pontus(スウェーデン)	○TF13-4 Bernatek, Mateusz Lucjan(ポーランド)	⇒	○F14-10 Ismailov, Amantur (キルギス)	●F1-8 Galstyan, Slavik (アルメニア)	2位
72kg	堀江耐志 (自衛隊)	17	●TF0-9 Dimitrov, Deyvid Tihomirov(ブルガリア)	●TF2-11 Sleiva, Kristupas (リトアニア)				16位
77kg	屋比久翔平 (ALSOK)	17	○3-0 Zakharchuk, Maksym (ポーランド)	○7-1 Dietsche, Fabio (スイス)	BYE	○F5:01=9-7 前田明都 (日本)	●1-3 Levai, Zoltan (ハンガリー)	2位
	前田明都 (レスターHD)	17	○TF9-0 Okil, Omar Essam Elsayed(エジプト)	○不戦勝 Olofsson, Albin (スウェーデン)	BYE	●F5:01=7-9 屋比久翔平 (日本)	○TF8-0 Halishan Bahejiang (中国)	3位
82kg	岡嶋勇也 (警視庁)	13	●TF0-8 Chalyan, Karapet (アルメニア)	○TF9-0 Bombo, Inelton Braulio(アンゴラ)	○3-3 Asykeev, Kalidin (キルギス)	●警告4-5 Dermanski, Rosian Ognyanov(ブルガリア)		7位
87kg	角 雅人 (自衛隊)	23	○8-4 Latvala, Walteri Harri(フィンランド)	●5-6 Dimitrov, Yoan Danielov(ブルガリア)	●5-8 Qian, Haitao (中国)			15位
	阪部 創 (自衛隊)	23	○TF9-0 Sterkenburg, Marcel (オランダ)	○3-2 Berg, Zakarias Kristoffer(スウェーデン)	●TF0-9 Levai, Tamas (ハンガリー)	○F4-1 Dimitrov, Yoan Danielov(ブルガリア)	●4-6 Tadevosyan, Gevorg (アルメニア)	7位
130kg	園田 新 (ALSOK)	11	●TF0-9 Kim Roman (キルギス)	●F0-2 Krajewski Rafal (ポーランド)				11位

U17世界選手権

期日 2022年7月25日～31日

場所 イタリア・ローマ

■女子が3階級制覇、男子は荻野大河(埼玉・埼玉栄高)が銅メダル

女子は46kg級の松田幸々(京都・丹後緑風高)、57kg級・内田颯夏(JOCエリートアカデミー／東京・帝京高)、65kg級・佐藤杏樹(秋田・秋田商高)の3選手が優勝し、他に「銀4・銅1」を獲得。43kg級は派遣なしという状況にもかかわらず、国別対抗点は180点で優勝。5階級制覇のインドに31点の差をつけた。

男子フリースタイルは60kg級の荻野大河(埼玉・埼玉栄高)が銅メダルを獲得。55kg級の大脊戸逞斗(埼玉・花咲徳栄高)が5位に入賞。男子グレコローマンは48kg級の竹本優(静岡・藤枝北高)と55kg級の金澤孝羽(東京・自由ヶ丘学園高)の5位が最高だった。

【チームリーダー】吉村祥子(エステティックTBC)

【コーチ】▼男子フリースタイル 江藤正基(日本協会)、成瀬一彦(岐阜・中津商高教)、

▼男子グレコローマン 森岡敬志(福岡・三井高教)、文田敏郎(山梨・韮崎工高教)、▼女子 富田和秀(自衛隊)

【ドクター】矢野雄一郎(とちぎメディカルセンター)、【トレーナー】大石徹(スポーツ医科学委員会)

【帯同審判】村田知也(三重・松阪工高教)

【男子グレコローマン】(7月25～27日／37ヶ国206選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦／敗復戦	3回戦／敗復戦	敗復戦	ファイナル	順位
45kg	坂本 広 (東京・AACC)	14	○不戦勝 Laszlo, Mozes Adam (ハンガリー)	●1-7 Mereuta, Ionut (ルーマニア)				7位
48kg	竹本 優 (静岡・藤枝北高)	14	○不戦勝 Dementiev, Nikita (ウクライナ)	●TF1:49=0-9 Sharma, Ronit (インド)	○5-0 Pucher, Gabriele (イタリア)	⇒	●TF1:17=1-9 Said Khalilov (アゼルバイジャン)	5位
51kg	中村真翔 (山梨・韮崎工高)	21	BYE	○4-4 Benzing, Lukas (ドイツ)	●2-4 Sumbul, Ali (トルコ)			11位
55kg	金澤孝羽 (東京・自由ヶ丘学園高)	19	BYE	OTF2:44=13-2 Ekeroth, William Magnus(スウェーデン)	●1-5 Suraj, Suraj (インド)	OTF1:59=14-6 Varzari, Alexandru Vladut(ルーマニア)	●4-5 Normukhammadov, Khurshidbek(ウズベキスタン)	5位
60kg	榊 颯太 (山梨・韮崎工高)	25	BYE	●1-3 Silverin, Adam Anders Fredrik(スウェーデン)				16位
65kg	鈴木飛来 (山梨・韮崎工高)	28	●TF1:14=0-8 Adams, Joel Richard (米国)	○6-3 Brunner, Saya Robin (スイス)	●0-3 Rusitashvili, Aleksandre (ジョージア)			13位
71kg	角出直生 (石川・志賀高)	23	○TF2:48=10-2 Punia, Akash (インド)	○TF1:45=9-0 Plaser, Rainer (エストニア)	●TF3:11=1-10 Varderesyan, Ararat (アルメニア)			7位
80kg	吉田泰造 (香川・高松北高)	26	○8-4 Han Lindemyer, Cole Chim(米国)	○TF1:52=11-2 Stan, Gabriel Eduardo(ルーマニア)	●F3:51=2-8 Azarshab, Seyed Reza Seyed(イラン)			8位
92kg	鬼塚一心 (福岡・三井高)	19	BYE	●2-9 Ramandeep (インド)				13位
110kg	大藪颯太 (岐阜・岐阜工高)	17	BYE	●F0:47=0-4 Mgeladze, Davit (ジョージア)				13位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 135点、[2]アゼルバイジャン 130点、[3]ジョージア 121点、[4]トルコ 89点、[5]インド 78点、
[6]ウズベキスタン 75点、[7]アルメニア 64点、[8]米国 62点、…[11]日本 42点

【女子】[1]日本 180点、[2]インド 149点、[3]ウクライナ 112点、[4]米国 107点、[5]トルコ 81点、[6]ルーマニア 54点、
[7]アゼルバイジャン 46点、[8]カザフスタン 45点

【男子フリースタイル】[1]米国 190点、[2]インド 126点、[3]アゼルバイジャン 122点、[4]イラン 117点、[5]カザフスタン 110点、
[6]ジョージア 62点、[7]アルメニア 58点、[8]キルギス 44点、[9]日本 39点

【女子】(7月27~29日/38ヶ国164選手。43kg級は派遣なし)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦/準決勝	ファイナル	順位
40kg	江坂萌那 (刈谷クラブ)	8	○6-6 Druzenko, Evgenia (ウクライナ)	⇒	⇒	○TF1:5=11-0 Karabacak, Yagmur (トルコ)	●F2:48=0-10 Muskan, Muskan (インド)	2位
46kg	松田幸々 (京都・丹後緑風高)	12	BYE	○TF0:38=10-0 Voiculescu, Alexandra (ルーマニア)	⇒	○4-0 Shruti, Shruti (インド)	○TF2:57=13-0 Gomez, Gabriella Andrea(米国)	優勝
49kg	竹内美保子 (神奈川・日大藤沢高)	18	BYE	○TF3:02=10-0 Hegedues, Reka (スロバキア)	○TF1:41=10-0 Zadvorna, Anastasia (ウクライナ)	○TF1:54=12-1 Rinella, Fabiana (イタリア)	●3-5 Ruzanna Mammadova (アゼルバイジャン)	2位
53kg	尾西 桜 (埼玉・埼玉栄高)	17	BYE	○6-6 Reena, Reena (インド)	○F1:06=10-0 Cohen, Lilya Yasmina Agnes(フランス)	○TF0:45=10-0 Chen, Ya Hsin (台湾)	●1-3 Yefremova, Maria (ウクライナ)	2位
57kg	内田颯夏 (JOCエリートアカデミー/ 東京・帝京高)	26	○TF1:52=10-0 Hansen, Mirijam Lindaas(ノルウェー)	○TF3:00=10-0 Lippuner, Annatina Kendra(スイス)	○TF3:23=10-0 Moore, Shelby Nicole(米国)	○F0:36=4-0 Esenbaeva, Ulmeken (ウズベキスタン)	○F0:54=6-0 Terek, Gerda (ハンガリー)	優勝
61kg	佐々木すず (東京・安部学院高)	20	BYE	○TF0:52=10-0 Petrache, Sabina Nicoleta(ルーマニア)	○TF0:49=10-0 Nicolodi, Elena (イタリア)	●F1:01=0-6 Savita, Savita (インド)	○TF1:01=11-0 Cretu, Ana Maria (モルドバ)	3位
65kg	佐藤杏樹 (秋田・秋田商高)	22	BYE	○6-0 Konstantinova, Daria (ウクライナ)	○3-0 Perry, Sydney Rhea (米国)	○6-5 Nurlankyzy, Zharkynai (キルギス)	○5-2 Pantiru, Maria Magdalena (ルーマニア)	優勝
69kg	吉田千沙都 (愛知・至学館高)	13	○TF2:36=12-2 Erkan, Ayse (トルコ)	○TF1:45=10-0 Tashtanbekova, Gulnura(キルギス)	⇒	○6-4 Sokolovska, Nadia (ウクライナ)	●1-3 Harshita, Harishta (インド)	2位
73kg	駒田真琴 (静岡・沼津城北高)	15	○TF0:27=12-0 Russell, Gemma Sharon(南アフリカ)	○4-4 Yasin, Elmira (トルコ)	⇒	●F1:26=0-4 Zenkina, Maria (ウクライナ)	●TF2:43=0-10 Englich, Lotta (ドイツ)	5位

【男子フリースタイル】(7月29~31日/39ヶ国200選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
45kg	荻田大雅 (兵庫・芦屋学園中)	14	BYE	●2-6 Rusu, Constantin (モルドバ)				11位
48kg	吉田アリヤ (JOCエリートアカデミー/ 東京・帝京高)	14	BYE	●5-8 Galbouraev, Rassoul (フランス)				9位
51kg	片岡大河 (千葉・日体大柏高)	17	○TF3:01=10-0 Kornilov, Volodimir (ウクライナ)	●4-5 Kerimbekov, Baiaman (キルギス)				7位
55kg	大脊戸逞斗 (埼玉・花咲徳栄高)	19	●TF2:16=2-12 Forrest, Jaxen Patrick (米国)	○5-2 Hungerbuehler, Sandro Thomas(スイス)	○3-3 Tabaldiev, Zalkarbek (キルギス)	⇒	●0-5 Patil, Vaibhav Narayan(インド)	5位
60kg	荻野大河 (埼玉・埼玉栄高)	26	○TF1:10=10-0 Liu, En Cu (台湾)	○8-3 Wagin, Manuel (ドイツ)	○2-1 Larkin, Kyler Steven (米国)	●2-7 Sharip Uulu, Bilol (キルギス)	○3-1 Nini, Alessandro Dante(イタリア)	3位
65kg	菅野煌大 (JOCエリートアカデミー/ 東京・帝京高)	27	○TF1:59=11-1 Gao, Cheng En (台湾)	●0-5 Ankit, Ankit (インド)				14位
71kg	古市一翔 (千葉・日体大柏高)	25	●TF3:51=0-11 Yepremyan, Razmik (アルメニア)					22位
80kg	浅野 心 (岡山・高松農高)	25	●4-8 Horokh, Egor (ウクライナ)					15位
92kg	金澤空大 (千葉・日体大柏高)	16	●1-8 Alizadeh Malafeh, Erfan Ahmad Ali(イラン)					10位
110kg	宇都宮快斗 (埼玉・埼玉栄高)	17	●TF0:50=0-11 Kussainov, Alikhan (カザフスタン)					16位

U20世界選手権

期日 2022年8月15日～21日

場所 ブルガリア・ソフィア

■女子は8階級を制覇、西内悠人(高知・高知南高)が高校生として初優勝

女子は8階級を制し、銅メダル2個を獲得。国別対抗得点は230点をマークし、インド(160点)に大差をつけ、出場した大会として10大会連続優勝を飾った(2021年大会は不出場)。

男子フリースタイルは61kg級の西内悠人(高知・高知南高)が優勝。現在の年齢区分(18～20歳)になってから男子高校選手が優勝するのは日本初。日本としては、この大会で3大会連続でチャンピオン誕生となった。74kg級の神谷龍之介(三重・いなべ総合学園高)が2位、65kg級の青柳善の輔(山梨学院大)が3位に入賞した。

男子グレコローマンでは55kg級の尾西大河(早大)と63kg級の丸山千恵蔵(日体大)が銅メダルを獲得した。

【チームリーダー】馬淵賢司(中京学院大監督)

【コーチ】▼男子フリースタイル 小平清貴(警視庁)、湯元進一(自衛隊)、▼男子グレコローマン 藤村義(自衛隊)、

▼女子 齋藤ほのか(東京・安部学院高教)、正田絢子(京都・丹後緑風高教)

【トレーナー】樋川幸平(スポーツ医科学委員会)、【帯同審判】土居克也(愛媛・北条高教)、増田荘史(香川・多度津高教)

【男子フリースタイル】(8月15～17日/39ヶ国191選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
57kg	弓矢健人 (日体大)	20	(不出場)					
61kg	西内悠人 (高知・高知南高)	21	BYE	○6-1 Abrahmryan, Hayk (アルメニア)	○8-0 Allakhverdiev, Ceyhun (アゼルバイジャン)	○16-8 Kumar, Mohit (インド)	○5-3 Habibzadeh Saroukolaei, Armin Mehdi(イラン)	優勝
65kg	青柳善の輔 (山梨学院大)	22	○TF4:39=13-3 Sardaryan, Artur (アルメニア)	○19-12 Zopali, Hamza (トルコ)	●TF3:58=0-10 Jalolov, Umidjon (ウズベキスタン)	○TF5:13=11-1 Zhyrgalbek Uulu, Myrza(キルギス)	○6-6 Cornella, Robert Vincenzo(米国)	3位
70kg	高橋海大 (日体大)	22	BYE	○10-8 Akhmedov, Mustafa (タジキスタン)	●1-4 Yadav, Mulaym (インド)			11位
74kg	神谷龍之介 (三重・いなべ総合学園高)	22	BYE	○3-2 Yerbolatov, Iliyas (カザフスタン)	○12-8 Cara, Gheroghi (モルドバ)	○9-2 Jaglan, Sagar (インド)	●F1:44=0-4 Gadzhiev, Dzhabrail (アゼルバイジャン)	2位
79kg	清水大輔 (明大)	19	BYE	●TF4:04=0-10 Tair, Shamsat (カザフスタン)				15位
86kg	五十嵐文彌 (山梨学院大)	19	(不出場)					
92kg	三浦哲史 (拓大)	19	BYE	●TF4:15=0-10 Firouzpourbandpei, Amirhossein Biglar(イラン)	●F0:49=2-4 Angyal, Krisztian Gabor(ハンガリー)			17位
97kg	濱田豊喜 (中大)	15	●TF4:43=0-11 Azapirra, Amirali Hamid(イラン)					13位
125kg	藤田龍星 (日大)	12	●2-8 Ivanov, Georgi Lyubomirov(ブルガリア)					11位

《国別対抗得点》

【男子フリースタイル】[1]イラン 159点、[2]米国 132点、[3]インド 112点、[4]アゼルバイジャン 100点、[5]ジョージア 98点、[6]トルコ 78点、[7]日本 60点、[8]フランス 57点

【女子】[1]日本 230点、[2]インド 160点、[3]米国 124点、[4]トルコ 89点、[5]ウクライナ 84点、[6]カザフスタン 71点、[7]ハンガリー 56点、[8]キルギス 51点

【男子グレコローマン】[1]イラン 174点、[2]アゼルバイジャン 119点、[3]ウクライナ 93点、[4]アルメニア 83点、[5]トルコ 81点、[6]カザフスタン 78点、[7]ジョージア 58点、[8]モルドバ 53点、…[11]日本40点

【女子】(8月17~19日/32ヶ国149選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦/敗復戦	準決勝	ファイナル	順位
50kg	伊藤海 (早大)	16	OTF3:12=10-0 Munkhbat, Munkhgerel (モンゴル)	OTF3:47=15-4 Cayir, Sevval (トルコ)	⇒	OTF0:42=10-0 Priyanshi (インド)	OTF2:21=10-0 Jimenez, Audrey Rae(米国)	優勝
53kg	木村彩夏 (法大)	16	OF6:00=8-7 Jankurtaran, Asmar (アゼルバイジャン)	●F1:19=0-4 Antim (インド)	OTF3:00=10-0 Andrich, Amory Olivia(ドイツ)	⇒	06-4 Klivchutska, Natalya (ウクライナ)	3位
55kg	清岡もえ (育英大)	13	OF1:09=5-0 Liao, Pei-Ying (台湾)	OTF5:12=11-0 Jienbaeva, Sarbinaz (ウズベキスタン)	⇒	OTF1:52=12-2 Szenttamasi, Roza (ハンガリー)	OTF3:35=10-0 Rillia, Albina (ウクライナ)	優勝
57kg	岩網瑠夏 (至学館大)	16	OTF4:31=12-0 Cross, Gabriela Ines (カナダ)	08-4 Khomehets, Aleksandra (ウクライナ)	⇒	07-1 Bayanova, Zeinep (カザフスタン)	06-1 Macaluso, Sophia Kaur (米国)	優勝
59kg	元木咲良 (育英大)	12	OF3:26=6-0 Leskovets, Yulia (ウクライナ)	OF0:55=2-0 Fand, Bhagyashree Hanumant(インド)	⇒	02-2 Dagbasi, Ebru (トルコ)	OF1:20=4-0 Borsos, Viktoria (ハンガリー)	優勝
62kg	尾崎野乃香 (慶大)	19	05-0 Bondar, Irina (ウクライナ)	OF1:23=6-0 Oeverby, Viktoria Miriam(ノルウェー)	OTF0:23=10-0 Staneta, Wiktorja (ポーランド)	OTF0:52=10-0 Soltanova, Birgul (アゼルバイジャン)	OF1:04=6-0 Sonam, Sonam (インド)	優勝
65kg	吉武まひろ (日体大)	16	08-2 Elekes, Enikoe (ハンガリー)	OTF2:04=10-0 Larramendy, Reese Hope(米国)	⇒	OTF1:52=10-0 Jlassi, Khadija (チュニジア)	08-0 Priyanka, Priyanka (インド)	優勝
68kg	石井亜海 (育英大)	16	OF4:06=8-0 Mirzazada, Nigar (アゼルバイジャン)	OTF2:18=10-0 Arju, Arju (インド)	⇒	03-1 Bas, Nesrin (トルコ)	OF1:35=2-0 Nurtaeva, Nurzat (キルギス)	優勝
72kg	新倉すみれ (神奈川大)	12	BYE	04-3 Batir, Nazar (トルコ)	⇒	●6-8 Panassovich, Anastasia (カザフスタン)	04-1 Georgieva, Vanesa Stoyanova(ブルガリア)	3位
76kg	茂呂綾乃 (東京・安部学院高)	13	BYE	OF4:27=6-3 Kelly, Tristan Nicole (米国)	⇒	OTF1:31=10-0 Tkachuk, Daniela (ポーランド)	03-1 Priya, Priya (インド)	優勝

【男子グレコローマン】(8月19~21日/44ヶ国202選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦/敗復戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
55kg	尾西大河 (早大)	17	BYE	03-1 Ganiev, Alisher (ウズベキスタン)	●TF1:59=0-9 Guluzade, Nihad (アゼルバイジャン)	OTF2:16=8-0 Zairakis, Ilias (ギリシャ)	OF1:48=2-0 Manvelyan, Karapet (アルメニア)	3位
60kg	五味虹登 (育英大)	18	BYE	●9-13 Esmaili Leivesi, Saeid Morad Goli(イラン)	OTF5:21=9-0 Black, Maxwell Hopper(米国)	OTF2:06=9-1 Voitovich, Vladimir (ウクライナ)	●3-3 Mammadli, Nihat Zahid (アゼルバイジャン)	5位
63kg	丸山千恵蔵 (日体大)	18	BYE	011-8 Emilov, Miroslav Marinov(ブルガリア)	OF4:31=5-3 Babashov, Ziya (アゼルバイジャン)	●0-4 Mohammadi, Iman Hossein Khoon(イラン)	05-2 Sariyar, Azat (トルコ)	3位
67kg	豊田峻真 (拓大)	28	●1-9 Broladze, Nika (ジョージア)	●5-5 Ivancic, Luka (クロアチア)				15位
72kg	西田衛人 (専大)	31	●2-4 Abdi, Amir Ali (イラン)					21位
77kg	堀北一咲望 (日体大)	24	●1-3 Pashaiev, Ramazan (ウクライナ)					18位
82kg	山口蓮汰 (神奈川大)	24	03-2 Ivanov, Ivailo Plamen(ブルガリア)	●TF2:34=0-9 Dahiya, Rohit (インド)				14位
87kg	岩井知史 (明大)	25	BYE	●TF2:04=0-8 Yun, Donghyun (韓国)				23位
97kg	中原陸 (大東大)	21	BYE	●F0:18=0-3 Rakhmatov, Islomjon (ウズベキスタン)				18位
130kg	山田康瑛 (山梨学院大)	16	(不出場)					

シニア・世界選手権

期日 2022年9月10日～18日

場所 セルビア・ベオグラード

■女子は5階級制覇で全階級メダル獲得、男子フリースタイルは金2個

【強化委員長】赤石光生(日本オリンピック委員会)、【強化副委員長】吉村祥子(エステティックTBC)、豊田雅俊(警視庁)

【男子グレコローマン】▼ヘッドコーチ 笹本睦(日本オリンピック委員会)、▼コーチ 鶴巻宰(自衛隊)、

【女子】▼ヘッドコーチ 金浜良(サントリービバレッジソリューション)、▼コーチ 志土地翔大(ジェイテクト)、藤波俊一(日体大コーチ)、富田和秀(自衛隊)、【男子フリースタイル】▼ヘッドコーチ 小幡邦彦(山梨学院大教)、▼コーチ 湯元健一(日体大教)、米満達弘(自衛隊)

【ドクター】田中哲平(JCHO東京山手メディカルセンター)、【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、田中綾乃(JISS)、

【ストレングス】角一哲晃(JSC業務委託)、【映像】田中慎也(JSC業務委託)、新井庸仁(JSC業務委託)、

【栄養】野崎久美(JSC業務委託)、【帯同審判】沖山功(香川・香川中部養護学校教)、【事務局】筒井穰(日本協会)

【帯同合宿】▼男子フリースタイル 弓矢健人(日体大)、青柳善の輔(山梨学院大)、神谷龍之介(三重・いなべ総合学園高)、五十嵐文彌(山梨学院大)、濱田豊喜(中大)、藤田龍星(日大)、▼男子グレコローマン 森靖仁(日体大)、小川琉生(日体大)、堀北一咲望(日体大)、岩井知史(明大)、山田康瑛(山梨学院大)、▼女子 清岡もえ(育英大)、新倉すみれ(神奈川大)

【男子グレコローマン】(9月10～13日/51ヶ国274選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦/準決勝	ファイナル	順位
55kg	塩谷 優 (拓大)	18	○TF1:53=8-0 Liu, Jiahao (中国)	○TF3:17=9-0 Sahradyan, Koryun (ウクライナ)	●TF3:47=0-9 Azizli, Eldaniz (アゼルバイジャン)	○TF0:55=9-0 Freni, Giovanni (イタリア)	○7-0 Nowry, Max Emiliano (米国)	3位
60kg	文田健一郎 (ミキハウス)	29	BYE	○9-5 Kinsinger, Etienne (ドイツ)	○6-3 Kamal, Kerim Kazim(トルコ)	●5-5 BNazaryan, Edmond Armen(ブルガリア)	○5-1 Mammadov, Murad (アゼルバイジャン)	3位
63kg	池田龍斗 (日体クラブ)	30	●2-5 Poghosyan, Hrachya (アルメニア)					20位
67kg	遠藤功章 (東和エンジニアリング)	30	○5-1 Islamov, Donior (モルドバ)	●TF5:14=0-9 Jafarov, Hasrat (アゼルバイジャン)				16位
72kg	堀江耐志 (自衛隊)	25	●3-7 Magomadov, Ibragim (カザフスタン)					20位
77kg	屋比久翔平 (ALSOK)	33	BYE	○4-3 Krueger, Oliver Marco(デンマーク)	●5-6 Liu, Rui (中国)			13位
82kg	岡嶋勇也 (警視庁)	25	○7-3 Eid, Sultan Ali Mohd Damen(ヨルダン)	●1-7 Huseynov, Rafik (アゼルバイジャン)				10位
87kg	角 雅人 (自衛隊)	30	●TF4:06=2-12 Kessidis Bjurberg, Alexandros(スウェーデン)					20位
97kg	鶴田峻大 (自衛隊)	29	●負傷棄権5:12=1-7 Melia, Georgi (ジョージア)					27位
130kg	園田 新 (ALSOK)	25	●F3:23=0-9 Soghomonyan, Eduard (ブラジル)					25位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]トルコ 125点、[2]アゼルバイジャン 118点、[3]セルビア 110点、[4]イラン 81点、[5]キルギス 77点、[6]ジョージア 76点、[7]ハンガリー 70点、[8]ウズベキスタン 61点…[14]日本 32点

【女子】[1]日本 190点、[2]米国 157点、[3]中国 84点、[4]モンゴル 72点、[5]ウクライナ 68点、[6]カナダ 58点、[7]モルドバ 50点、[8]ポーランド 49点

【男子フリースタイル】[1]米国 198点、[2]イラン 150点、[3]日本 70点、[4]モンゴル 68点、[5]ジョージア 68点、[6]スロバキア 55点、[7]トルコ 47点、[8]ブルガリア 42点

【女子】(9月12~15日/43ヶ国195選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
50kg	須崎優衣 (キッツ)	22	BYE	○TF0:41=10-0 Nguyen, Thi Xuan (ベトナム)	○TF0:30=10-0 Lukasziak, Anna (ポーランド)	○F2:24=8-0 Genesis, Miesinnei Mercy(ナイジェリア)	○F1:23=4-0 Dolgorjav, Otgonjargal (モンゴル)	優勝
53kg	藤波朱里 (日体大)	23	(不出場)					
55kg	志土地真優 (ジェイテクト)	17	○TF4:00=10-0 Kamaloglu, Elvira (トルコ)	○TF2:43=10-0 Sedneva, Marina (カザフスタン)	○6-0 Xie, Mengyu (謝夢宇=中国)	○TF2:09=12-0 Winchester, Jaccara (米国)	○TF2:58=10-0 Khomehets, Aleksandra (ウクライナ)	優勝
57kg	櫻井つぐみ (育英大)	19	BYE	○TF5:16=12-0 Nikolova, Evelina (ブルガリア)	○2-2 Hrushyna Akobiya, Alina(ウクライナ)	○TF4:46=10-0 Aliyeva, Zhala (アゼルバイジャン)	○3-0 Maroulis, Helen (米国)	優勝
59kg	元木咲良 (育英大)	14	○F2:42=5-0 Dagbasi, Ebru (トルコ)	○F1:50=6-0 Kolesnik, Alyona (アゼルバイジャン)	⇒	●5-7 Nichita, Anastasia (モルドバ)	○F3:45=7-0 Zhang, Qi (張琪=中国)	3位
62kg	尾崎野乃香 (慶大)	24	BYE	○F0:53=6-0 Szel, Anna Hella (ハンガリー)	○TF0:35=10-0 Prokopenyuk, Ilona (ウクライナ)	○11-5 Tynybekova, Aisuluu (キルギス)	○TF2:27=10-0 Miracle, Kayla (米国)	優勝
65kg	森川美和 (ALSOK)	14	BYE	○2-0 Velte, Mallory (米国)	⇒	○3-0 Hristova, Mimi (ブルガリア)	○2-0 Long, Jia (龍佳=中国)	優勝
68kg	石井亜海 (育英大)	23	○TF3:00=10-0 Pedro da Rocha, Gabriela(ブラジル)	○3-0 Lecarpentier, Pauline Denise(フランス)	○F2:37=5-8 Morais, Linda (カナダ)	○5-4 Nisha, Nisha (インド)	●F2:10=0-6 Stock, Tamyra Mensah(米国)	2位
72kg	古市雅子 (自衛隊)	14	○4-3 Qiandegenchagan (錢徳根査干=中国)	○8-4 Dacher, Kendra Augustine Jocelyne(フランス)	⇒	●2-3 Elor, Amit (米国)	○3-2 Cavusoglu Tosun, Buse(トルコ)	3位
76kg	鏡 優翔 (東洋大)	25	○3-0 Guilford, Dymond (米国)	○2-1 Raedelt, Francy (ドイツ)	●2-4 Adar Yigit, Yasemin(トルコ)	○2-1 Yerkebayeva, Gulmaral (カザフスタン)	○4-0 Reasco Valdez, Genesis Rosangela(エクアドル)	3位

【男子フリースタイル】(9月15~18日/60ヶ国276選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	3回戦	準決勝/敗復戦	ファイナル/敗復戦	順位
57kg	長谷川敏裕 (三恵海運)	32	○16-9 Kerimov, Kamil (ウクライナ)	○8-2 Bujiashvili, Beka (ジョージア)	●1-7 Micic, Stevan Andria(セルビア)			8位
61kg	樋口 黎 (ミキハウス)	24	BYE	○TF2:56=11-0 Dudaev, Islam (アルバニア)	○TF1:02=10-0 Harutyunyan, Arsen (アルメニア)	○15-7 Gross, Seth (米国)	○TF2:41=10-0 Atri Nagharchi, Reza Ahmadali(イラン)	優勝
65kg	山口海輝 (日体大助手)	27	○TF4:54=12-2 Arushanian, Erik (ウクライナ)	●5-5B Rakhmonov, Abbos (ウズベキスタン)				10位
70kg	成國大志 (MTX GOLDKIDS)	28	○6-1 Naveen, Naveen (インド)	○F5:21=11-4 Syrbaz, Talgat (カザフスタン)	○TF1:37=11-0 Bekbulatov, Ilyas (ウズベキスタン)	○11-10 Akmataliev, Ernazar (キルギス)	○TF2:19=10-0 Retherford, Zain Allen(米国)	優勝
74kg	高谷大地 (自衛隊)	34	BYE	○6-6 Kaipanov, Nurkozha (カザフスタン)	●1-3 Salkazanov, Tajmuraz Mairbekovic(スロバキア)	○TF2:53=10-0 Bordeaux Rego Alvan, Cesar(ブラジル)	●0-5 Demirtas, Soener (トルコ)	10位
79kg	高橋夢大 (日体大)	32	○不戦勝 Ballo, Assane Alexis (コートジボアール)	○7-6 Avagyan, Arman (アルメニア)	●3-5 Umarpashaev, Ali Pasha Ruslanovich(ブルガリア)			7位
86kg	白井勝太 (クインテット)	30	○4-3 Islomov, Bobur (ウズベキスタン)	●TF4:38=0-11 Ramos, Ethan Adrian (プエルトリコ)				15位
92kg	高谷惣亮 (ALSOK)	23	○TF10-0 Kim, Jin-Myeong (韓国)	●1-2 Maisuradze, Miriani (ジョージア)				10位
97kg	石黒峻士 (新日本プロレス職)	23	●5-6 Celik, Mucahit (トルコ)					14位
125kg	山本泰輝 (自衛隊)	24	●0-7 Ligeti, Daniel (ハンガリー)					23位

U23世界選手権

期日 2022年10月17日～23日

場所 スペイン・ポンテベドラ

■須崎優衣(キッツ)が世界グランドスラム達成

女子は7選手が優勝。50kg級の須崎優衣(キッツ)は、カデット(現U17)、ジュニア(現U20)、シニアの各世界選手権、東京オリンピックに続く優勝で、世界で初めて4世代の世界選手権とオリンピックの主要5大会を制した。

62kg級の尾崎野乃香(慶大)は、72kg級で優勝したアミト・エロル(米国)とともに、世界で初めて同一年にU20、U23、シニアの3世代で世界一の快挙達成となった。53kg級の奥野春菜(自衛隊)は2017・19年大会に続いての優勝で、史上初となる3度目の優勝。

男子フリースタイルは86kg級の白井達也(日体大)が優勝。この大会、日本男子では4人目。あらゆる世代を通じた世界選手権で、日本最重量級の世界一となった。男子グレコローマンは「銅3個」を獲得。

【監督】吉村祥子(エステティックTBC)

【男子グレコローマン・コーチ】笹本睦(日本オリンピック委員会)、藤村義(自衛隊)、【女子コーチ】富田和秀(自衛隊)、

志土地翔大(ジェイテクト)、【男子フリースタイル・コーチ】湯元健一(日体大教)、米満達弘(自衛隊)

【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、大山貴裕(NTT東日本関東病院)、【帯同審判】土居克也(愛媛・北条高教)

【男子グレコローマン】(10月17～19日/44ヶ国200選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦/敗復戦	3回戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
55kg	松井 謙 (日体大)	14	○TF5:06=18-10 Beishenbek Uulu, Taalaibe (キルギス)	○8-2 Russell, Camden (米国)	⇒	●TF4:22=0-8 Guluzade, Nihad (アゼルバイジャン)	●TF1:57=0-8 Tokhadze, Giorgi (ジョージア)	5位
60kg	稲葉海人 (日体大大学院)	17	BYE	○F2:03=6-0 Ebro Rodriguez, Aser (スペイン)	●TF1:49=0-9 Dzimistarishvili, Irakli (ジョージア)			7位
63kg	池田龍斗 (日体クラブ)	19	BYE	○4-2 Kecskemeti, Krisztian (ハンガリー)	●1-7 Mohammadi, Iman Hossein Khoon(イラン)	○12-11 Baghdouda, Ahmed Fouad Fouad Hussein(エジプト)	○1-1 Babashov, Ziya (アゼルバイジャン)	3位
67kg	曾我部京太郎 (日体大)	22	BYE	○9-5 Aktas, Ramazan Can (トルコ)	○TF3:17=13-4 Omania, Peyton (米国)	●TF4:15=1-9 Snjoyan, Gagik Mishai(フランス)	○3-1 Hovhannishyan, Sahak (アルメニア)	3位
72kg	小林大悟 (拓大)	24	BYE	○8-5 Nurbossinov, Yerassyl (カザフスタン)	●5-11 Puklavec, Pavel (クロアチア)	○6-1 Sotiriadis, Georgios Theodoros(ギリシャ)	●0-6 Vikas, Vikas (インド)	5位
77kg	日下 尚 (日体大)	23	○TF3:36=10-0 Yli-Hannuksela, Akseli Elias(フィンランド)	○F1:48=7-0 Benitez Ortiz, Junior Gustavo(スペイン)	○7-0 Ibaev, Idris Hanpasaevic (ドイツ)	●5-9 Amoyan, Malkhas (アルメニア)	○3-1 Mokhtari, Mohammad Reza Hojatollah(イラン)	3位
82kg	樋口徹心 (日体大)	24	○TF4:12=11-2 Orazov, Toyly (トルクメニスタン)	○不戦勝 Mabungu, Jones Simao Antonio(アンゴラ)	●TF2:20=0-8 Kodric, Karlo (クロアチア)	●TF2:12=1-10 Hunc, Ali Halil (トルコ)		7位
87kg	向井識起 (自衛隊)	20	●2-4 Szymonowicz, Szymon (ポーランド)					13位
97kg	仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)	22	○負傷棄権4:03=3-0 Vieweg, Anton Erich (ドイツ)	○5-0 Umaev, Islam (カザフスタン)	●1-5 Katsanashvili, Giorgi (ジョージア)			7位
130kg	西村麻凜 (国士舘大)	15	●F1:25=0-4 Vyshnyvetskyi, Mikhail (ウクライナ)	●F1:26=0-4 Yousofiaahmadchali, Aliakbar Hossein(イラン)				13位

《国別対抗得点》

【男子グレコローマン】[1]イラン 138点、[2]ジョージア 101点、[3]トルコ 93点、[4]アゼルバイジャン 89点(金1)、[5]日本 89点(金0)、[6]アルメニア 70点、[7]ハンガリー 67点、[8]ウクライナ 58点

【女子】[1]日本 225点、[2]米国 107点(金1)、[3]ウクライナ 107点(金0)、[4]トルコ 93点、[5]ポーランド 74点、[6]コロンビア 43点、[7]モルドバ 43点、[8]カザフスタン 40点

【男子フリースタイル】[1]ジョージア 141点、[2]イラン 134点、[3]米国 112点、[4]ウクライナ 104点、[5]トルコ 95点、[6]カザフスタン 92点、[7]アルメニア 85点、[8]日本 72点

【女子】(10月19~21日/38ヶ国146選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2 回 戦	3 回 戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
50kg	須崎優衣 (キッツ)	22	BYE	○F1:13=10-0 Nazarova, Shahana (アゼルバイジャン)	○TF0:52=10-0 Hamdi, Sara (チュニジア)	○TF0:52=10-0 Liuzzi, Emanuela (イタリア)	○F1:51=4-0 Ankush, Ankush (インド)	優勝
53kg	奥野春菜 (自衛隊)	18	BYE	○TF0:31=10-0 Rojas Diaz, Mariana Raimary(ベネズエラ)	○6-0 Blayvas, Anastasia (ドイツ)	○TF6:00=11-1 Taylor, Felicity (米国)	○TF2:02=10-0 Yepez Guzman, Lucia Yamileth(エクアドル)	優勝
55kg	清岡もえ (育英大)	13	○負傷棄権3:00=8-0 Khomenets, Aleksandra (ウクライナ)	○TF5:31=11-0 Kamaloglu, Elvira (トルコ)	⇒	○TF4:18=10-0 Kaze Gascon, Virginie (カナダ)	○TF4:17=13-0 Samoil, Mihaela (モルドバ)	優勝
57kg	南條早映 (東新住建)	14	○F2:27=6-0 Baez Dilone, Maria Victoria(スペイン)	○TF2:30=10-0 Hrushyna Akobiya, Alina(ウクライナ)	⇒	○F0:58=6-0 Bousetta, Siwar (チュニジア)	○TF2:28=13-1 Gil, Patrycja (ポーランド)	優勝
59kg	徳原姫花 (自衛隊)	19	○TF4:03=10-0 Jessel Rojas, Ameyalli Sayil(メキシコ)	○6-1 Vynnyk, Solomiia (ウクライナ)	○F2:04=4-2 Renteria Cuero, Katherine(コロンビア)	○9-0 Kaze Gascon, Virginie(米国)	○3-2 Glodek, Magdalena Urszula(ポーランド)	優勝
62kg	尾崎野乃香 (慶大)	13	○TF0:53=10-0 Danisz, Paulina Malgorzata(ポーランド)	○TF0:22=10-0 Pai, Hsin-Ping (台湾)	⇒	○TF1:44=10-0 Godinez Gonzalez, Ana Paula(カナダ)	○TF2:13=11-0 Bondar, Irina (ウクライナ)	優勝
65kg	森川美和 (ALSOK)	11	BYE	○TF4:35=10-0 Demir, Asli (トルコ)	⇒	○6-2 Zelenykh, Katerina (ウクライナ)	○TF2:17=10-0 Mirzazada, Nigar (アゼルバイジャン)	優勝
68kg	松雪成葉 (ジェイテクト)	13	○9-0 Wolczynska, Zuzsanna (ポーランド)	○3-1 Skobelska, Manola (ウクライナ)	⇒	○6-5 Szabados, Noemi (ハンガリー)	●0-8 Bas, Nesrin (トルコ)	2位
72kg	新倉すみれ (神奈川大)	11	○TF5:28=10-0 Batir, Nazar (トルコ)	○8-0 Fraser, Brianna Molly(カナダ)	⇒	●1-3 Choluj, Wiktoria (ポーランド)	○8-1 Zablotska, Irina (ウクライナ)	3位
76kg	松雪泰葉 (ジェイテクト)	12	BYE	●1-6 Guilford, Dymond (米国)	⇒	○TF5:22=12-2 Tkachuk, Daniela (ポーランド)	○F5:39=7-0 Zhanataeva, Inkara (カザフスタン)	3位

【男子フリースタイル】(10月21~23日/44ヶ国205選手)

階級	選手名	数	1 回 戦	2回戦/敗復戦	3 回 戦	準決勝/敗復戦	ファイナル	順位
57kg	阿部敏弥 (国士館大職)	19	○TF0:51=10-0 Sloan, Logan James(カナダ)	○6-0 Epp, Thomas (スイス)	●TF4:37=2-13 Aman, Aman (インド)	●不戦敗=負傷 Ganegodage, Hansana Madushanka(スリランカ)		繰上 6位
61kg	小川航大 (自衛隊)	20	○TF1:12=10-0 Biboulatov, Adam Visrailovitch(フランス)	●4-11 Dzhelep, Andrey (ウクライナ)				8位
65kg	安楽龍馬 (nobitel)	24	BYE	○8-0 Gerstenberger, Leon (ドイツ)	●3-4 Tevanyan, Vazgen (アルメニア)	○TF5:34=11-1 Coles, Daniel Troy(カナダ)	○7-7 Askarov, Adlan (カザフスタン)	3位
70kg	高橋海大 (日体大)	20	○7-3 Andreasyan, Arman (アルメニア)	○TF4:55=10-0 Cayir, Oemer Faruk(トルコ)	●TF5:59=7-17 Yazdani Cherati, Amir Mohammad(イラン)	○3-1 Syrbaz, Talgat (カザフスタン)	○4-0 Thomas, Yahya (米国)	3位
74kg	深田雄智 (早大)	26	○TF3:25=10-0 Wojtkowski, Szymon (ポーランド)	●4-8 Alikhanyan, Hrayr (アルメニア)				13位
79kg	山倉孝介 (早大)	22	○11-10 Ashirov, Ashraf (アゼルバイジャン)	●4-5 Babii, Valentin (ウクライナ)				10位
86kg	白井達也 (日体大)	24	BYE	○2-1 Ciftci, Emre (トルコ)	○3-1 Schaeffle, Lars (ドイツ)	○4-3 Shvelidze, Evsem (ジョージア)	○3-3 Hidlay, Trend (米国)	優勝
92kg	阿部 光 (中大)	19	BYE	●2-9 Bliatze, Gkivi (ギリシャ)				13位
97kg	伊藤飛未来 (日体大)	15	●4-5 Agca, Ertugrul (ドイツ)					11位
125kg	出頭 海 (中大)	16	●TF2:43=0-10 Manashvili, Solomon (ジョージア)	●F0:32=0-4 Cassioppi, Anthony (米国)				16位

ワールドカップ(女子・男子フリースタイル)

期日 2022年12月10日~11日

場所 米国・アイオワ州コーラルビル

■男女若手チーム、世界の壁に試練の2連敗

【団長】谷岡郁子(日本協会副会長)、【監督】赤石光生(日本オリンピック委員会)、

【コーチ】豊田雅俊(警視庁)、▼男子コーチ 前田翔吾(日本オリンピック委員会/クリナップ)、

▼女子コーチ 栄希和(至学館大職)

【トレーナー】野呂賢二(JSC業務委託)、【ドクター】長尾卯乃(スポーツ医科学委員会)、

【審判】村田知也(三重・松阪工高教)

【女子】※予選2回戦は試合なし

階級	選手名	予選1回戦(モンゴル戦)		予選3回戦(ウクライナ戦)	
50kg	櫻井はなの(育英大)	●	3-3 Dolgorjav, Otgonjargal	○	3-1 Livach, Oksana
53kg	片岡梨乃(早大)	○	5-1 Ganbaatar, Otgonjargal	○	2-2 Rillia, Albina
55kg	清岡もえ(育英大)	○	6-4 Bat-Ochir, Bolortuya	●	0-3 Hrushyna Akobila, Alina
57kg	岩網瑠夏(至学館大)	○	3-0 Baterdene, Erdenesuvd	●	0-4 Tkach, Yulia
59kg	徳原姫花(自衛隊)	○	5-3 Erkhembayar, Davaanchimeg	●	4-6 Bondar, Iryna
62kg	坂野結衣(警視庁)	●	5-7 Sukhee, Tserenchimed	○	TF4:44=13-2 Iryna Koliadenko
65kg	今井海優(自衛隊)	●	4-9 Purevdorj, Orkhon	○	4-4 Zelenykh, Kateryna
68kg	小林久美(福岡大)	●	F1:24=0-6 Ulzisaikhan, Purevsuren	●	F0:50=0-6 Sova Rizhko, Tetiana
72kg	藤倉優花(育英大)	●	不戦敗=負傷 Enkhamar, Davaansan	●	不戦敗=負傷 Belinska, Alla
76kg	山本和佳(至学館大)	○	2-0 Burmaa OCHIRBAT	○	2-2 Osniach Shustova, Anastasia
チーム成績		●5-5(勝ち点18-22)		●5-5(勝ち点17-24)	

《順位決定戦》

▼決勝 ウクライナ○[6-4]●中国 / ▼3位決定戦 モンゴル○[7-3]●米国 / [5]世界選抜チーム、[6]日本

【男子フリースタイル】※予選3回戦は試合なし

階級	選手名	予選1回戦(イラン戦)		予選2回戦(世界選抜チーム戦)	
57kg	山口太一(早大)	●	5-6 Momenijoujaded, Reza Hossein	●	0-3 Abakarov, Zelimkhan(アルバニア)
61kg	森川海舟(拓大)	○	TF5:32=13-2 Elahichouran, Ebrahim Esmaeil	○	TF1:17=10-0 Vangelov, Georgi(ブルガリア)
65kg	安楽龍馬(nobitel)	●	1-2 Bagheriheidarabadi, Mohammadreza	●	4-1 Zhumashbek Uulu, Tairybek(キルギス)
70kg	大野恵太郎(日体大)	●	6-9 Fazlikhalili, Aliakbar Aliashgar	●	TF1:34=0-11 Akmatalliev, Ernazar(キルギス)
74kg	木下貴輪(クリナップ)	●	1-3 Firouzpourbandpei, Mohammadsadegh Biglar	●	TF2:32=0-10 Salkazanov, Tajmuraz(スロバキア)
79kg	山崎弥十朗(サイサン)	●	TF4:08=0-11 Savadkouhi, Ali Bakhtiar	●	2-5 Budazhapov, Arslan(キルギス)
86kg	白井達也(日体大)	●	TF5:44=0-11 Karimimachiani, Alireza Mohammad	●	TF5:47=0-11 Dauletbekov, Azamat(カザフスタン)
92kg	三浦哲史(拓大)	●	TF2:27=0-10 Ghasempour, Kamran Ghorban	●	TF0:39=0-10 Nurmagomedov, Osman(アゼルバイジャン)
97kg	品田陽平(法大)	●	TF3:23=2-13 Azarpira, Amirali Hamid	●	TF0:42=0-10 Tsakulov, Batyrbek(スロバキア)
125kg	二ノ宮寛斗(不二精機)	●	TF1:50=0-10 Masoumi Valadi, Amirreza Fardin	●	TF1:37=0-11 Khotsianivski, Aleksander(ウクライナ)
チーム成績		●1-9		●1-9	

《順位決定戦》

▼決勝 米国○[6-4]●イラン / ▼3位決定戦 世界選抜○[8-2]●ジョージア / [5]モンゴル、[6]日本

世界グラップリング選手権

期日 2022年10月14日~15日

場所 スペイン・ポンテベドラ

■池田海南江(IGLOO)、平林るい(SKアカデミー)、米倉大貴(IGLOO)が優勝

Grappling (No-Gi=道着なし)の女子53kg級では日本選手が決勝で激突し、池田海南江(IGLOO)が平林るい(SKアカデミー)を撃破。Gi(道着あり)決勝でも両選手が対戦し、平林がリベンジ優勝を達成。男子はGi62kg級の米倉大貴(IGLOO)が不戦勝を含めて4試合を勝ち抜き、優勝した。

【監督】鎌賀秀夫(日本協会)、【コーチ】白井正良(ハコビスポーツ1)、【審判】吉澤昌(MCアブソリュート)

【Grappling女子】(10月14日/14ヶ国63選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	決勝	順位
53kg	池田海南江 (IGLOO)	15	○一本2:38=6-0 Yuliia FEOKTISTOVA (ウクライナ)	○9-0 Naiomi Anaiaisi MATTHEWS MARTIN(スペイン)	○5-1 Martyna IWAT (ポーランド)	○3-1 平林るい (日本)	優勝
	平林るい (SKアカデミー)	15	○2:44=4-0 Alina Adriana CORBEANU (ルーマニア)	○2-2 Alicja STYPULKOWSKA (ポーランド)	○6-4 Carlota PRENDES LARIOS (スペイン)	●1-3 池田海南江 (日本)	2位

【Grappling男子】(10月14日/24ヶ国146選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	ファイナル	順位
62kg	米倉大貴 (IGLOO)	18	BYE	●一本2:10=2-5 Daniele CALDARERA (イタリア)			15位
66kg	平澤宏樹 (ALMA LIFE)	16	○一本1:59=0-0 Mykyta DUSHKO (ウクライナ)	●2-4 Wojciech Jan PAJAK (ポーランド)			8位
71kg	矢野晃トミ (IGLOO)	25	●2-7 Grigore PANFILII (モルドバ)				16位
77kg	清水健之介 (今成柔術)	21	●一本2:13=2-7 Darkhan TOLYBAYEV (カザフスタン)				19位

【Gi女子】(10月15日/14ヶ国62選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	決勝	順位
53kg	池田海南江 (IGLOO)	15	○9-0 Maria Aisa RATCLIFF (フィリピン)	○13-0 Botakoz YELDOSKYZY (カザフスタン)	○一本4:19=5-0 Martyna IWAT (ポーランド)	●0-3 平林るい (日本)	2位
	平林るい (SKアカデミー)	15	○不戦勝 Alina Adriana CORBEANU (ルーマニア)	○3-2 Tetiana ASTAKHOVA (ウクライナ)	○3-1 Naiomi Anaiaisi MATTHEWS MARTIN(スペイン)	○3-0 池田海南江 (日本)	優勝

【Gi男子】(10月15日/22ヶ国129選手)

階級	選手名	数	1回戦	2回戦	準決勝	決勝	順位
62kg	米倉大貴 (IGLOO)	14	○不戦勝 Arulan KURMANALIYEV (カザフスタン)	○13-8 Ander SANCHEZ LOPEZ (スペイン)	○7-4 Mayis NERSESYAN (アルメニア)	○一本0:25=0-2 Dmytro BARANOV (ウクライナ)	優勝
66kg	平澤宏樹 (ALMA LIFE)	15	○不戦勝 Arsen ALEKSANYAN (アルメニア)	●2-5 Sergio CALDERON GONZALEZ (スペイン)			8位
71kg	矢野晃トミ (IGLOO)	23	●一本0:57=0-2 Nadav BAR GIL (イスラエル)				17位
77kg	清水健之介 (今成柔術)	16	●0-9 Nahman Yariv BITON (イスラエル)				14位

2022年訃報

■宇野長好・三重県協会会長(明大レスリング部OB)

1月1日午前1時50分、死去された。85歳。明大でレスリングに取り組み、1959(昭和34)年卒業。三重県や四日市市にレスリング協会を設立するなど同県のレスリングの発展に尽力。四日市市議としてもレスリングの活動を支えた。長男・義之氏も明大OB。

三重県は現在、金メダリストのべ5人を含めオリンピック代表選手のべ11人を輩出。全日本選手権の出場選手数は毎年1、2位を争うなど国内有数のレスリング王国となっている。

■久保田進也氏(元国際交流委員・元審判員)

5月17日、胆嚢炎のため死去された。69歳。2013年の東京国体まで、長く国内で審判員を務めていたほか、昨年の東京オリンピックでは、豊富な海外経験を生かしてNTO(ナショナル・テクニカル・オフィサー)として運営に協力した。

■飯塚實氏(1956年メルボルン・オリンピック5位／新潟県協会・元会長)

5月29日、死去された。89歳。新潟・新潟高からレスリングを始め、明大時代の1953年に全日本選手権・フリースタイル57kg級で優勝。1954年アジア大会、1954・55年全日本選手権の優勝を経て、1956年にメルボルン・オリンピックに出場した。

同オリンピックでは、1回戦で1954年世界王者のムスタファ・ダギスタンリ(トルコ)に1-2で惜敗したあと3連勝。しかし、当時のバッドマークシステムは、罰点が「6点」になると失格となる制度で、判定勝ちでも罰点「1点」というルール。4回戦で韓国選手に判定勝ちしたものの、その時点で罰点が「6点」となってしまう、勝ち続けていたにもかかわらず失格となってメダルを逃した。

その後、1958年アジア大会で優勝するなどして現役引退。新潟県へ戻り、全国高校選抜大会の再スタートに尽力し、その後、県協会会長を務めた。

■北村克哉氏(元世界選手権代表／東京・東京工高～専大OB)

10月12日、急性心不全のため搬送先の病院で死去された。36歳。全日本選手権優勝3度、世界選手権に両スタイルで出場の実績を持ち、その後、プロレス・プロ格闘技で活躍した

■沼尻久氏(全国中学生連盟会長、日本協会・前副会長)

10月17日、胃がんのため死去された。79歳。茨城・茨城高～中大でレスリングに親しみ、現役引退後は茨城県のレスリングの発展に尽力。全国中学生レスリング連盟を設立した長兄の沼尻直氏が2004年12月に死去し、同連盟会長を引き継いで中学レスリングの発展に貢献。現在に至った。

この間、2011年3月には東日本大震災があり、全国中学生選手権の会場となった水戸市も多大な被害をこうむったが、「全国の中学選手のために」と水戸市との交渉を重ねて大会開催を実現。自転車製造メーカーから高級マウンテンバイク2台を提供してもらい、最優秀選手賞の副賞とするなど、選手のモチベーションの向上をはかった。

中学レスリングで韓国との交流も積極的に推進。2014年には、27年間にわたって中学生の日韓交流を実施していることが評価されて、全国中学生連盟が「高円宮賞」を受賞した。コロナ禍で2020・21年には全国大会が中止になり、「3年連続の中止は避けたい」と、2022年の大会開催に尽力。大会を見届けた。それが、公の場での最後の姿となった。

オリンピックレスリング 2023年 No. 66

発行日 2023年3月25日

発行 公益財団法人 日本レスリング協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square 10階1004号室

TEL 03-5843-0358 FAX 03-5843-0359

発行人 富山英明

発行回数 年1回(DVD付き)